

### Ⅲ. アクティブ・ラーニングの普及

## 1. SIH道場パフォーマンス科目

### 1-1. 目的

全学的なアクティブ・ラーニングの推進，主体的な学びの育成に繋がる科目として，SIH道場を実施し，令和元年度は5年目を迎える。これまでSIH道場は1年次必修科目として開講されてきたが，今後はさらに学士課程教育全体におけるアクティブ・ラーニングの拡大を目指す必要がある。そこで，SIH道場で学んだプレゼンテーション・文章力・協働力等のラーニングスキルを活用する既存の科目を「SIH道場パフォーマンス科目」として位置付け，その科目へのSIH道場の波及効果を検証するとともに，両者の連携の強化を図ることで，学士課程教育全体における主体的な学びの機会を更に拡張する。

### 1-2. 科目設定条件

内 容：SIH道場パフォーマンス科目とは，既存の科目においてSIH道場で学んだ内容（プレゼンテーション力・文章力・協働力）を活用する科目

開講時期：2年次～3年次に開講される専門教育科目

科目条件：必須科目又は選択必修科目

対象科目：別紙を参照

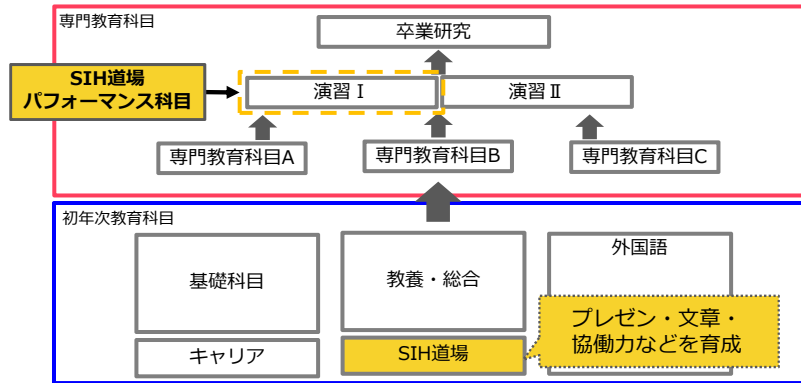
対象期間：令和元年度まで（令和2年度以降の継続は随時検討）

設定期間：平成30年4月27日（金）まで

## SIH道場パフォーマンス科目(案)

課題：今後の課題は、専門教育へのALの普及である。具体的には、学生が入学年度に道場で学んだことを2年次以降の学習において確実に生かすことができるよう、各教員が意識して専門科目の授業設計を行うかが問われることになる。（外部評価委員総評）

学部・学科のカリキュラムマップとSIH道場の関連（例）



【SIH道場パフォーマンス科目】  
SIH道場で学習したプレゼン・文章・協働などのスキルが  
専門教育科目のなかでどのように活用されているのか検証する科目

## SIH道場パフォーマンス科目申請条件

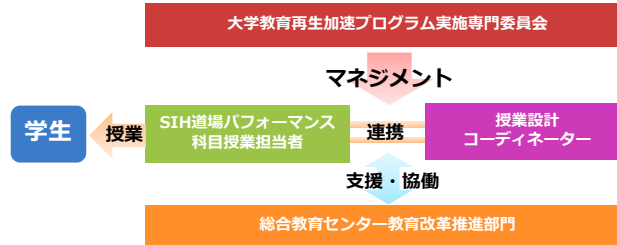
### 【SIH道場パフォーマンス科目】

- 内 容：SIH道場で学んだ内容（プレゼン・文章・協働）を活用する科目
- 開 講 時 期：2年次-3年次に開講される専門教育科目
- 科 目 条 件：必修科目又は選択必修科目
- 対象科目数：別紙1を参照
- 対 象 期 間：平成31年度迄（平成31年度以降の継続は随時検討）
- ※上記の条件から外れる場合は、相談下さい。

### 【科目への依頼事項】

- 既存情報の提供
  - シラバス・過去5年間のGPC
- 学生への課題
  - アンケートへの回答
  - 学習ポートフォリオへの記入（共通の課題又は科目独自の課題）

## SIH道場パフォーマンス科目実施に関わる 各アクターの関係・役割



- **大学教育再生加速プログラム実施専門委員会**  
SIH道場パフォーマンス科目実施に関する全体統括、全体像の把握を行う。
- **授業設計コーディネーター**  
自身が所属する学科・専攻・コースの教員と連携して**SIH道場パフォーマンス科目を選定する。**
- **SIH道場パフォーマンス科目授業担当者**  
SIH道場パフォーマンス科目で実施する**振り返り課題の設定**、授業の最終回において**学生アンケート**、**振り返り課題を実施する。**
- **総合教育センター教育改革推進部門**  
SIH道場パフォーマンス科目の授業担当者を支援する。SIH道場パフォーマンス科目の過去5年間GPCの検証、学生アンケート・振り返り共通課題の集計・分析を担う。

## 学生への課題

種類	手段	対象	内容	実施時期
アンケート	WEB	対象科目	対象となる科目に関する設問	原則として 授業の最終回
		SIH道場	SIH道場で学んだ内容に関する設問	
		学習全般	大学での学習経験・価値観に関する設問	
振り返り	mahara 又は 用紙	対象科目	対象となる科目で学習・経験した内容に関する 振り返り 科目内で作成した課題に関する振り返り	
		SIH道場	SIH道場で学んだ内容に関するスキル (プレゼン・文章・協働)に関する振り返り	
		学習全般	これまで大学で学んできた学習経験に 関する振り返り・今後大学での学習計画	
科目独自の課題			科目独自の振り返り課題を実施する場合は、 担当教員に振り返りの内容・実施方法を一任する	

## SIH道場パフォーマンス科目設定から実施・検証の流れ

年度	時期	内容
H29年	2月	SIH道場パフォーマンス科目設定の依頼
H30年	3月中旬	各学部・学科SIH道場パフォーマンス科目の申請〆切
	4月-3月	SIH道場パフォーマンス科目の対象科目GPCの提出 (各学部事務から提出) 過去5年間(H25-H29)のGPC遷移の検証
		H30年前期・後期から学生課題を実施できる パフォーマンス科目を随時実施  SIH道場パフォーマンス科目を担当する教員へのFD(予定)
H31年	4月-3月	SIH道場パフォーマンス科目を継続実施 取り組みの効果を検証し、継続の有無をAP実施専門委員会で検討

### 1-3. SIH 道場パフォーマンス科目一覧

学部	学科・コース等	コーディネーター氏名	SIH道場パフォーマンス科目 対象科目名	対象 学年
総合科学部 ／社会総合 科学科	国際教養コース	佐藤 裕	実践プロジェクトB(サマープログラム協力)	2
	心身健康コース		実践プロジェクトC(心身健康維持)	2
	公共政策コース		実践プロジェクトF(政策実践)	2
	地域創生コース		実践プロジェクトG(アート創生)	2
医学部	医学科	西村 明儒	医学研究実習	3
	医科栄養学科	二川 健	臨床栄養学実習	3
	保健学科(看護)	友竹 正人	高齢者看護学概論	2
	保健学科(放射)	芳賀 昭弘	制御システム工学	3
	保健学科(検査)	濱野 修一	生理検査学 I	3
歯学部	歯学科	吉村 弘	歯科英語	3
	口腔保健学科	尾崎 和美	オーラルヘルスプロモーション	2
薬学部	薬学科	山田 健一	薬理学実習	2
	創製薬科学科			
理工学部 ／理工学科	社会基盤デザインコース	上月 康則	社会基盤実験実習	3
	機械科学コース	大石 昌嗣	機械科学実験3	3
	応用化学システムコース	安澤 幹人	基礎化学実験	2
	電気電子システムコース	川上 烈生	電気電子工学基礎実験	2
	情報光システムコース	岡本 敏弘	光応用工学実験1、光応用工学実験2	3
	応用理数コース 数理科学系	三好 徳和	プログラミング演習2	2
			物理学実験1	2
	応用理数コース 自然科学系	三好 徳和	化学実験2	3
生命科学実験1			2	
地球科学実験1			2	
生物資源産 業学部 ／生物資源 産業学科	応用生命コース	長宗 秀明	生物資源産業学実習	2
	食料科学コース			
	生物生産システムコース			

#### 1-4. SIH 道場パフォーマンス科目学生アンケート調査の結果

「SIH 道場パフォーマンス科目」は2年次学生または3年次学生が受講する科目であり、SIH 道場で学んだラーニングスキル（文章力・プレゼン力・協働力・振り返り）を実践する場である。SIH 道場を受講した学生たちが、高学年次においてどのような学修を実践しているのかを検証するために、SIH 道場パフォーマンス科目受講後の学生を対象にアンケート調査を実施した。

令和元年度のSIH 道場パフォーマンス科目における学生アンケート回答者数は以下の通りである。

1,165 名中 582名（回収率：50%）

以下に、SIH 道場受講前学生アンケートとの比較をしつつ、大学全体の傾向について概観する。

SIH 道場受講前学生アンケートの結果と比較して10%以上の大幅な変化が見られた項目は、次の通りである。（）内の数値について、割合はSIH 道場パフォーマンス科目における結果を表し、<+○%>はSIH 道場受講前学生アンケートの結果と比較した場合の差を表す。

- 1-1. A.あまり興味がなくても、単位を楽にとれる授業がよい（63%<+24%>）
- 1-13. B.大学では既にある学問の知識について、体系的に修得する学びが重要だ（30%<+13%>）
- 1-14. A.学生が知識や技能を身につけられるかどうかは、大学の教育の責任だ（31%<+17%>）

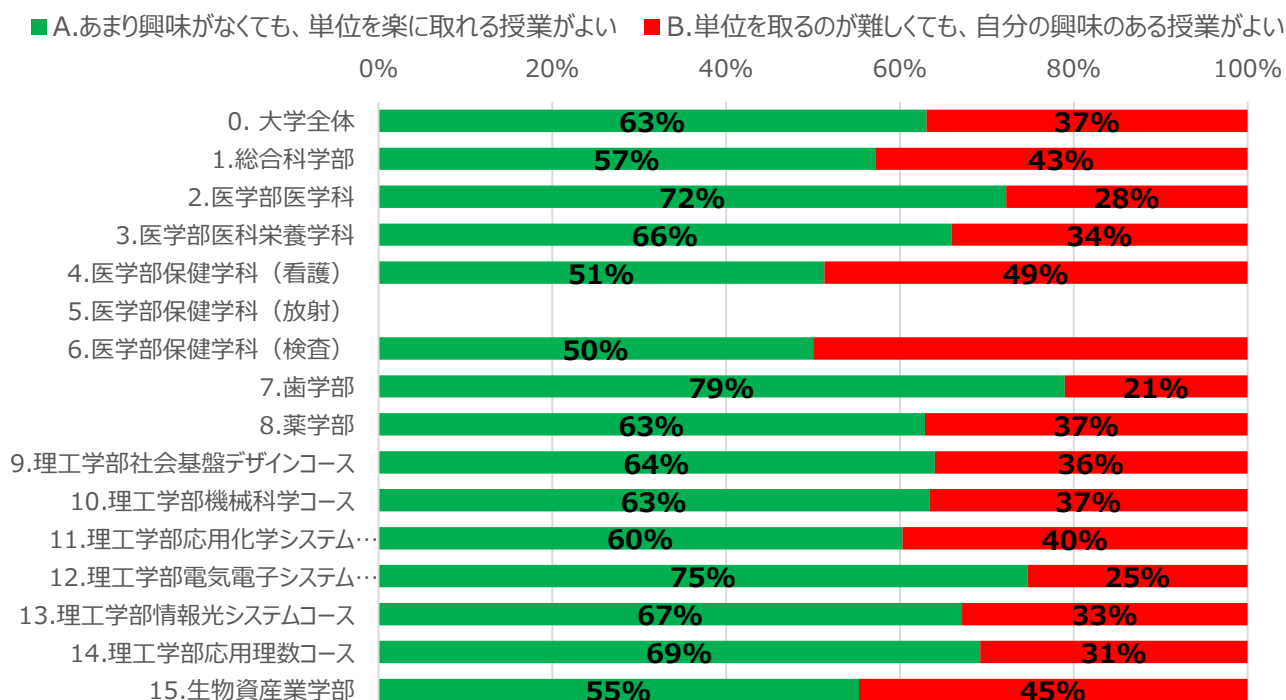
2年次・3年次学生の学修に対する意識として、単位取得は楽に行える方がよいとしつつも、専門分野の知識や技能の習得や、学問の体系的な学びを重視するようになった様子が窺える。さらに、こうした学修目標を達成できるかどうかについては大学の教育にその責任を認める方向に変化していることが分かる。これらの3項目は平成30年度にも同様の結果が得られており、徳島大学の学生の共通する特徴なのかもしれない。

また、SIH 道場を受講する1年次前期と比較してラーニングスキルが向上したかどうかを問う設問では、文章力・プレゼン力・協働力のすべての項目において約8割以上の学生が「向上した」とする結果が得られた。具体的な割合は、文章力91%（前年比+3%）、プレゼン力72%（前年比-7%）、協働力86%（前年比-1%）であり、プレゼン力の前年度比の値は注意したいものの、全体的に高い状態にあることが分かる。

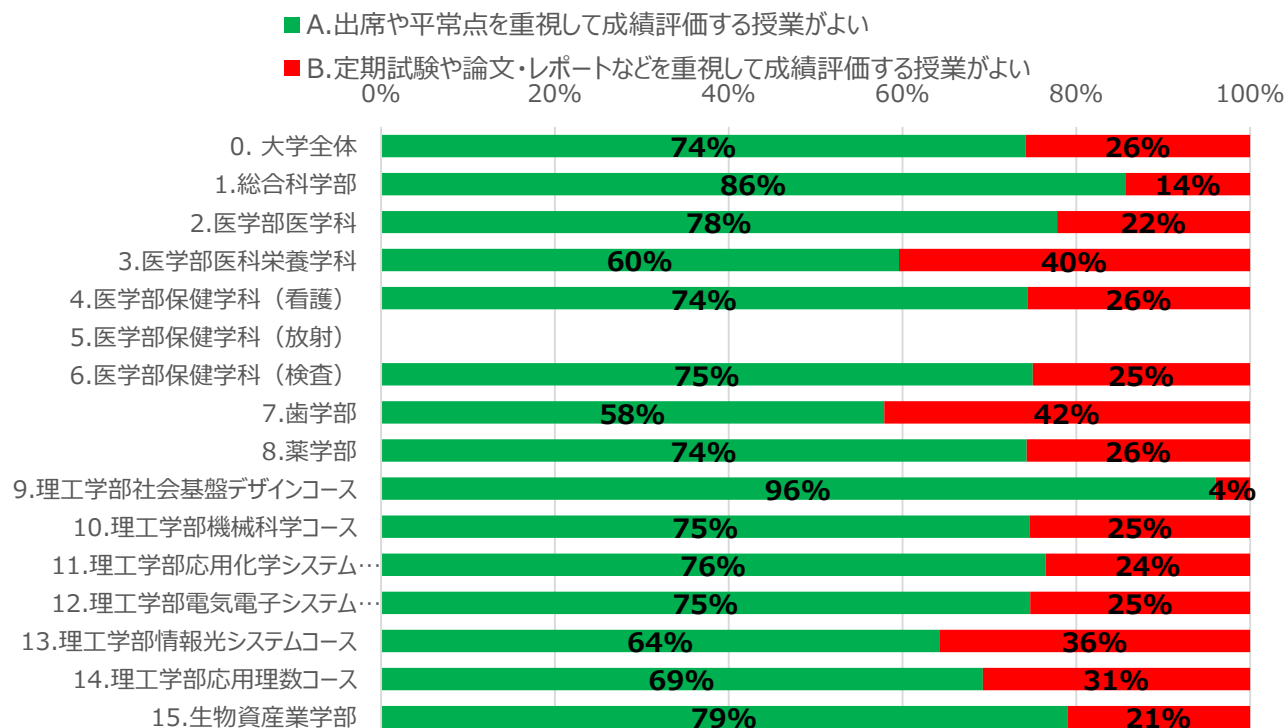
これらの結果から、学生たちが大学の授業を通じて、SIH 道場で学んだラーニングスキルを実践する機会を重ねており、これによりその能力を伸ばしていることが明らかとなった。一方で、自由記述の結果を眺めると、「機会が少ない」「指導を受ける機会が少なかった」といった教育の機会の少なさを指摘する意見や、「消極的であった」「参加の仕方がわからない」など、学生自身の意識姿勢に関する課題が挙げられている。来年度はこの結果をSIH 道場授業担当教員に共有する形で授業改善につなげていきたい。

問 1. 大学教育について、あなたは次にあげる A、B のどちらの考え方に近いですか？

1-1. 大学教育について、あなたは次にあげる A、B のどちらの考え方に近いですか？



1-2. 大学教育について、あなたは次にあげる A、B のどちらの考え方に近いですか？

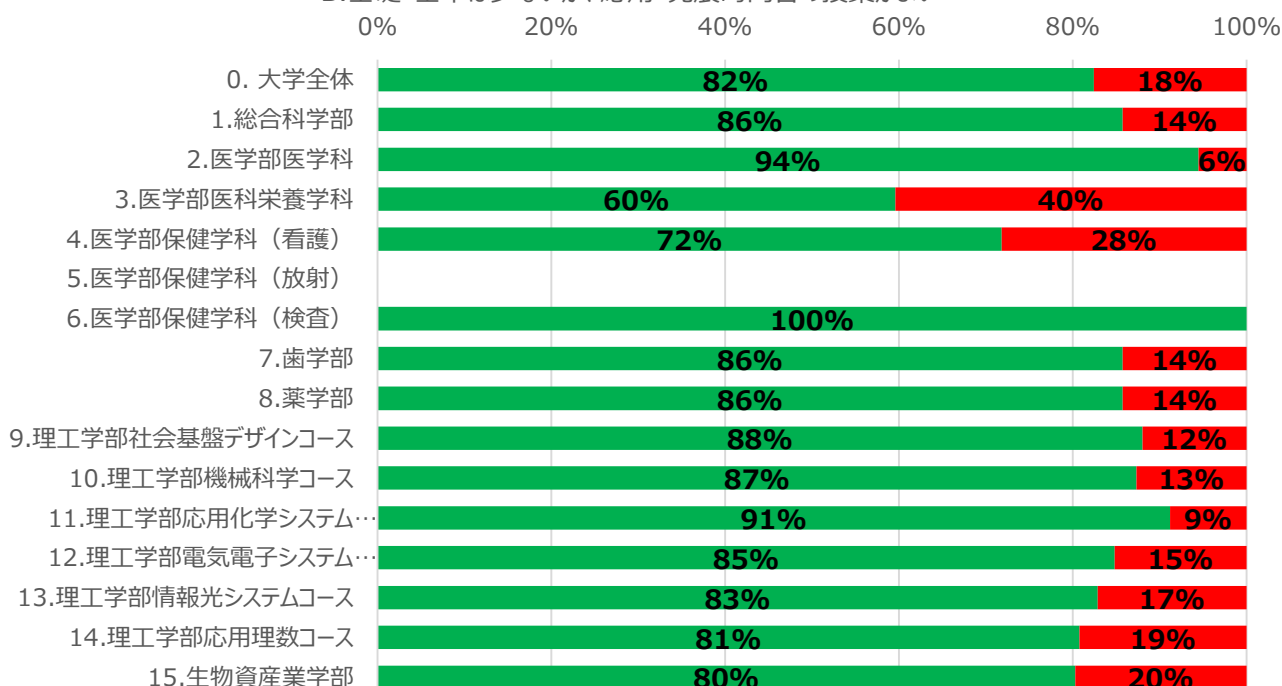




1-3. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

■ A. 応用・発展的内容は少ないが、基礎・基本が中心の授業がよい

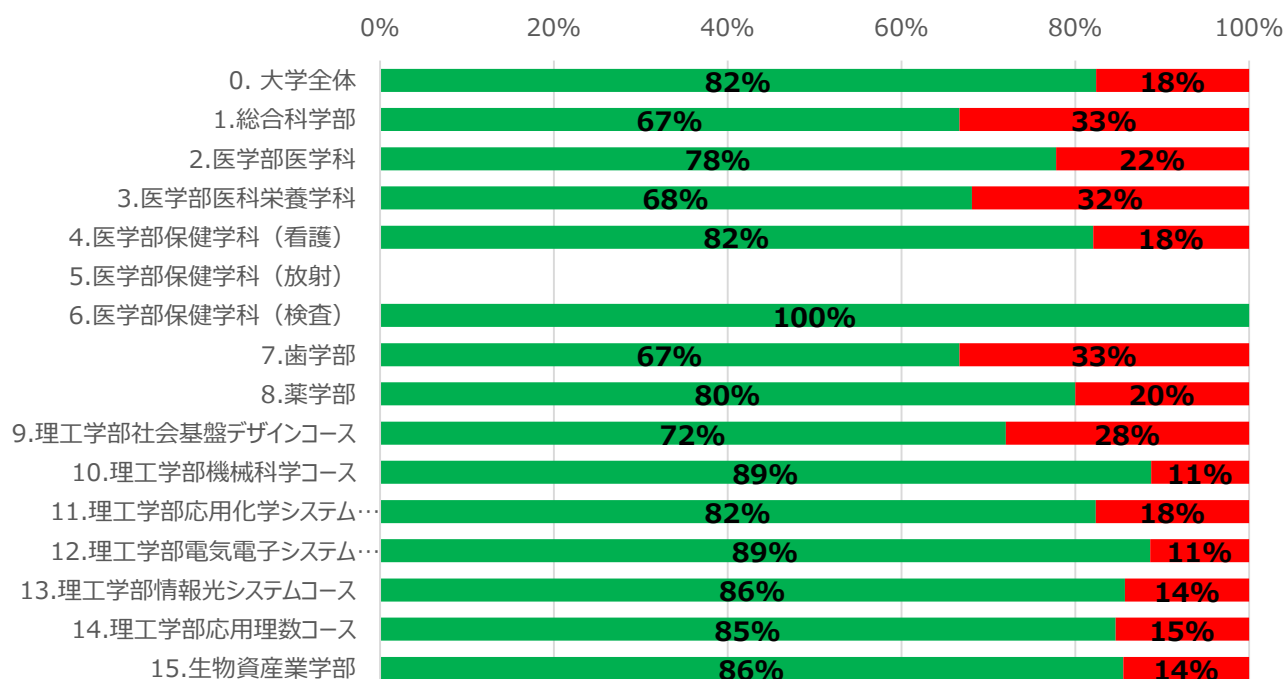
■ B. 基礎・基本は少ないが、応用・発展的内容の授業がよい



1-4. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

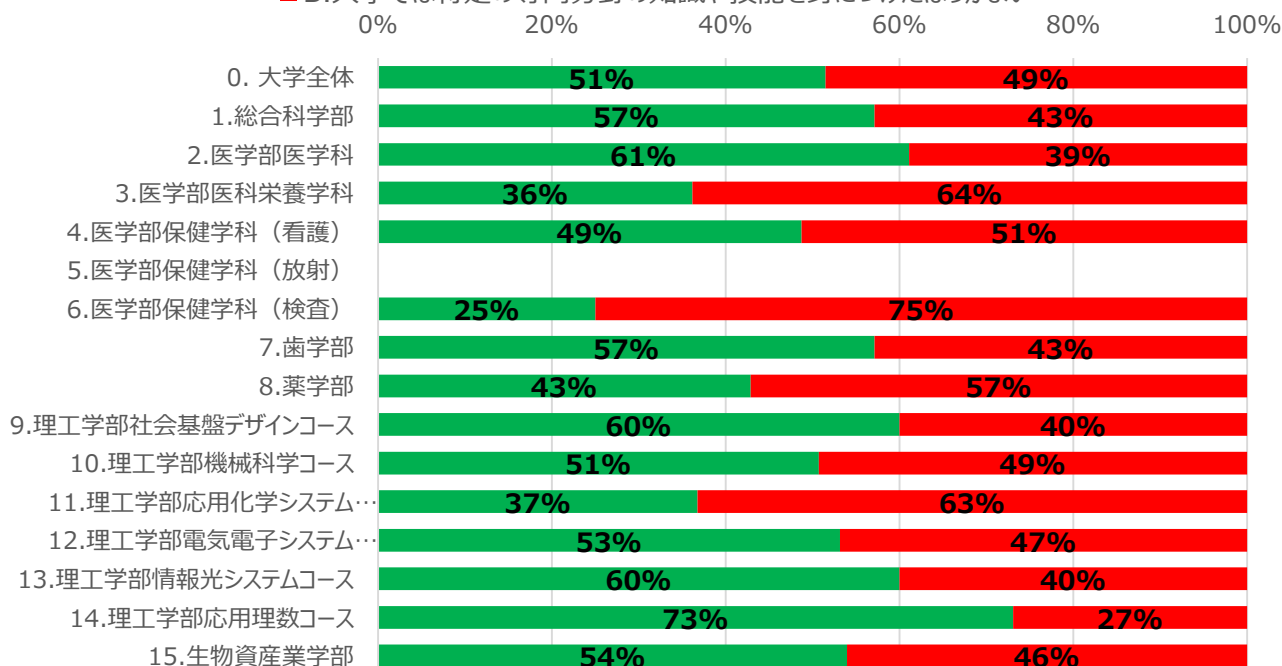
■ A. 教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい

■ B. 学生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい



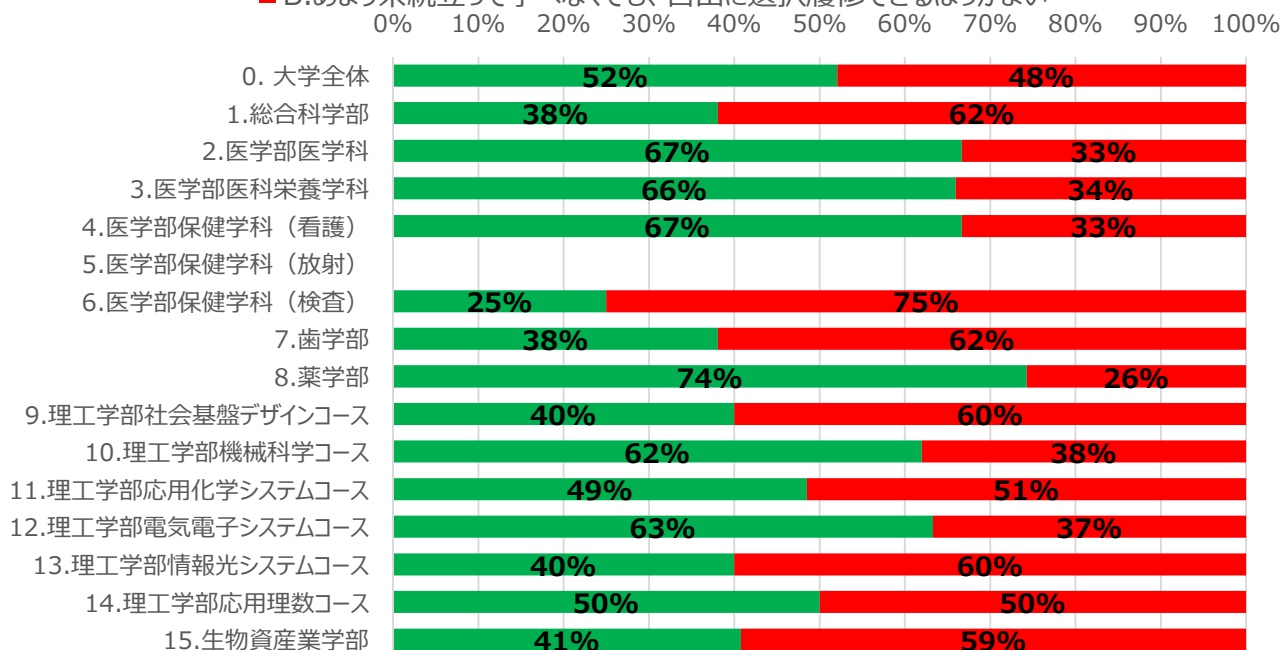
1-5. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いのです

- A.大学では幅広い分野の知識や技術を身につけたほうがよい
- B.大学では特定の専門分野の知識や技能を身につけたほうがよい



1-6. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いのです

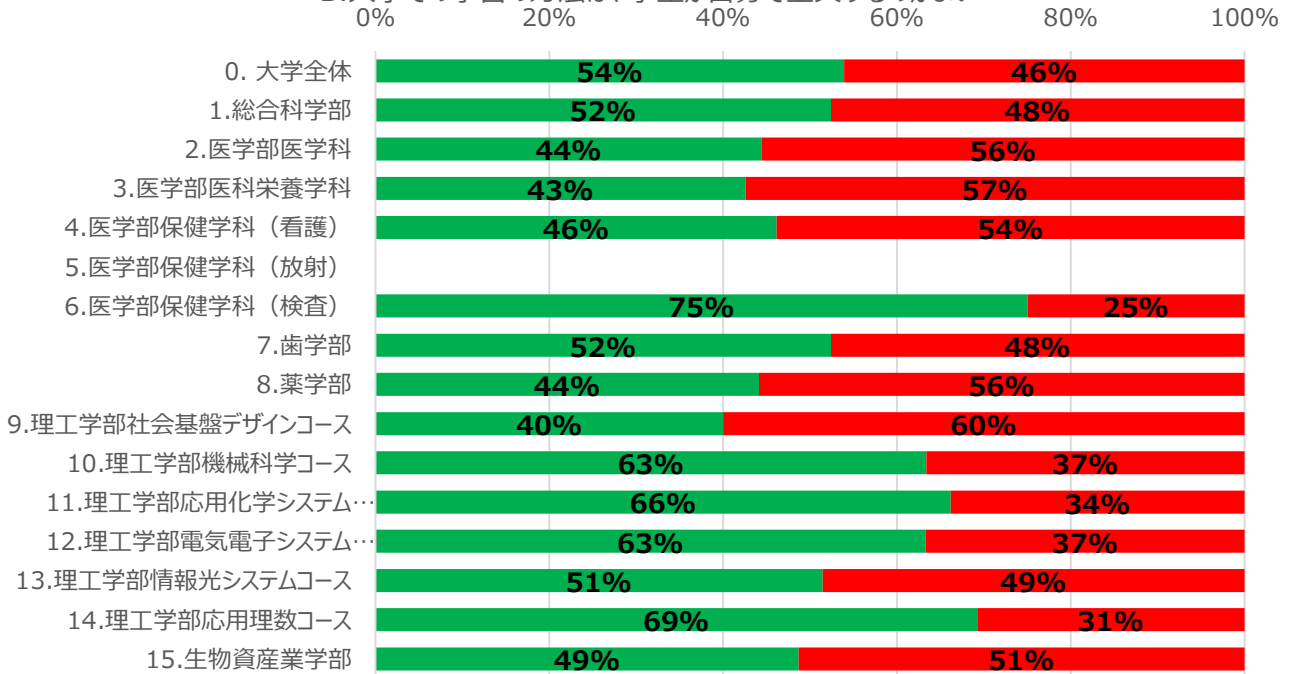
- A.あまり自由に選択履修できなくとも、系統立って学べるほうがよい
- B.あまり系統立って学べなくとも、自由に選択履修できるほうがよい



1-7. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

■ A. 大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるのがよい

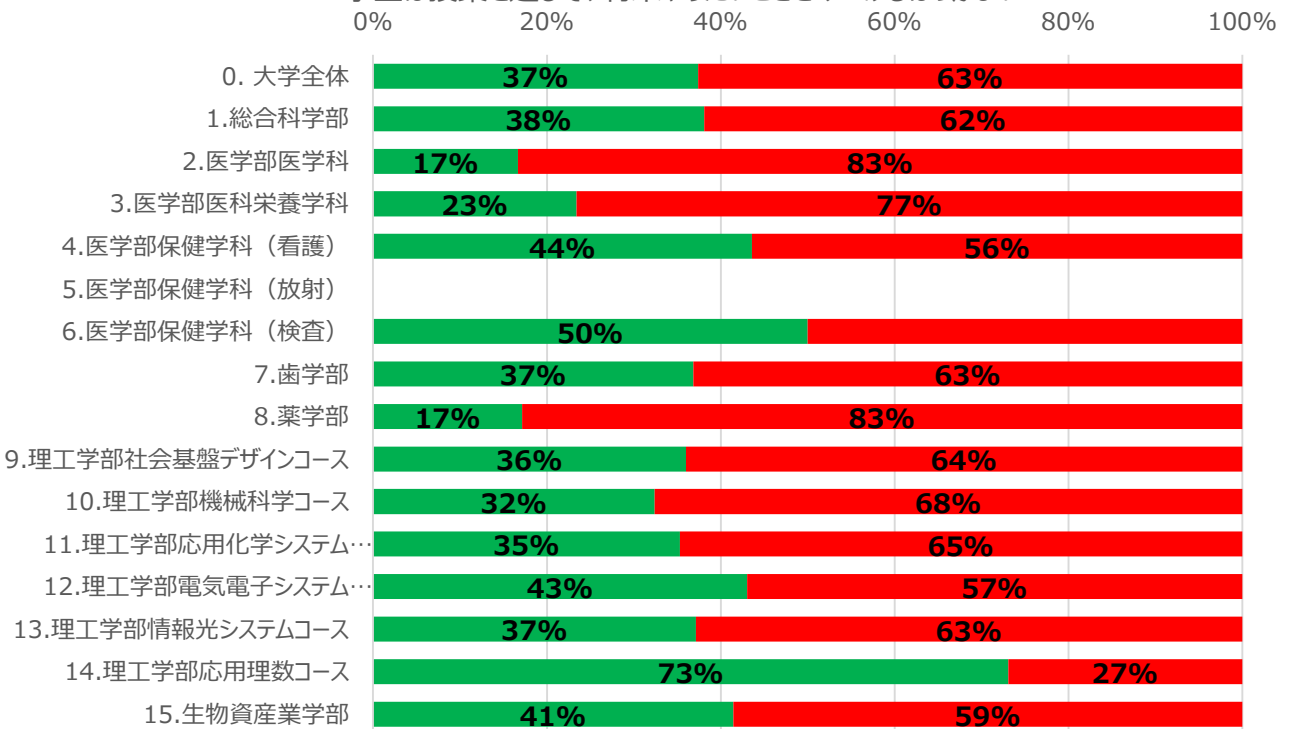
■ B. 大学での学習の方法は、学生が自分で工夫するのがよい



1-8. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

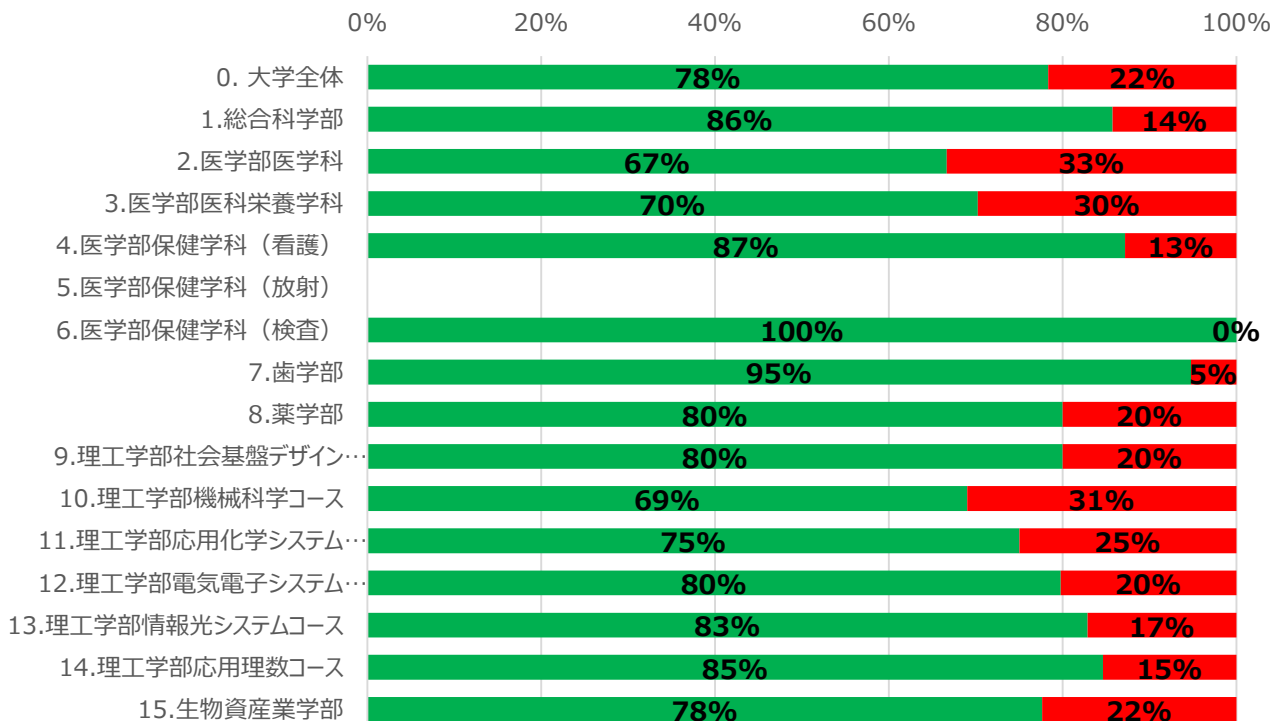
■ A. 学生は将来やりたいことを決めて、授業をうけるほうがよい

■ B. 学生は授業を通じて、将来やりたいことをみつけるほうがよい



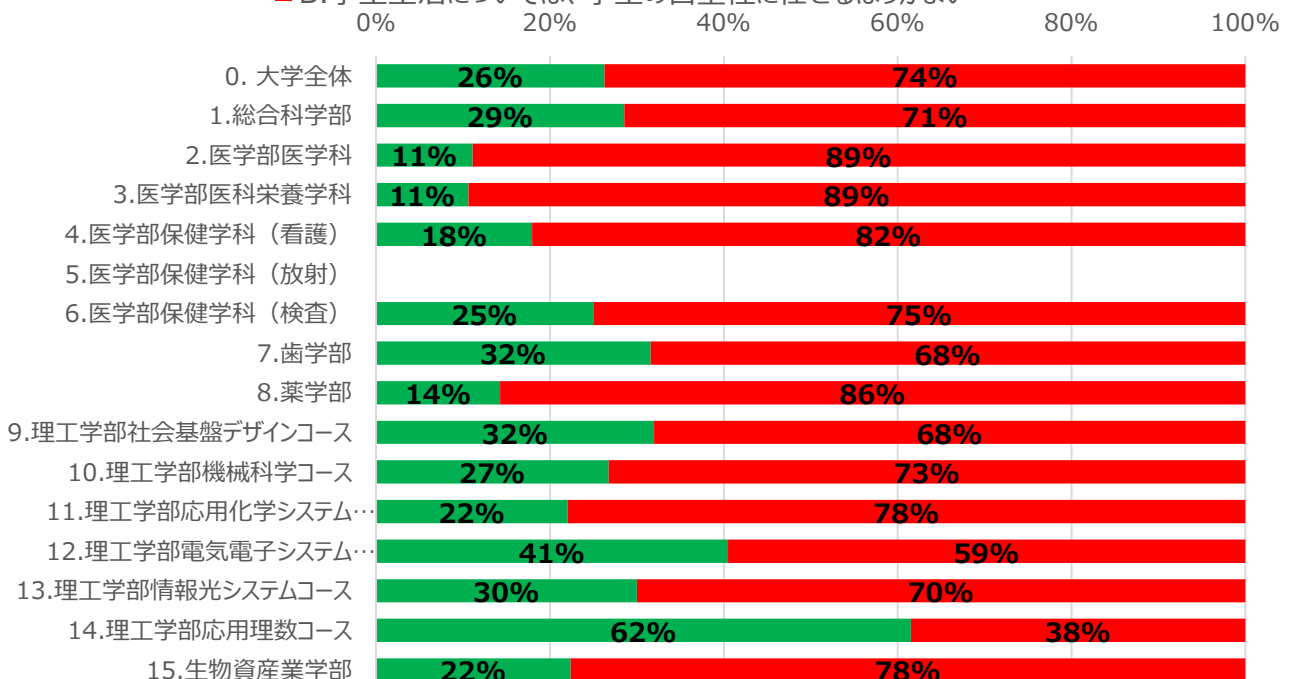
1-9. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

- A. 授業以外でも、大学の教員は積極的に学生と交流するほうがよい
- B. 授業以外では、大学の教員は必要以上に学生と交流しなくてもよい



1-10. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

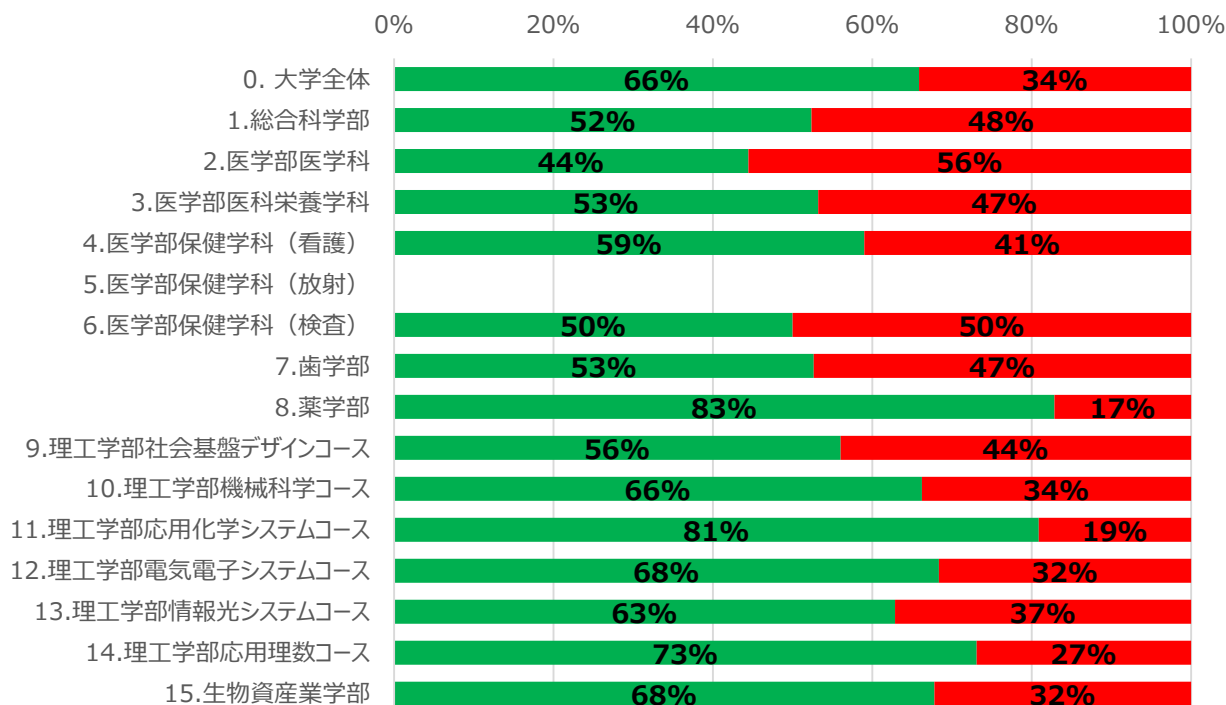
- A. 学生生活については、大学の教員が指導・支援するほうがよい
- B. 学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい



1-11. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

■ A.就職については、大学の指導・支援にもとづいて活動する方がよい

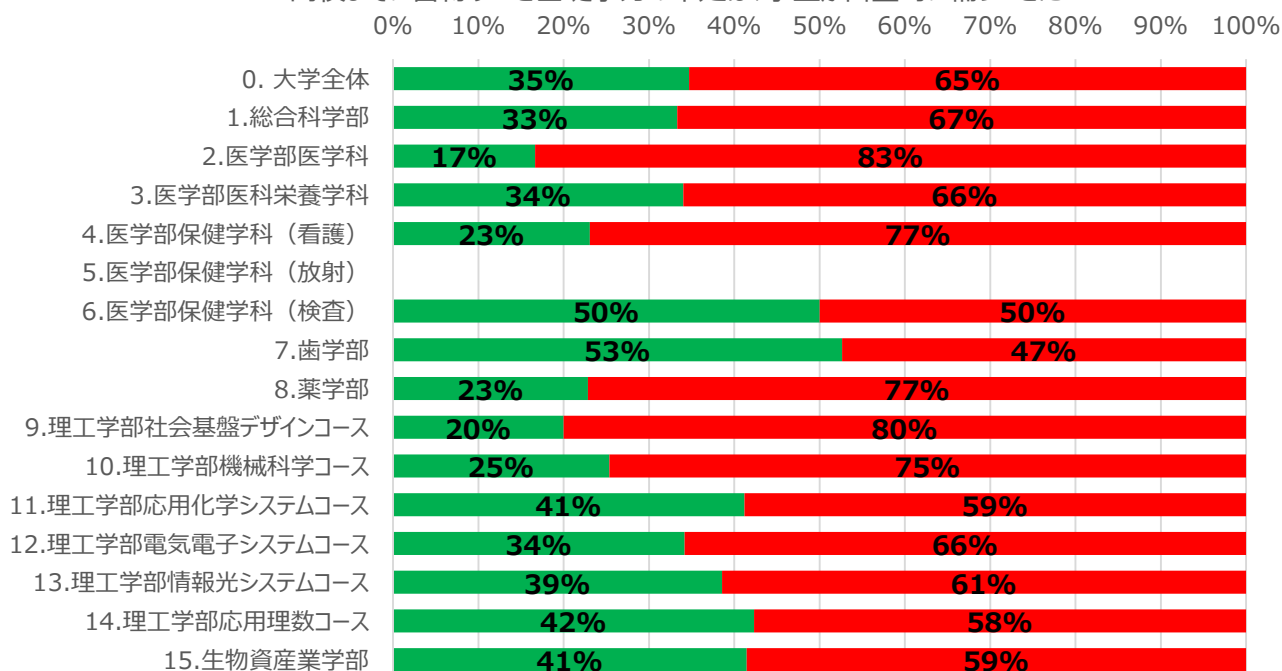
■ B.就職については、学生の自主性にもとづいて活動する方がよい



1-12. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

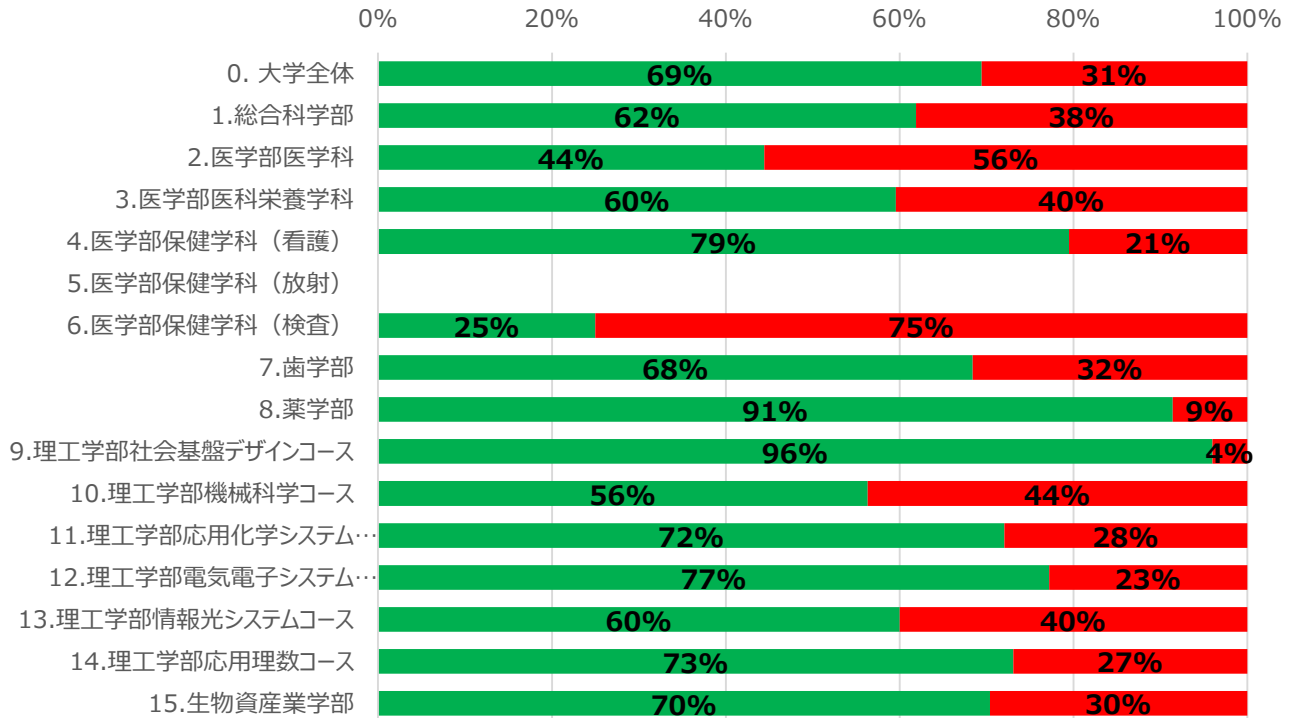
■ A.高校までに習得すべき基礎学力の不足は、大学が授業で指導すべきだ

■ B.高校までに習得すべき基礎学力の不足は、学生が自主的に補うべきだ



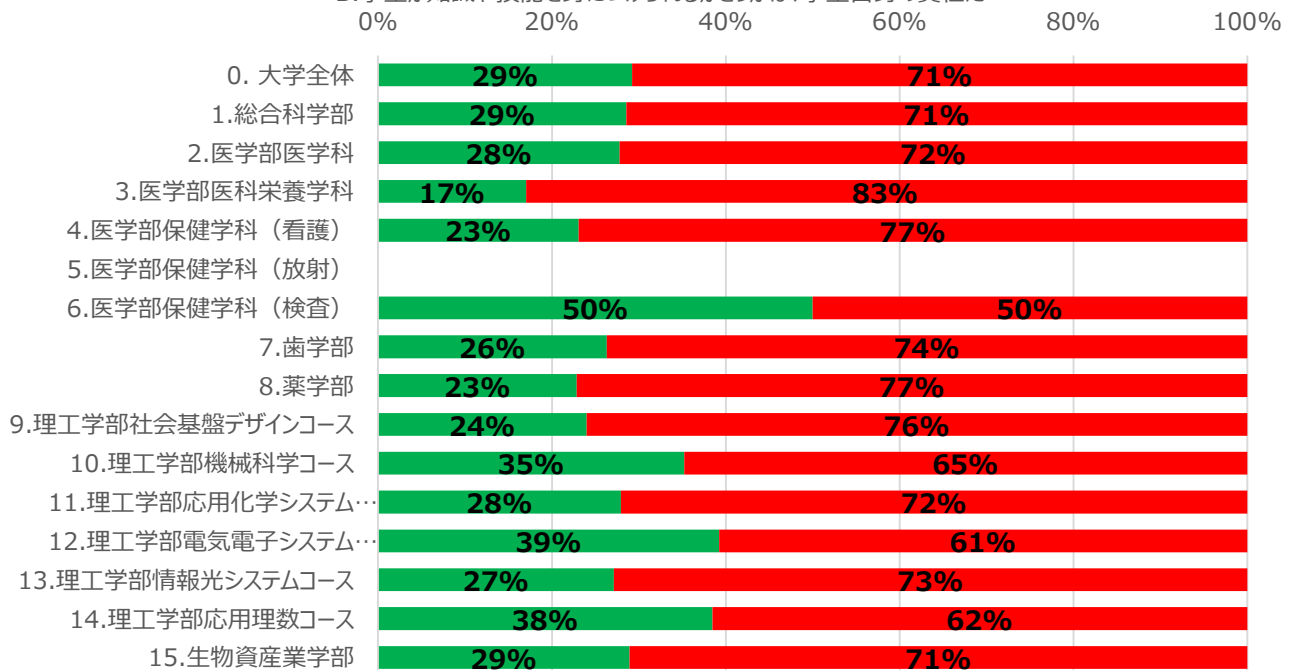
1-13. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

- A.大学では答えのない問題について、自分なりの解を探求する学びが重要だ
- B.大学では既にある学問の知識について、体系的に修得する学びが重要だ



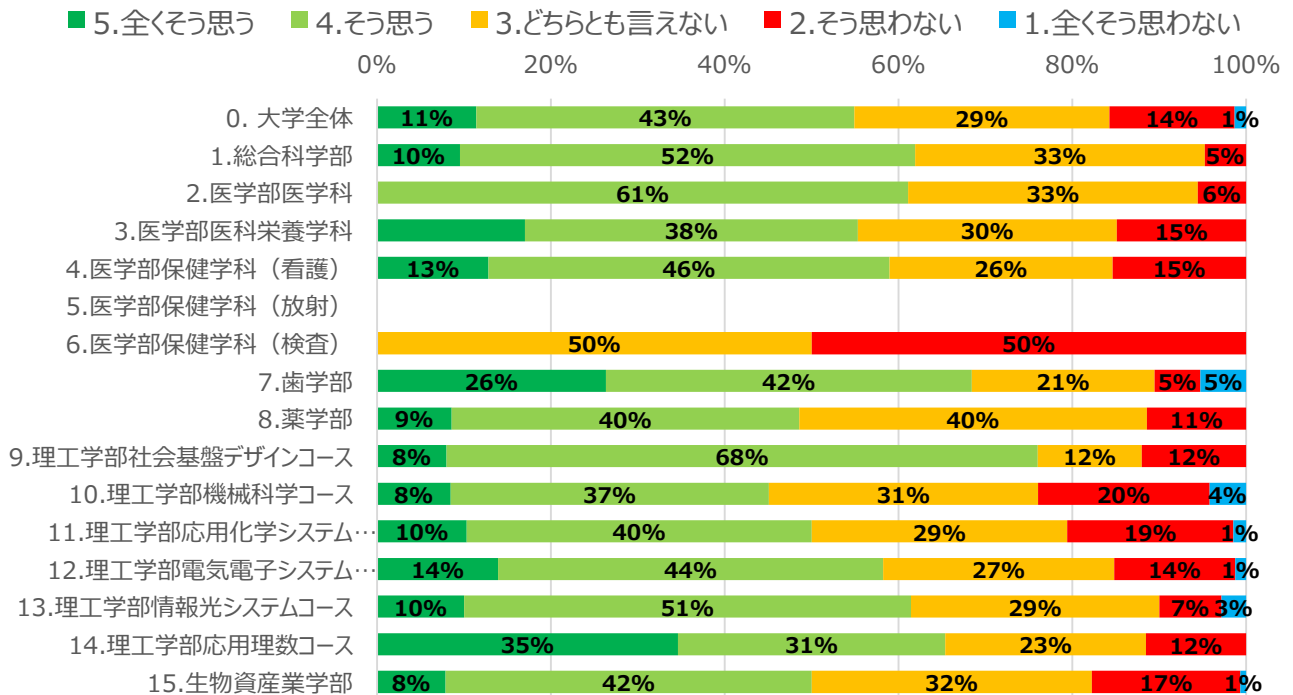
1-14. 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか？

- A. 学生が知識や技能を身につけられるかどうかは、大学の教育の責任だ
- B. 学生が知識や技能を身につけられるかどうかは、学生自身の責任だ

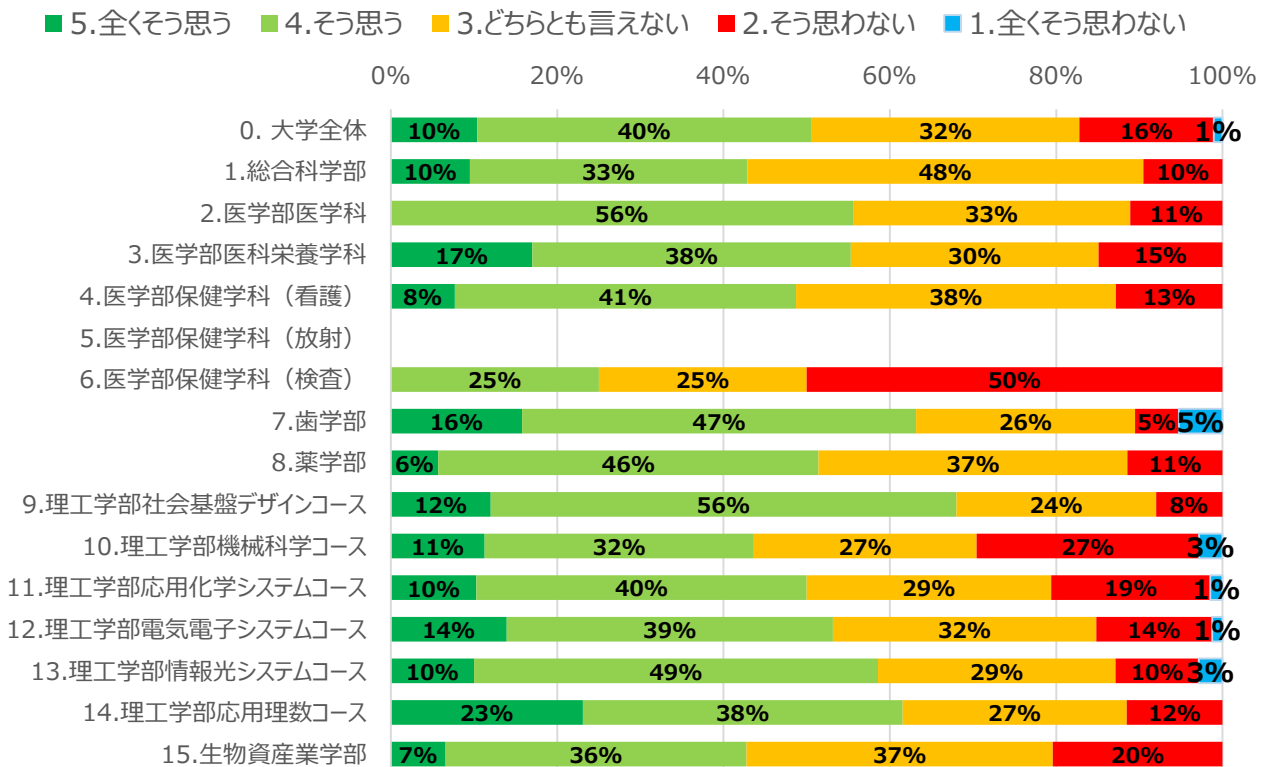


問 2.

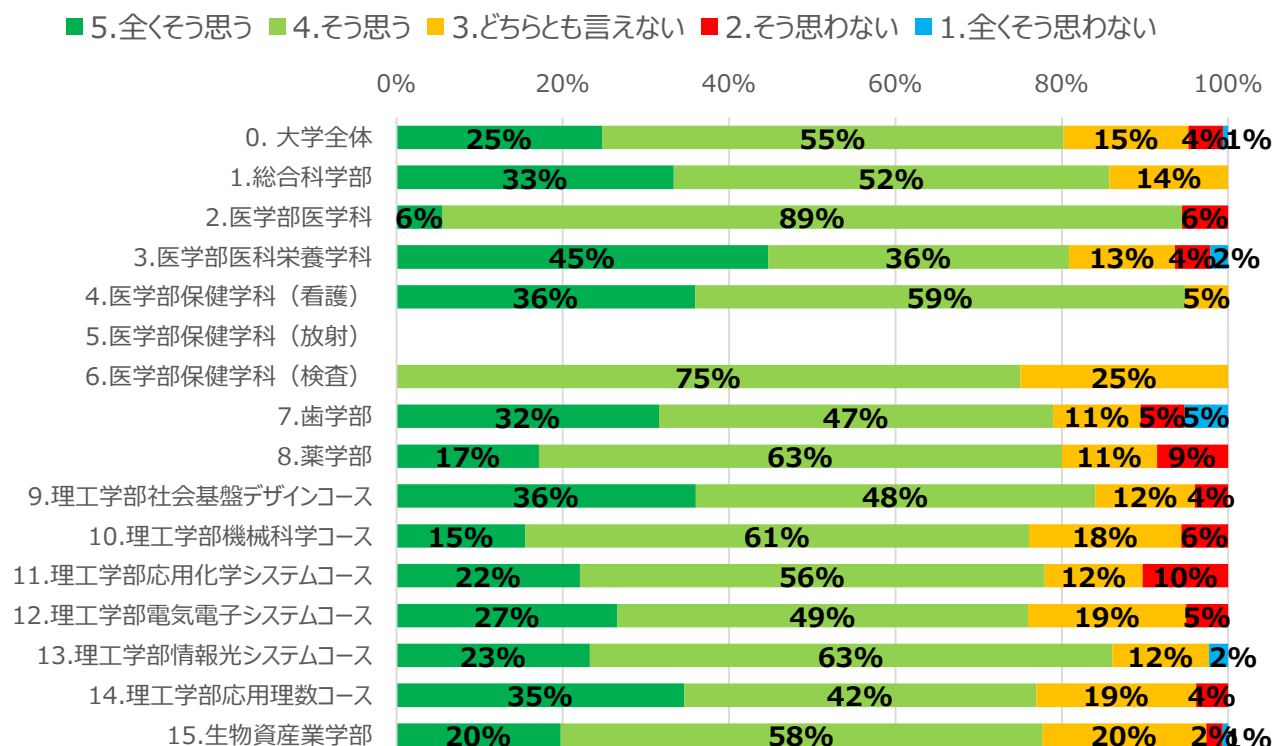
2-1. 自分の考えを文書による表現で、効果的に相手に伝えることができる



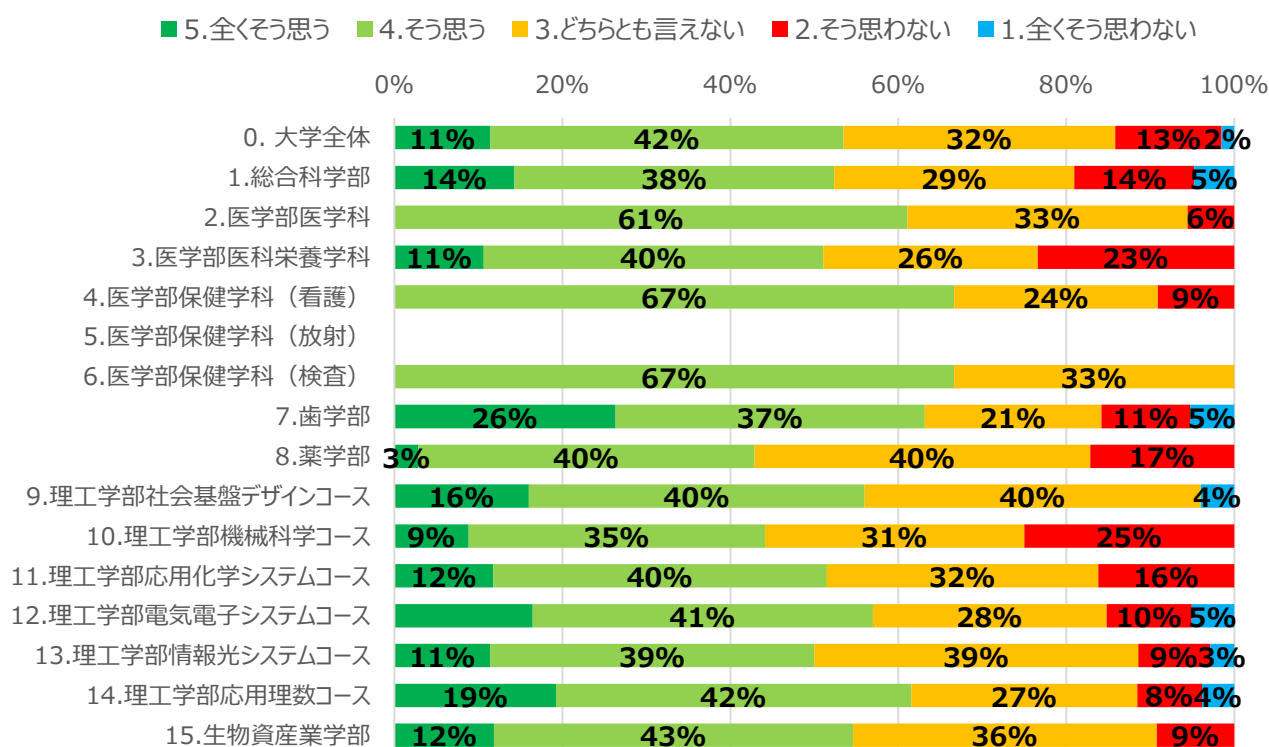
2-2. 自分の考えを口頭による説明や資料を用いて、効果的に相手に伝えることができる



### 2-3. 1つの課題に対して、他者と協力して取り組むことができる

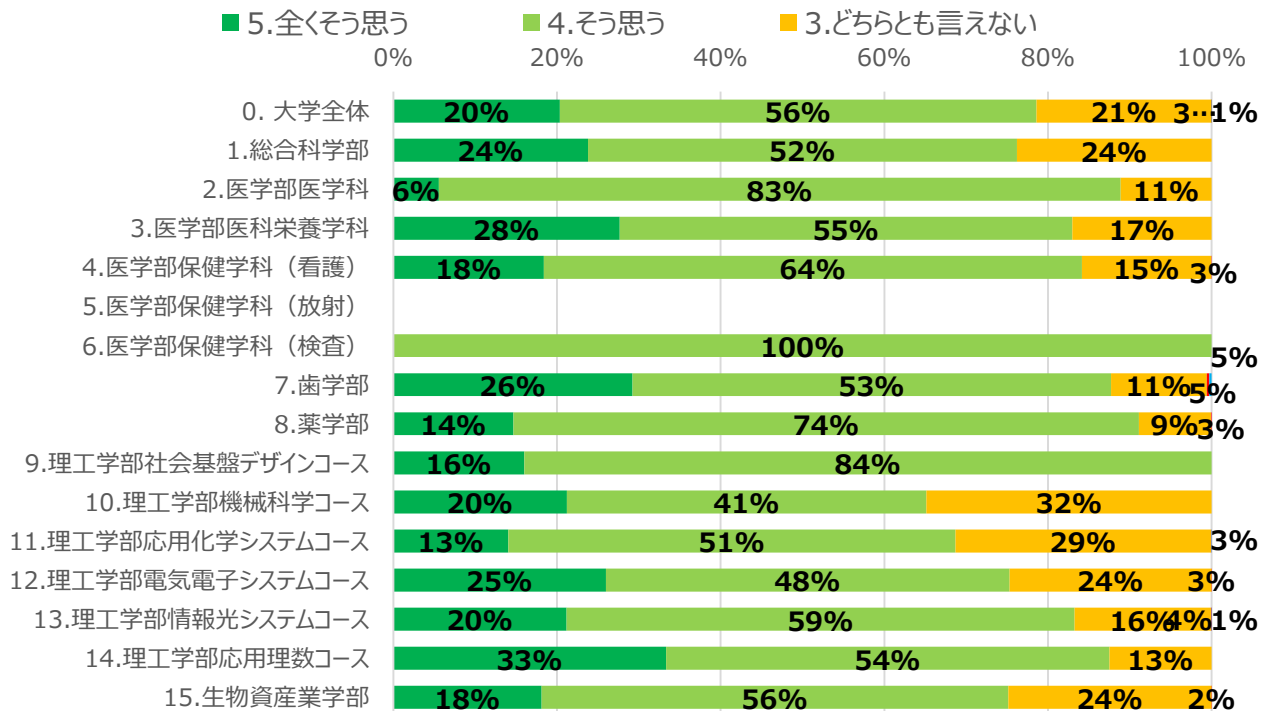


### 2-4. 日常的に自身の学修内容等を振り返り、改善点を見出し向上を図っている

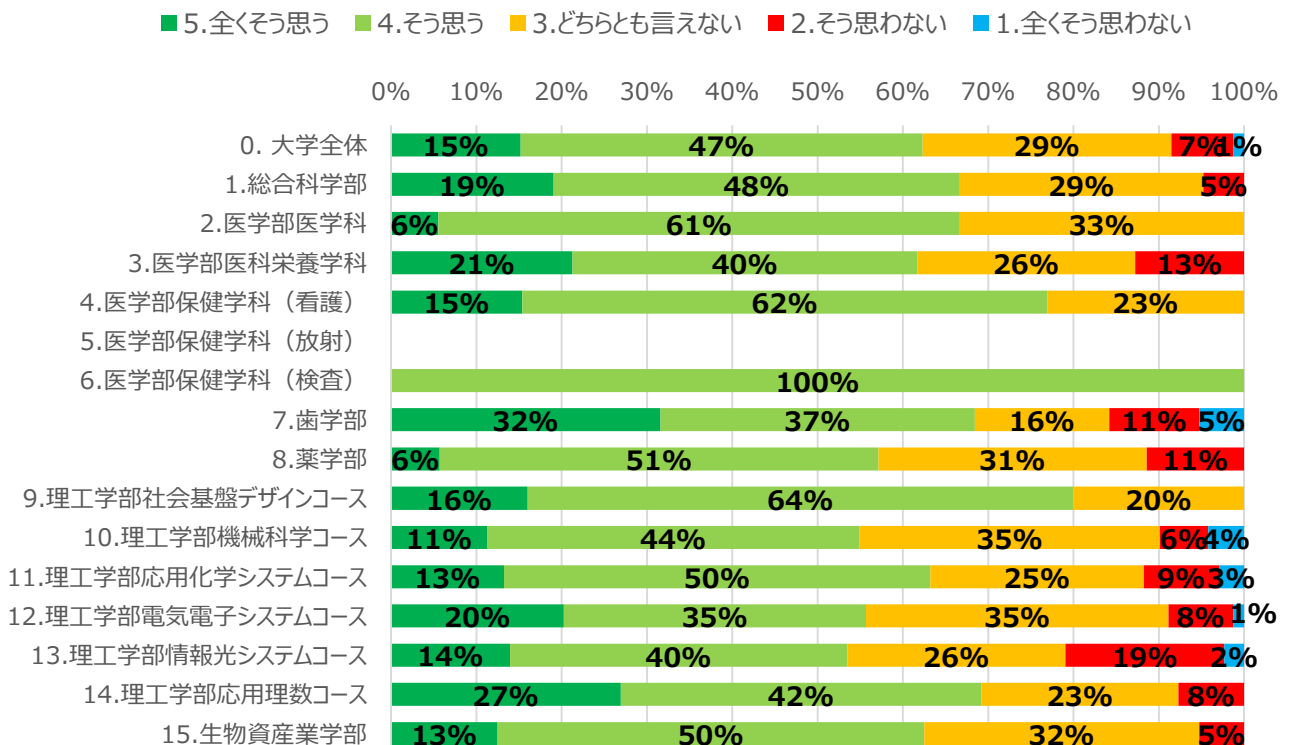




2-5. 授業内容の意味を理解しようするとき、自分がすでに知っていることと結びつけて考えている

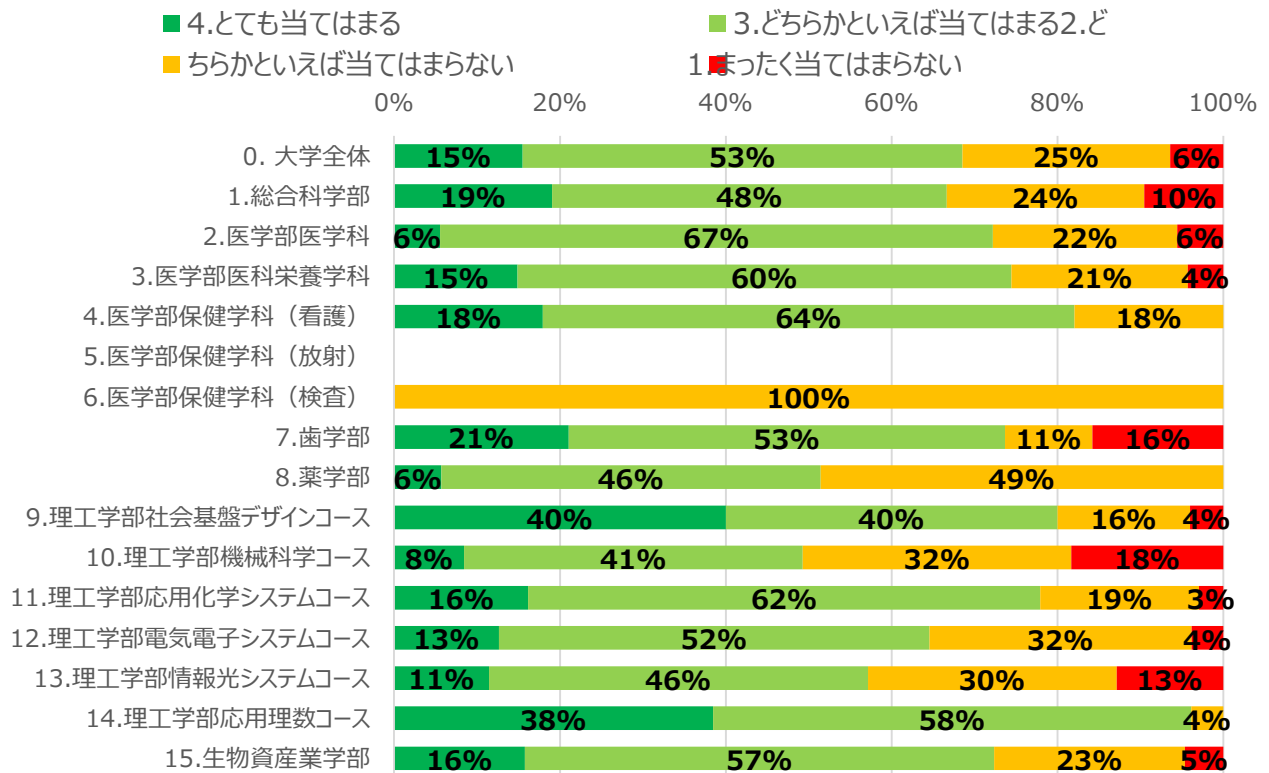


2-6. .SIH道場の「早期体験」は専門科目の学修において役に立っている

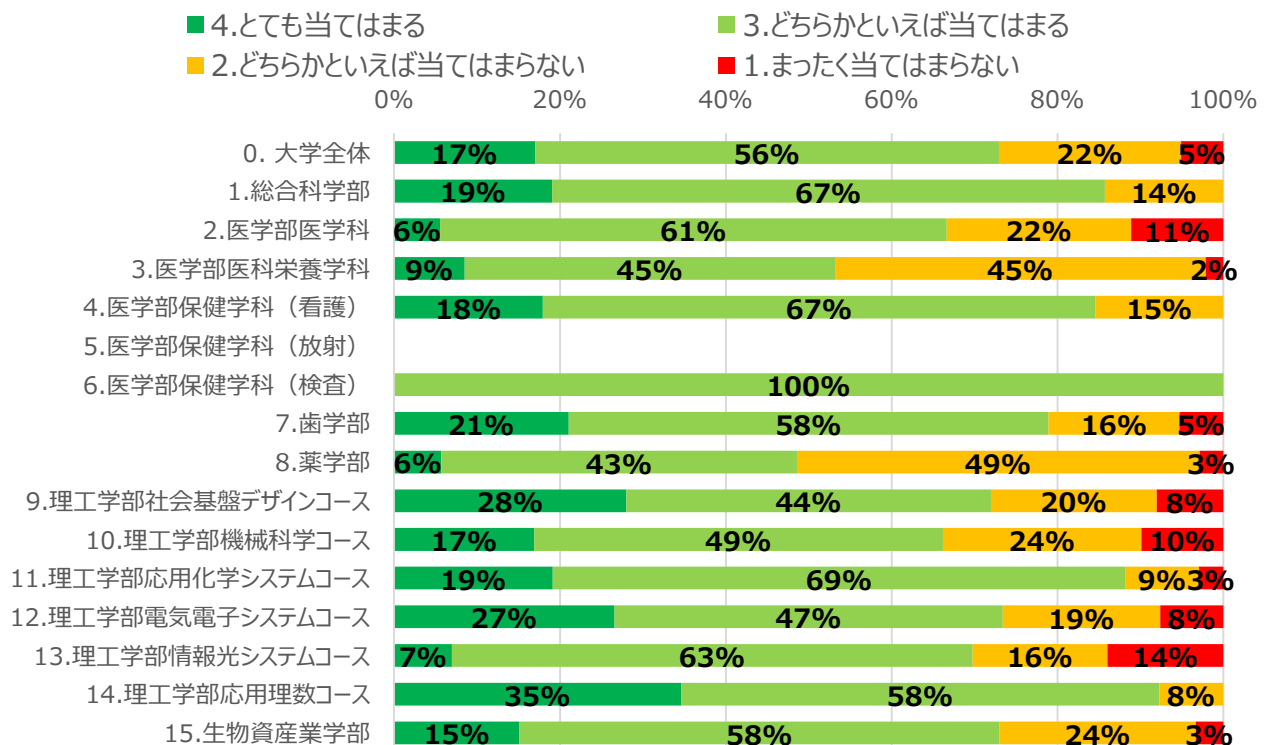


問3.

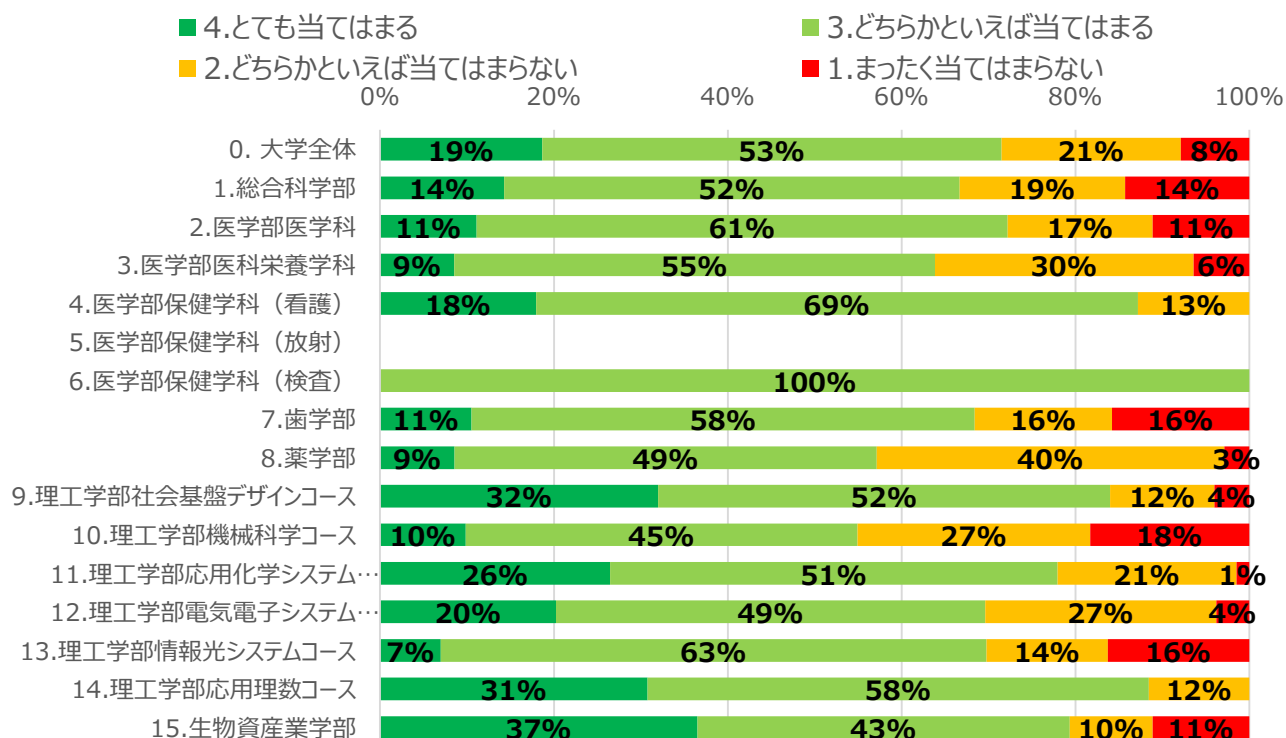
3-1. SIH道場の「早期体験」は専門科目の学修において役に立っている



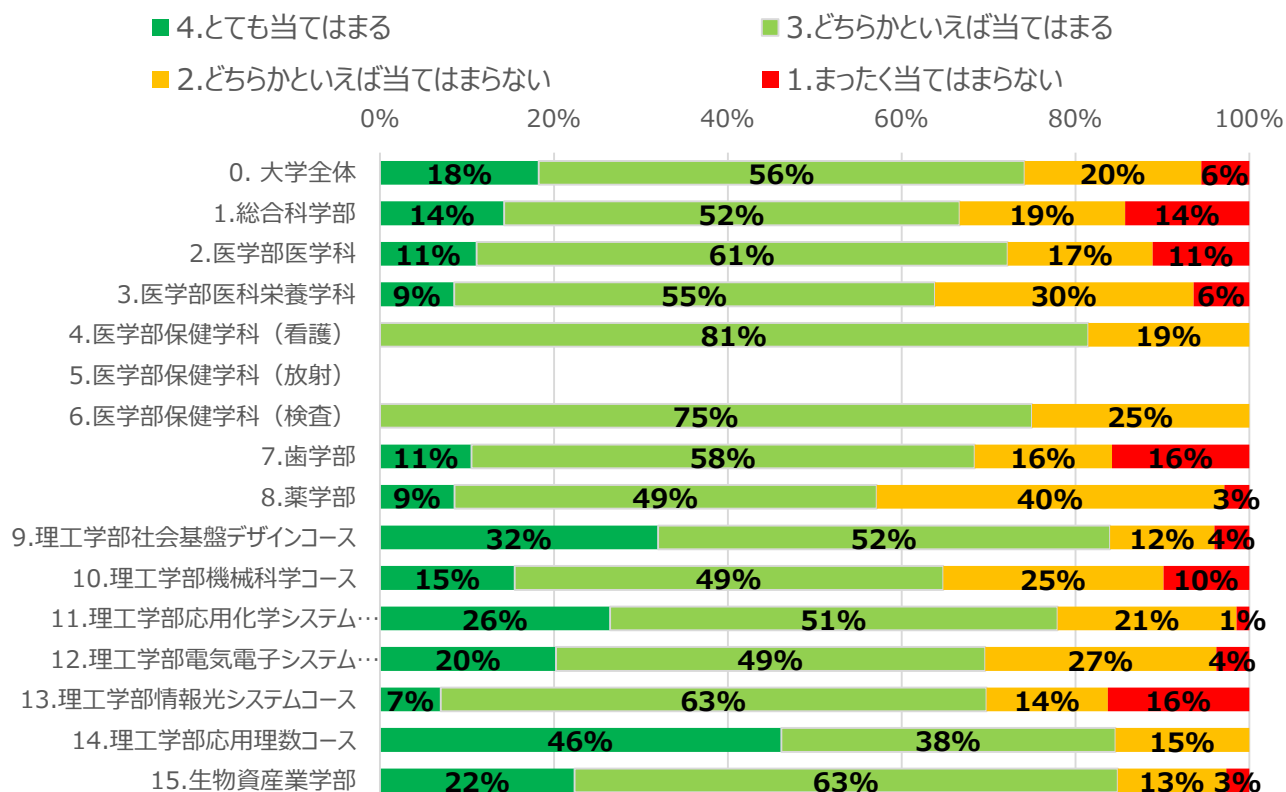
3-2. SIH道場で学修した「文章・レポートの書き方」は役に立っている



### 3-3. レポート等の学術的文章を書く際に必要な準備や基本的なルールを理解した



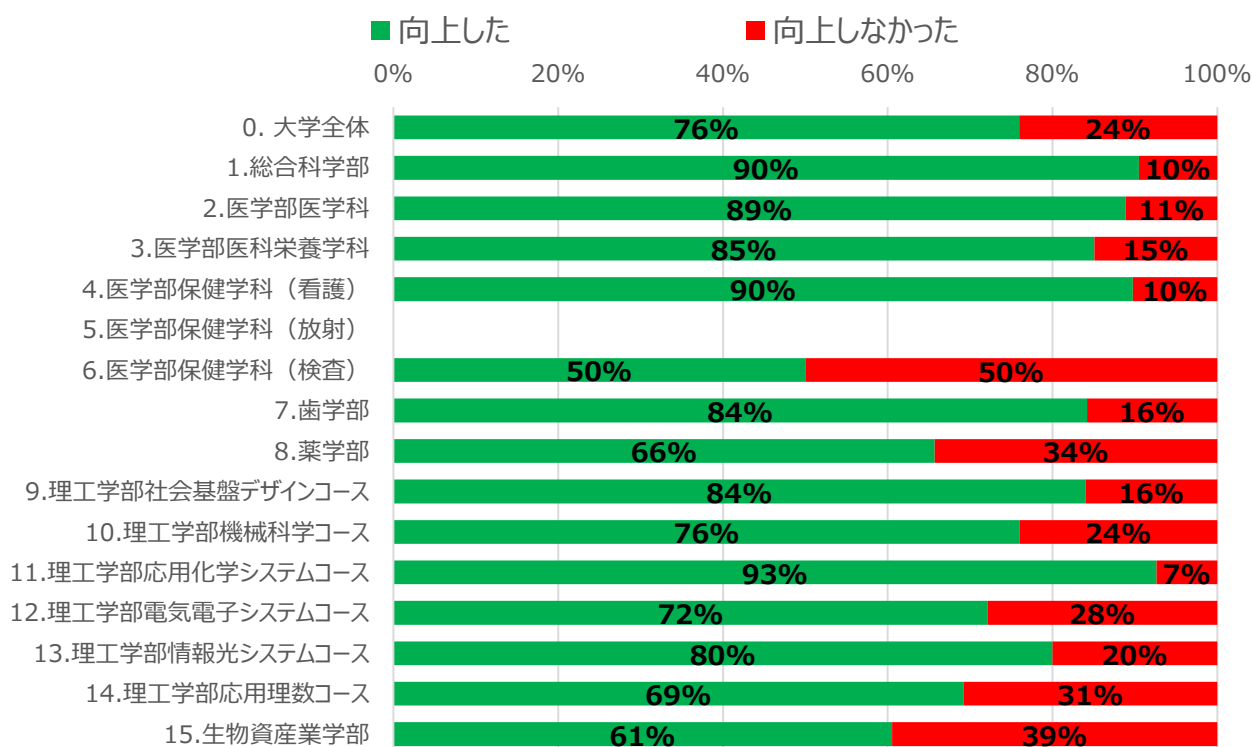
### 3-4. プレゼンテーションを効果的に行うために必要な準備・姿勢・資料を理解した



#### 問4. 3つのラーニングスキルについて

大学生1年生の前期と比べて、プレゼンテーション力・文章レポートを書く力・協働力（コミュニケーションを通じて、複数人で課題に取り組む能力）に関するスキルは向上しましたか？ 「向上した」又は「向上しなかった」のいずれかに○を記し、その理由について自身の経験を交えながら具体的に記入して下さい。また、今後それぞれのスキルを向上させるために必要な取り組みについて具体的に記入して下さい。

#### 4-1: プレゼンテーション力について



#### 4-2. プレゼンテーション力が向上した理由または向上しなかった理由

##### 1. 総合科学部

###### 【向上した理由】

- ・ ボルティスについてプレゼンする機会があったから
- ・ 自分で計画し発表する機会があったから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 成果をプレゼンする機会があったから
- ・ まとめとして企画構成を考えプレゼンする機会があったため
- ・ 発表する機会があったから
- ・ 反省点を改善するから
- ・ 実習の内容とそこからの課題発見、調査、改善案を発表する機会があったから。
- ・ プレゼンする授業が多い
- ・ レポートを書く機会があったから
- ・ 調査実習などにおいてプレゼンテーションをする機会が増えたから
- ・ 信憑性を意識するようになった
- ・ プレゼンテーションを課す授業をいくつか履修していたから。
- ・ 企画書の発表のため
- ・ プレゼンの機会が多かったから
- ・ 授業の最後にプレゼンする機会があったから
- ・ 多少なりともプレゼンすることに慣れたから
- ・ 英語でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンをする機会が増えたから

###### 【向上しなかった理由】

- ・ プレゼンについて授業であまり話されなかったから

## 2. 医学部医学科

### 【向上した理由】

- ・ いろいろ
- ・ 部活を通して
- ・ プレゼンをする機会が何度かあったから。
- ・ プレゼンする機会のある授業が多かったから。
- ・ 医学研究実習において鍛えられたと思うから。
- ・ ジャーナルクラブでプレゼンしたから
- ・ 機会があったため
- ・ プレゼン機会があった
- ・ プレゼンの機会が複数あったため
- ・ 医学研究実習でポスター発表する機会があった為
- ・ 何度か発表の機会があったから
- ・ チュートリアルでの発表に役立った
- ・ 機会が多かったから
- ・ プレゼン機会が複数回あったから
- ・ ポスター発表の機会があった
- ・ 経験をたくさんしたため

### 【向上しなかった理由】

- ・ プレゼンの機会はいくらかあったような気はするが、そこまで多くなかった上に時間が空いてぼつぼつと機会があった程度だから。
- ・ 利用したことがない

## 3. 医学部医科栄養学科

### 【向上した理由】

- ・ 機会があったから
- ・ 発表が多いから
- ・ 授業でプレゼンする機会がたくさんあるから
- ・ 生体栄養学分野の実習に於いてプレゼンの機会があったため
- ・ さまざまな授業でプレゼンする機会があったから
- ・ 自分達でスライドを作り、プレゼントする機会があったから
- ・ レポートをたくさん書いたから。
- ・ 専門科目内でプレゼンをする機会が何回かあったから
- ・ 発表の機会が度々あったから
- ・ プレゼンをする機会が多かったから
- ・ 複数の授業とサークル活動で発表する機会に恵まれていたため
- ・ プレゼンをする授業が多くあったから
- ・ 課題のプレゼンをして質疑応答する機会があったから
- ・ グループでプレゼンする機会があったから
- ・ グループでプレゼンする機会が多かったから
- ・ 大学 1 年生のときまではほとんどやったことがなかったから
- ・ 専門教育過程でプレゼンをする機会が多く与えられたから
- ・ 家庭教師をやったから
- ・ 何回もやったから場数で向上していった
- ・ 何度もそういった機会があったから
- ・ 授業でプレゼンテーションを行う機会があったから
- ・ 実習でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンテーションの機会がたくさんあったから
- ・ 授業を通してプレゼンする機会があったから。
- ・ 実習でたくさんプレゼンをしたから。
- ・ 授業でプレゼンの機会が多かったから
- ・ 機会が多々あったから
- ・ 度々プレゼンする機会があったから
- ・ 実習でプレゼンの機会がたくさんあったから
- ・ プレゼンテーションを行う実習が多かったから。
- ・ 実習で、課題をプレゼンする機会があったから
- ・ 授業で発表があったから
- ・ 回数を重ねたから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする講義、実習がいくつかあったから
- ・ チュートリアル発表をするじっしゅうがあったから。
- ・ 実習のプレゼンをたくさんしたから
- ・ 授業でプレゼンする機会が多かったから
- ・ プレゼンする機会が多くあり経験を積んだから。
- ・ パワポを作成して発表したりする機会が何度かあったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 元々上手いから
- ・ プレゼンの機会が少なすぎるから
- ・ 一回くらいでは変わったとは思わない
- ・ 別に必要としなかったため
- ・ あまりプレゼンテーションをする機会が無かったから
- ・ プレゼンテーション力はまだ身につけていないと思うから。

## 4. 医学部保健学科（看護）

### 【向上した理由】

- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会が多いから。
- ・ プレゼンする多数の機会があったから
- ・ 1 年間で何回もプレゼンする機会があったから。
- ・ 発表したから
- ・ プレゼンをする機会が多かった
- ・ 多くの授業でプレゼンする機会があったから
- ・ 他者のプレゼン方法を聞くことができたから。
- ・ 経験数が増えたから
- ・ プレゼンテーションをする機会が多かった
- ・ 授業内でプレゼンをする機会があったから
- ・ 授業でプレゼンを多くしたから。
- ・ プレゼンする機会が s i h 道場であったから
- ・ 授業内で発表の機会が多かったため
- ・ 授業で発表する機会があった
- ・ 授業で沢山の発表する機会があったから。
- ・ みんなで協力したから
- ・ 授業でプレゼンをする機会があったから
- ・ 授業でプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼン能力が身についた
- ・ 何度も読み返した。
- ・ プレゼンする機会があったから

- ・ チーム医療についてプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会が講義で多くあったから
- ・ 何度もプレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンの機会が多くあったから
- ・ プレゼンの中でオーディエンスの興味を引く方法を考えるようになった
- ・ プレゼンをする機会があったから。
- ・ 授業でプレゼンする機会があったから。
- ・ 論理的なプレゼンを意識する機会があったため
- ・ 授業でプレゼンをする機会が多かったから。
- ・ 演習の機会が何度かあった為。
- ・ グループ発表でプレゼンする機会が多かったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会が少ないから
- ・ プレゼンが苦手だから。向上したかどうか分からないから。
- ・ プレゼンの機会がなかったから。
- ・ 仕切る人が決まっているから

## 6. 医学部保健学科（検査）

### 【向上した理由】

- ・ 何度かやったから
- ・ 授業でプレゼン発表をいくらか経験したため

### 【向上しなかった理由】

- ・ さちんと伝わっていない気がするから
- ・ まだ苦手意識がある

## 7. 歯学部

### 【向上した理由】

- ・ プレゼンする機会があったため
- ・ 実習時やサークル活動でプレゼン発表する機会があったから
- ・ 組織学実習にて何度か発表の機会があったため
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 人前に出る機会があったから
- ・ 班でプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼンの機会が多くあったから
- ・ プレゼンを行う機会がたくさんあったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 機会あり
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 高校までではプレゼンテーションをしたことがなく大学が初めてだった
- ・ プレゼンをする機会が定期的にあったから
- ・ 授業でプレゼンをした
- ・ 発表する機会があったから。
- ・ 発表を行う機会が多かったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ わからん
- ・ その場しのぎのプレゼン

## 8. 薬学部

### 【向上した理由】

- ・ 説明する力が向上した
- ・ プレゼンする機会がもらえているから
- ・ 毎週自分たちの考えを発表する授業があったから。
- ・ グループで話し合いの後に発表する授業があったから
- ・ プレゼンをする機会があったから
- ・ 自主的に発表したりした
- ・ 発表が多い授業があったため
- ・ 大学生になってからプレゼンをする機会が増えたから
- ・ プレゼンが多かったから
- ・ 学術論文作成法の授業でプレゼンテーションをする機会があったから。
- ・ プレゼンテーションをする機会が多く、たくさん経験できたから。
- ・ 学科特有の講義でのプレゼンなどがあったから
- ・ プレゼンを行う授業がいくつかあったから
- ・ 学術論文作成法という講義があったから。
- ・ 授業でプレゼンを行う機会が何回かあったから。
- ・ 単純にプレゼンをする機会が多かったから
- ・ DDSの講義での発表や、実習などで意見交換をする機会が多くあったから
- ・ 授業中にグループワークを行う機会が多かったため
- ・ 授業でプレゼンをすることがあったから。
- ・ 発表する機会があったから。
- ・ 論文をまとめて発表する場があったから自分想像した薬のプレゼンがあったから。
- ・ プレゼンをする機会が多かったため。
- ・ 今までプレゼンするようなことがなかったから。
- ・ 高校まではそのような機会がなかったから。
- ・ 物理化学実習の時に自分の班で発表する機会があったから。
- ・ グループで発表。
- ・ 医歯薬合同ワークショップにてkj法でプレゼンを行った。
- ・ 医薬品の合成経路について調べ、教授や大学院生の前でプレゼンする機会があったから。
- ・ 発表する機会があったから。
- ・ プレゼンを通じて向上した。
- ・ 自分で調べたことをプレゼンする機会があったから。

- ・ プレゼンテーションを行う機会、文章レポートを書く機会、協働する機会が多くありその中で向上したと考えられる。

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会がなかったから。
- ・ 機会が無かった
- ・ プレゼンの機会が少なかった
- ・ 機会があまりない
- ・ あまりプレゼンを行わなかったから。
- ・ プレゼンの機会がなかったのでわからない。
- ・ プレゼンテーションを行う機会があまりなかったから

- ・ 自分がプレゼンをする機会はあまりなかったから。
- ・ そんな短時間でプレゼン力はつきません
- ・ それほどプレゼンする機会がなく向上したようには思えない
- ・ プレゼンをする機会が少なかった。
- ・ プレゼンする機会はほとんどなかったため

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上した理由】

- ・ 英語の授業でプレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンをする機会があった
- ・ いくつかの講義でプレゼンする機会があったから
- ・ 調べたことを発表する機会があったから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ STEM 演習で発表したから
- ・ サークルでプレゼンをする機会があったから
- ・ ある授業でプレゼンする機会があったから
- ・ 頑張ったから
- ・ 聞き取りやすい読み
- ・ 講義でプレゼンする時にすらすら話せるようになった
- ・ 取っている授業で発表する機会があったから。

- ・ 授業でプレゼンの際役に立った
- ・ プロジェクト演習で、ポスターを作り、以前作ったものと比べると成長を感じられたから
- ・ 発表する機会が多かったから
- ・ 講義でプレゼンする機会が多かったから。
- ・ グループワーク
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 建築設計製図で自分のアイデアを発表する機会があったから。
- ・ 人の前に立って話す機会が増えたから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ 前期、後期共にプレゼンをする授業があったが、その成績を鑑みるにあまり自分のプレゼンスキルが変化していないと判断できるから

- ・ プレゼンする機会があまりなかったから
- ・ そう思わないから
- ・ あまりそのような講義がなかったから

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上した理由】

- ・ 授業で回数をこなすうちに上手くなっている
- ・ プレゼンの機会がたくさんあった
- ・ プロジェクトマネジメントや英語の講義でプレゼンする機会があったため。
- ・ 英語で発表する機会が多々あったから
- ・ 人前で話すから
- ・ プレゼンする機会が何度かあったため
- ・ プレゼンの機会があった
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 授業などで行う機会があったから
- ・ レポート作成の経験が多かったから。
- ・ 英語などでプレゼンをやる機械があったから
- ・ 大学に入ってすぐはどうすればいいか分からなかったが、他者のプレゼンを見て良いと思ったところを取り入れたから
- ・ 英語の授業でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会が何度かあったから。
- ・ インターンシップ選考会に行った。
- ・ SIHの他に英語の実習で発表する機会があったから
- ・ 技術英語でプレゼンの機会があったため
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ イノベーションプラザの紹介を新入生へ向けてプレゼンする機会があったから
- ・ 英語によるプレゼン
- ・ 機械実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会が複数あったから

- ・ 緊張しにくくなったから
- ・ 英語のプレゼンをする機会があったから
- ・ 発表の機械が多かった
- ・ 何回かプレゼンテーションする機会があったから
- ・ イノベでの発表で技術を身につけたから
- ・ 英語のプレゼンテーションの機会があったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プロジェクト活動を通してそうした機会が多かったから。
- ・ 技術英語でプレゼンする機会があったから
- ・ ゆかり飲んでくない？
- ・ 英語の授業等で発表する機会があったから
- ・ 英語でプレゼンする機会が多いから。
- ・ 場数を多く踏むことができたから
- ・ プレゼンを講義を通して何回か、したため。
- ・ 機会がふえた
- ・ 今まで経験が無かったから。
- ・ 科学実験や活動を報告する機会があったから
- ・ 技術英語のプレゼンを2回したから
- ・ プレゼンする機会が多かったから。
- ・ プレゼンを経験舌ため
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ プレゼン能力や協働力を伸ばす講義を積極的に受けたから。
- ・ プレゼンする機会が増えたから
- ・ 技術英語のプレゼン
- ・ 英語の授業で学んだため。

- ・ おしえてもらったから
- ・ 英語でプレゼンする機会があった
- ・ レポート作成の機会が多いから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 特に意識してしていない
- ・ プレゼンする機会がなかった。
- ・ 機会がなかったから
- ・ あまり、プレゼンをする機会がなかったから
- ・ 緊張してたから
- ・ 余り機会が無かった
- ・ やる気が欠如していた
- ・ プレゼンテーションの機会が少なかった
- ・ 自主性がなかったため
- ・ プレゼンテーションをしたことが無かったので違いがわからない

- ・ 講義で何回かプレゼンをする機会があったから
- ・ 機会が多かったから
- ・ プレゼンの機会があった

- ・ 高校時代から成熟していたから。
- ・ プレゼンする機会が少ないというのもあるが、それに真面目に取り組んでいなかったため
- ・ 真剣に取り組まなかったため
- ・ プレゼンの機会がなかった
- ・ 記憶にない
- ・ 機会が少なかったから
- ・ プレゼンの機会があったから。

## 11. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上した理由】

- ・ 他の人のプレゼンも参考にできたから
- ・ イノベーションプロジェクトにおいて、発表をする機会がかなりあったから。
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 自分でスライドにまとめてプレゼンする機会があったから
- ・ 実験のプレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンする機会が増えたから少し慣れた
- ・ 実験のプレゼンがあったから
- ・ 化学実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ 基礎化学実験のプレゼンを行ったから
- ・ プレゼン資料を作る際、様々なことを調べて知識を得たから
- ・ バイトでプレゼン練習した
- ・ 機会が増えたから
- ・ 何度も人の前で発表する機会があったから
- ・ 化学実験でプレゼンをしたから
- ・ 2年生ではテストの代わりにプレゼンをする科目が多くあったから。
- ・ それまではプレゼンをしたことが無かったため
- ・ 実験の発表が何度かあったから
- ・ プレゼンをする機会があった
- ・ プレゼンの機会が与えられたため。
- ・ プレゼンする機会が何度かあったため
- ・ プレゼンをする講義が多かったから。
- ・ 物理学実験や化学実験などの発表の機会があったから
- ・ プレゼンする事が多かったから。
- ・ プレゼンする機会があり講評してくれたから
- ・ プレゼンを行う機会を設けていただいたから。
- ・ プレゼンの機会が与えられたため。
- ・ プレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会が多かった
- ・ 実験のプレゼンをする機会があったから
- ・ 発表を1回するだけでどういう風に発表するのがわかるから
- ・ プレゼンを実際にする機会が何回かあったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 練習不足だった
- ・ 化学実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ 根本的に人の前で話すのが苦手である

- ・ プレゼン作成、発表する機会があったから
- ・ 将来のため
- ・ 様々な授業でプレゼンする機会が増えたから
- ・ 実験でプレゼンする機会があったため
- ・ 基礎化学実験のプレゼンの機会があったから
- ・ 発表の機会があることで単純に経験が積まれて発表中に緊張をしにくくなった。
- ・ プレゼンする機会が増えたから
- ・ 情報の取捨選択の重要性について知ったから
- ・ 何回か経験を積んだから
- ・ 化学実験のプレゼンをする機会があったから
- ・ 化学実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会が増えたから
- ・ 機会が多くあったから
- ・ 実験結果をプレゼンする機会があったから
- ・ 様々なプレゼンの機会があったから。
- ・ 実験のプレゼンをしたから。
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 自分で行ったことをわかりやすく言うのは工夫が必要だから
- ・ STEM 演習や化学実験などでプレゼンする機会があり、スライドの指摘も受けたから
- ・ プレゼンをしたことない状態よりは向上したかと
- ・ 英語の授業や化学実験でプレゼンする機会が多かったから
- ・ 調べたことを発表する機会があったから
- ・ 自分で発表する内容を調べることで、理解し、プレゼンしやすくなったから
- ・ 授業の中でプレゼンすることで何を伝えたくてそのためにどうすればいいのか考える機会があったため。
- ・ プレゼンを経験したから
- ・ 実験プレゼンテーションの発表をするにあたりパワーポイントの作成をする機会があったから
- ・ プレゼンの回数が多かったから
- ・ 授業で発表する機会があったから
- ・ プレゼンを行う授業が増えたため
- ・ 発表の機会が増えたから

- ・ プレゼンテーションについて自分で勉強しなかったから。
- ・ 発表の機会は一回きりであまり効果がなかった



## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 英語でプレゼンする機会があった
- ・ プレゼンしたから
- ・ 英語のプレゼンで役に立った
- ・ 技術英語
- ・ 英語でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があった
- ・ な
- ・ 研究室の内容をプレゼンしたから
- ・ プレゼンの能力があがった
- ・
- ・ プレゼンをする授業があり、機会をもらえた。
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ わからない
- ・ 技術英語の授業内でプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼンの機会があったため改めて考えたから
- ・ 技術英語でのプレゼン
- ・ 前より人前で喋れるようになったから
- ・ 実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ 英語でプレゼンしたから
- ・ プレゼンをする機会があった
- ・ 何回か機会があったから
- ・ 機会が増えたから
- ・ 口頭試問の際に教授や、班員に自分のレポートを説明する機会があったから。
- ・ 英語のプレゼンがあったから
- ・ プレゼンしたことが自信になったから
- ・ どのようにすれば相手に伝わりやすいかを以前より考えられるようになった。
- ・ 英語でプレゼンする機会があった
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 英語でプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼンの機会が増えたから
- ・ 英語でプレゼンの機会があったから
- ・ プレゼンを行う機会があったから
- ・ 電気に関するプレゼンの機会があったから
- ・ プレゼンをする回数が増えたため
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの大体の流れを知ることができたから
- ・ いろんな項目でのプレゼンが多かったから
- ・ 英語でプレゼンする機会があったから。
- ・ 電気電子の研究内容についてプレゼンする機会があったから
- ・ 単純に発表する機会が多いから
- ・ 実験の成果をプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 技術英語でプレゼンする機会があった
- ・ 他の大学との交流において活動をプレゼンしたため
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 授業でプレゼンする機会が増えたため
- ・ 短い時間で効果的に伝えることを思考錯誤したから。
- ・ 実際に経験したから。
- ・ 技術英語
- ・ プレゼンの機会があるから
- ・ 技術英語でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンしたから。
- ・ 授業でプレゼンをしたため
- ・ プレゼンの機会があったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会がなかった
- ・ 緊張してしまうから
- ・ あまり機会がなかった
- ・ プレゼンをする機会がなかった
- ・ プレゼンがあまりなかった
- ・ 覚えてない
- ・ 期間が短かった
- ・ 実験をプレゼンする機会がないから
- ・ 機会がなかった
- ・ 発表する機会がなかった
- ・ プレゼンテーションをする機会があまりなかったから
- ・
- ・ 緊張してしまうから
- ・ プレゼンに対しての意識が低いから
- ・ プレゼンする機会がなかったから
- ・ そう感じた
- ・ プレゼンをしなかったから
- ・ プレゼンの機会が少なかった
- ・ あまり前に出て発表する機会がなかった
- ・ プレゼンする機会がなかった
- ・ プレゼンの題材が高度すぎたため完全に理解ができなかったため
- ・ 話すのが得意ではない
- ・ プレゼンの機会があまりなかったから

## 13. 理工学部情報光システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 経験できたから
- ・ テーマごとに発表があったから
- ・ 大勢の前でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンがあったから
- ・ 実験科目でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会が多いから
- ・ 実験の発表をしたから
- ・ プレゼンを、何度かしたため
- ・ さまざまな授業でプレゼンを行うことがあったから
- ・ プレゼンの機会がおおいから
- ・ 実験や英語の授業でプレゼンの機会があったため。
- ・ 光工学実験で機会があったから
- ・ たくさんプレゼンする授業があったから
- ・ 色んな授業でプレゼンする機会があったから
- ・ プレゼンする機会が何度もあったから
- ・ 英語でのプレゼンの機会があったから。
- ・ 英語でプレゼンする機会があったから
- ・ 2.3年生の授業でプレゼンする機会があった。大学外（高校生に向けて）でもプレゼンする機会があった。
- ・ 機会が多いとは思わなかったが、成果を発表することがあったから。
- ・ 様々な形態でプレゼンする機会があったから
- ・ 発表する機会が多かったから
- ・ 様々な授業でプレゼンする機会があったから。
- ・ 高校よりもたくさんプレゼンする機会があったから。
- ・ 人前で発表することに抵抗を感じにくくなったので自分の思うようにトークができるようになったから

- ・ 光応用工学実験の講義でプレゼンをすることが多々あった。
- ・ あまり機会がないから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 個人的にしている活動で自分の意見を発表する機会が多かったため。
- ・ やり方がわかった
- ・ 物理学基礎実験のプレゼンをしたから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 何度か機会があったから
- ・ 授業でプレゼンする機会をよく設けられたから
- ・ 2年次のニュービジネス概論でプレゼンを作成、発表する機会があったため
- ・ 授業中にプレゼン機会があったから
- ・ 数をこなしたから
- ・ プレゼンをする機会が増えたから。
- ・ プレゼンなどの機会が増えたから
- ・ 授業でプレゼンをする機会があったため
- ・ 機械があった
- ・ 授業内でプレゼンする機会が多かったから
- ・ プレゼンについては機会が多いから
- ・ いろんな授業でプレゼンをする機会があったから
- ・ 単純な経験回数が増えるから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 実験等でプレゼン発表する機会があったから
- ・ 機会があったから
- ・ 複数回やる機会があったから
- ・ 幾度か多人数の前でプレゼンする機会があったから
- ・ その後プレゼンをする機会が増えたから
- ・ 機会があった
- ・ プレゼンの機会が多くあったから
- ・ プレゼンの参加
- ・ 講義中にプレゼンをする機会が多かったため。
- ・ プレゼンをする機会が多かったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ もともと持っていたから
- ・ やる機会がなかったから
- ・ 発表内容が取り組みにくかった
- ・ あまり意識していなかったから
- ・ プレゼンをする機会が少なかったから
- ・ 他人に任せてしまうことが多かったから
- ・ 誰でもできることをしただけだから
- ・ 特にそんな機会がなかったから
- ・ プレゼンの間隔が空きすぎて忘れてしまったから
- ・ プレゼンする機会があまりなく、実際に活かしているかわからない
- ・ ちゃんとした機会がなかった
- ・ プレゼンする機会が少なかったから
- ・ プレゼンの機会はあったが向上は見られなかったから

## 14. 理工学部応用理数コース

### 【向上した理由】

- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 人に物事を説明する機会が増えたから
- ・ 発表する機会があったため
- ・ プレゼンをする際に参考になったから
- ・ 良かった！
- ・ 地域の授業であったから
- ・ 研究室の内容をプレゼンする機会があったから
- ・ そういう機会が多かったから
- ・ 研究室見学について発表する機会があったから
- ・ 数学の定理の証明をプレゼンする機会があったから。
- ・ 大変だったから
- ・ 発表
- ・ 自覚
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 他の人の発表に関して刺激を受けることが出来たから。
- ・ 梶ヶ森の発表があったから
- ・ 何度かプレゼンの経験をしたから
- ・ プレゼンをする他の授業に役に立ったから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ プレゼンなかったから
- ・ プレゼンする機会がなかった
- ・ 機会は無かった
- ・ プレゼンする機会がなかったから
- ・ プレゼンの機会がなかった
- ・ あまりプレゼンをしていない
- ・ すごいから
- ・ プレゼンしていない

## 15. 生物資産業学部

### 【向上した理由】

- ・ インプットしたことをアウトプットする機会が増えたから
- ・ 特になし
- ・ 高校のときより、緊張せずに発表が出来たため。
- ・ みんなの前で話す機会があったから
- ・ 経験を積んだ
- ・ プレゼンの機会が多くあったから
- ・ 授業で機会があったから
- ・ 英語の授業でプレゼンをする機会があった
- ・ 英語の授業でプレゼンをした
- ・ 実際に体験出来たから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 藍についての発表で工夫して発表したから
- ・ 人前で話す経験はこれまであまりなかったから
- ・ なんとなく
- ・ 機会があった
- ・ 企業の講義でのプレゼンがあったから
- ・ プレゼンの機会が増えたから
- ・ 前出て喋る機会が多かったから
- ・ 授業でプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼンをする機会が多いから

- ・ プレゼンをしたから
- ・ 何度もプレゼンを出来たから
- ・ 授業で身についた
- ・ 発表する機会があったから。
- ・ プレゼンをする機会がありプレゼンの仕方を学ぶだけでなく実際に行うことで技術向上できた。
- ・ SIHの成果をプレゼンする機会があったから
- ・ SIHでグループと個人のプレゼンをしたから
- ・ プレゼンの機会があった
- ・ 大勢の前で発表する機会ができたから
- ・ プレゼンの機会があったから
- ・ 色々な人のプレゼンを聞いて、プレゼンについてとても知れたから
- ・ ウェルネスの授業でプレゼンをして実感したから
- ・ 個人とグループでプレゼンする機会があったから
- ・ グループ活動の一貫
- ・ 自分の考えをまとめて発表する機会があったから
- ・ マーケティングの授業でのプレゼンができた
- ・ 。
- ・ 皆の前で発表できたから
- ・ 多くの先生方の授業を受けたから。
- ・ 藍染見学のときに皆の前で発表する機会があったから
- ・ 他の授業で発表する機会があったから
- ・ 授業でプレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 何度かプレゼンをしたため
- ・ 人前で発表する機会があったから
- ・ 4月の研修の後にプレゼンする機会があったから
- ・ COCプラスのインターンで発表の機会が自分としてはよくできたと思うから
- ・ 人前で自分のプレゼンをする機会があったから
- ・ プレゼンする機会があるから
- ・ 授業でプレゼンをする機会があったから。
- ・ 機会があったから
- ・ 化学実験でプレゼンをすることがあったから。
- ・ プレゼンの機会が多いから
- ・ プレゼンの機会が多いから
- ・ 一般教を含め発表する機会があったから
- ・ 多くの人の前で話す機会があったから

**【向上しなかった理由】**

- ・ 機会がない
- ・ プレゼンの機会があまりなかった
- ・ プレゼンする機会が少なかったから
- ・ まだ現時点では、向上したかはわからない
- ・ プレゼンをする機会があまりない
- ・ プレゼンの機会がなかった
- ・ 元からあがり症であり、克服できてないため。
- ・ ちゃんとしたプレゼンじゃなかった
- ・ プレゼンする機会がなかったから
- ・ プレゼンテーションする機会が少なかった。
- ・ 機会がなかった
- ・ プレゼンする機会があまりなかった
- ・ 発表する機会がなかったから。
- ・ 機会がほぼなかった。
- ・ プレゼンする機会があまりないため
- ・ 試す機会がなかったから。
- ・ プレゼンの機会がなかった
- ・ 特になかった
- ・ プレゼンの機会が無い
- ・ 機会がなかったから
- ・ プレゼンする機会があまりなかったから
- ・ 短い時間だったから。
- ・ プレゼンする機会がほとんどなかった
- ・ プレゼンテーションをする機会があまりない
- ・ まだ比較するものがないため
- ・ プレゼンをする機会がなかったので分からない

- ・ プレゼンをする機会があったから
- ・ 企業体験実習など
- ・ 何度かプレゼンを行う機会があった
- ・ 自分の意見を言う授業が多数あったから
- ・ 高校までプレゼンすることが少なかったから
- ・ 専門知識が増え、お互い高め合うことができたから。
- ・ プレゼンをする授業を多くとったから
- ・ 。
- ・ 実験のプレゼンや一般教養のプレゼンがあったから
- ・ 科学実験の成果をプレゼンする機会があった
- ・ 一年生の時にプレゼンをする機会がたくさん設けられたから
- ・ テーマは違うが、何度かプレゼンの機会があったから
- ・ 経験することによって向上した
- ・ 他の授業でプレゼンを行う機会があったから
- ・ プレゼンする機会がもうけられたから
- ・ 講義で自分の考えをプレゼンする機会があったから。
- ・ プレゼンの機会が多かったため
- ・ プレゼンの機会がどんどん増えているから
- ・ プレゼンする機会が授業で多かったから
- ・ 授業でプレゼンをしなければならなかったから
- ・ プレゼンの機会に成果を出せた
- ・ 起業体験実習で何回かプレゼンしたから
- ・ 実験のプレゼンなど班で行うことがあったから。
- ・ プレゼンを経験できたから
- ・ プレゼンの機会が多かったから
- ・ プレゼンの機会が多かったから
- ・ 有機化学実習での実験結果や考察などをうまくまとめていえたと思う
- ・ プレゼンする機会が増えたから
- ・ プレゼンを行う授業が多かったから
- ・ 大学学習外で行なう場合が多く、その際に他者からアドバイスなどが役に立った。
- ・ 積極的にプレゼンをする努力をしたから
- ・ プレゼンする機会が増えたから
- ・ プレゼンする機会がわりとあったから
- ・ 有機化学実験で班ごとのプレゼンをしたから。
- ・ 起業体験実習でプレゼンをする機会があったから。
- ・ プレゼンする授業があったから

- ・ プレゼンをする機会がなかったので向上しているのか分からないから
- ・ プレゼンをする機会がほとんどなかったから
- ・ 今までに身につけたスキルのみでプレゼンをしてきたから、技術が上がったかと言えば、上がってはいない
- ・ あまりプレゼンテーションをする機会がなかったから。
- ・ プレゼンテーションをする機会が少なかったため
- ・ プレゼンする機会があまりなかったから。
- ・ プレゼンの機会がなかったから
- ・ プレゼンの機会がなかった
- ・ プレゼンをまだしたことがない
- ・ プレゼンする機会が少なかったから。
- ・ プレゼンテーションを行う講義が無かったから確認できない。
- ・ プレゼンテーションが苦手だから
- ・ 食べ
- ・ 特になし
- ・ あまり機会がなかった
- ・ 機会があまり無いため
- ・ 機会があまりなかった
- ・ もともと自信があったから
- ・ プレゼンする機会があまりないから
- ・ プレゼンする機会があったから
- ・ 実際にプレゼンテーションする機会なんて 1.2 回あるかないかであったため
- ・ あまりプレゼンテーションを行わなかった。

- ・ 機会が無かった
- ・ プレゼンする機会があまりなかったから
- ・ プレゼンの機会はなかった
- ・ 一回しただけなので向上したのか実感がない
- ・ まだプレゼンをしていないから
- ・ 機会がなかったから
- ・ プレゼンをする側にならなかったから
- ・ 頻度が少なかったから
- ・ 緊張しすぎる
- ・ 苦手意識がぬぐいきれなかったから
- ・ プレゼンテーションを行う機会がなかったのではわからないから

#### 4-3. プレゼンテーション力を向上させるための今後の取り組み

##### 1. 総合科学部

###### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ いろんなことに挑戦する
- ・ より相手に伝わる話し方をする
- ・ 様々などころにでる
- ・ 発表を積極的に行う
- ・ 積極的にプレゼンなどに取り組む
- ・ 積極的に発表する
- ・ 積極的な経験
- ・ プレゼンが評価対象となるような授業を履修する
- ・ プレゼンの機会を増やす。
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ グラフの利用
- ・ 発表に積極的に参加する。
- ・ データ集め、レポートかく
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 学術発表に参加する
- ・ さらに英語力を上げ、発表を具体的なものとする
- ・ 積極的に取り組む
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ レポートをちゃんと書く

##### 2. 医学部医学科

###### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ いろいろ
- ・ もっと積極的に話す
- ・ プレゼンをする機会があれば積極的に取り組む
- ・ 授業内容以外でも、自分の関心ある事柄について自習する。
- ・ チュートリアルに積極的に取り組む。
- ・ 気になる内容を積極的調べる
- ・ 発表に対して積極的に取り組む
- ・ 学外の交流会等に参加する
- ・ プレゼンの機会をさらに多く、かつ濃密にする。
- ・ 利用する
- ・ 積極的参加
- ・ 他人の発表を見る
- ・ 発表に積極的に取り組む
- ・ 他人の発表や講義を沢山聞く
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ より積極的に議論に参加する
- ・ 改善しながら場数を踏む
- ・ プレゼンの機会をもつ

##### 3. 医学部医科栄養学科

###### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 学術発表
- ・ 学会いきたい
- ・ プレゼンの場を増やす
- ・ セミナー発表に必死に取り組む
- ・ 教をこなすうちに、周囲の人のやり方から学ぶ
- ・ プレゼンテーションを積極的に行う
- ・ 発表を積極的に行う
- ・ セミナーで発表する
- ・ 学術発表に積極的に参加する。
- ・ 教授に積極的に質問する。
- ・ プレゼンの本を読む
- ・ プレゼンの機会を増やす
- ・ 緊張しないようしっかり準備していく
- ・ 上手な人の発表を聞く
- ・ 自分のプレゼンに対するフィードバック
- ・ 発表の機会を一回一回無駄にせず準備して取り組む
- ・ 学会に参加する
- ・ 学会に行き様々な優秀者の発表を聞く
- ・ 他人の発表を参考にする
- ・ 他人ののを参考にする
- ・ 様々な所に積極的に出向く
- ・ 論文を読む
- ・ 研究室内でのデータ発表をする
- ・ セミナーなど頑張る
- ・ 発表の機会を増やす
- ・ どうすれば上手く伝わるか毎度考える
- ・ これからも積極的にプレゼンする。
- ・ プレゼンの方についての勉強と実践
- ・ データ会などで積極的に発表する
- ・ 授業でプレゼンテーション形式で発表する機会を設ける
- ・ プレゼンをたくさんする。
- ・ 友達へ説得力のある話し方をする。
- ・ 発表の準備を徹底する、発表の機会を積極的に得る
- ・ いろいろなことを発表する
- ・ 積極的な研究
- ・ 他人のプレゼンをしっかり聞く
- ・ 場数を増やす。
- ・ 日常的に論理的に話す
- ・ セミナー発表を良いものにする
- ・ 個人でのプレゼンの機会を増やす
- ・ 発表している人の映像を見る
- ・ 研究室でのセミナーに積極的に参加する
- ・ 人の前で喋る
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 先輩方の発表を積極的にみる

## 4. 医学部保健学科（看護）

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 発表に参加する
- ・ 積極的に質問する
- ・ 積極的にプレゼンを行う
- ・ 一人で発表する機会を作る
- ・ 他分野のプレゼンを聞く。
- ・ 発表の場を設ける
- ・ 資料を集める幅を増やす
- ・ 自分で考え行動する
- ・ 他者のプレゼンの工夫を見つける。
- ・ 積極的に参加
- ・ 積極的にプレゼンなど発表に関わる
- ・ 積極的にプレゼンなどグループワークに参加する
- ・ 自分の意見や考えを的確に伝えることができる力をつける
- ・ 積極的に参加する
- ・ プレゼンをし、振り返り反省をする
- ・ 自分から積極的に行動する
- ・ 上手い人から学ぶ
- ・ 発表の場で積極的に発言する
- ・ グループワークではより積極的に発言する
- ・ 自分なりにプレゼンに工夫をいれる
- ・ 他の人の発表方法などを見て、良い点を自分の発表に取り込む
- ・ グループ発表に積極的に参加する
- ・ グループ発表に積極的に参加する。
- ・ たまにやることでやり方を忘れないようにする
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ プレゼンをするときには積極的に参加する。
- ・ あ
- ・ 発表を積極的にする
- ・ 分からないことは質問する
- ・ 積極的に発表に参加する
- ・ 積極的に行動する
- ・ 講演に積極的に参加する
- ・ 主体的に発表やグループワークに参加する
- ・ 司会を回す
- ・ 他者の発表を参考にする。
- ・ 今後の発表に積極的に参加する。
- ・ 頑張る。こうしたらより良いプレゼンになるよと言ってくれる先生の話をよく聞く

## 6. 医学部保健学科（検査）

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 学会などに参加してみる
- ・ 意欲的に取り組む
- ・ なるべくプレゼンする機会を増やす
- ・ 他の人のやり方を参考にして取り入れる

## 7. 歯学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 練習時に多くの人にプレゼンを見て、発表内容やスライドを評価してもらおう
- ・ 発表する機会を逃さない
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 積極的に発表する
- ・ 積極的に発表者を担当する。
- ・ 特に考えていない
- ・ 系統的なプレゼン作成の授業
- ・ 積極的に研究を行い、成果を発表する
- ・ 積極的に参加する
- ・ あれば参加
- ・ 積極的に参加する
- ・ 学んだことを生かせるように心掛ける
- ・ 特に考えていない
- ・ 学会などで発表
- ・ 頑張る
- ・ 自分なりにまとめて発表してみる。

## 8. 薬学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 学会に参加する
- ・ 発表を積極的に行う
- ・ まず参加
- ・ 希望者の発表に積極的に参加する。
- ・ 積極的に発表する
- ・ 研究室でがんばる
- ・ 論理的に話をまとめられるようにする
- ・ 学会での発表を目指す。
- ・ 全員に発表をする機会をもうける
- ・ 経験を積む
- ・ 研究室での発表をがんばる
- ・ プレゼン回数を増やす
- ・ 場を踏む
- ・ 学会に参加、英語の勉強
- ・ 研究室で積極的に質問や発言をする
- ・ 学会に参加する。（発表だけでなく、聞くだけでも）
- ・ 学校発表に行くために成果をだす。
- ・ 発表する機会があれば積極的に参加する。
- ・ 発表の場に積極的に参加する
- ・ 練習する。
- ・ 学会に参加する
- ・ さらにプレゼンの回数は増えていくはずなので、兎に角慣れる
- ・ プレゼンを実際に試みる
- ・ それぞれの力を発揮する場により多く参加し、経験値を増やす。

- ・ 場数を踏む。
- ・ 積極的に学ぶ。
- ・ 積極的にプレゼンテーションを行う
- ・ 積極的に発表する。
- ・ 能動的に学習していき、積極的な発言を意識する
- ・ 研究室配属後、先輩達を見習い、より向上に努める
- ・ 講演会などに参加する
- ・ 学会発表を目指す。
- ・ 発表の場に参加する

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ プレゼンの機会があれば積極的にエントリーする
- ・ 発表に熱を込める
- ・ パワーポイントやワードを活用する
- ・ プレゼンについてのスキルについて書かれた本を読む
- ・ イベントに参加
- ・ 自分で学ぶこと
- ・ 発表する
- ・ 積極的にプレゼンをする
- ・ レポート課題を人に見せられるようなものを提出できるように努める。
- ・ 変わる
- ・ 普通の発声
- ・ 発表には積極的に参加、他の人の発表を参考にする
- ・ バイトでその機会があるので積極的に参加する。
- ・ さまざまな学術系の会に積極的に参加する
- ・ 就活
- ・ プレゼンを積極的にしていく
- ・ 人に提案をする時はどんな時でも、どうしたら分かりやすくなるか考える。
- ・ 他者からの評価が知りたい
- ・ 研究室
- ・ 発表会などに参加する
- ・ 積極的にプレゼンに参加する
- ・ 研究の進捗状況を発表する機会を設ける
- ・ プレゼンをたくさん視聴する。
- ・ 発表の時積極的に話す。
- ・ 学術発表に積極的に参加する

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 積極的に発表する
- ・ 発表を積極的にする
- ・ 言いたいことをまとめる
- ・ プレゼンが上手な人の発表を見て学ぶ。
- ・ 沢山の発表をして慣れる。
- ・ 学術発表に参加する
- ・ 授業を頑張る
- ・ 積極的に参加
- ・ 論文発表などに、参加する
- ・ いろんな人のプレゼンを見る
- ・ 挙手制でも積極的に手をあげる
- ・ していない
- ・ 発表をたくさんする
- ・ 積極的に発表する場に参加する
- ・ 経験を増やす。
- ・ プレゼンの動画を見たり、学術発表に参加する
- ・ 自分で発表することもそうだが、他者の発表を見ることも大切だと思う
- ・ 英語
- ・ プレゼンがある授業に真面目に取り組む
- ・ YouTube で調べる
- ・ 積極的に機会を利用する。
- ・ 練習する
- ・ 発表回数を増やす
- ・ 英語力をつける
- ・ 自分の考えを伝えられるように考える
- ・ 人と話す
- ・ どう上手く伝えるかを考える
- ・ 発表の場に積極的に参加する
- ・ 班で発表をする時に積極的に発表する
- ・ 学術発表に参加する
- ・ 他人のプレゼンテーションを参考にする
- ・ インターンシップに参加する。
- ・ 積極的に参加
- ・ 読書
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 発表の機会を増やす
- ・ うまいひとのをみる
- ・ もう少しプレゼンを行い緊張を無くせるようにしたい
- ・ 発表の機会を増やす
- ・ 発表をする
- ・ 学術発表に参加する
- ・ プレゼンテーションがある授業は丁寧に受ける
- ・ プレゼンテーションを練習、発表する機会に積極的に参加
- ・ 学会で発表する
- ・ 他の発表を聞く機会を増やす
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 特になし。
- ・ 積極的に参加する
- ・ TED を視聴する
- ・ 真面目に講義を受け続ける。
- ・ 経験を積む
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 積極的に取り組む
- ・ 練習に励む
- ・ 勉強する
- ・ インターンに参加する
- ・ たくさんの経験を積む
- ・ 他者のプレゼンを見学する
- ・ 発表を積極的に行う
- ・ 機会があれば積極的に参加する
- ・ いろいろなことに挑戦する
- ・ 教本などをよみ知識をつける
- ・ 友人や教授などと共に協力する。
- ・ 講義の発表の機会を活用する。
- ・ 英語の発表に真面目に取り組む
- ・ いろいろな人のプレゼンを見てみる
- ・ プレゼンの機会があれば自主的に参加する

## 11. 理工学部応用化学システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 発表の準備などしっかり行う
- ・ 憶測で答えることを完全に無くす
- ・ 人の発表を聞いて自分の発表に取り入れる
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ インターンシップに参加する
- ・ 事前の練習や準備を万全にする
- ・ 練習して取り組む
- ・ 発表機会を作る
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ スライド制作の技術を身につける
- ・ 各プレゼンに真剣に取り組む
- ・ バイトにしっかり取り組む
- ・ 発表を多くする
- ・ 人とコミュニケーションをとる
- ・ 人のプレゼンの良いところを取り込む
- ・ ひとつひとつのプレゼンを、丁寧に作り、練習をしっかりとしてから発表する。
- ・ プレゼンが得意な人から学ぶ
- ・ 上手な人のプレゼンを参考にする
- ・ 発表に参加する
- ・ 発表の機会を増やす
- ・ 上手な人の技術を取り入れる
- ・ 考えを深める。
- ・ 他の人の発表も参考にする
- ・ 基礎的な知識を蓄える。
- ・ ネットで情報を得る
- ・ 人前で話す機会を増やす
- ・ プレゼンにおいては言葉だけではなく、スライドもわかりやすいものに編集する。
- ・ よく発表の練習をする
- ・ 発表の機会がある度にしっかりとする
- ・ 発表する機会を増やす
- ・ 様々な発表を聞く
- ・ 内容の理解をふかめる
- ・ どんどんプレゼンする
- ・ 積極的に参加
- ・ プレゼンを常に意識して実験を行う
- ・ プレゼン発表する機会を増やして経験を積む
- ・ プレゼンの機会がある時にしっかり練習する
- ・ 発表を聞くときにより意識的にスライドなどを確認することでより分かりやすいスライド作りに繋げたい。
- ・ 他人のプレゼンノート良いところを見ると自分なりに取り入れる
- ・ 緊張しない練習をする
- ・ 発表前に十分な予習を行う
- ・ 上手い人を参考にする
- ・ 積極的に参加する
- ・ 定期的に友人間などで取り組む
- ・ 他者の発表を聞く
- ・ 自信を持てる内容にする
- ・ 質の高いプレゼンテーションをする
- ・ プレゼンの機会があれば積極的に参加する。
- ・ 他の人の発表を聞いて良いところを吸収する。
- ・ プレゼンの良い例を参考にプレゼンを練習する
- ・ 回数をこなすことで上達すると考えているので様々な場に参加する
- ・ プレゼンの勉強をする。
- ・ 発表練習をする
- ・ 今後のプレゼンテーションでスライドのアドバイスをもらい練習をする
- ・ 特でない
- ・ プレゼン発表が行われる授業を積極的に履修する
- ・ 発表する機会を大切に
- ・ 発表やジェスチャーなどといったプレゼンの練習をする
- ・ 卒論の発表や外部の方の資料等でより良い表現を自分の中で作る。
- ・ 作り方を学ぶ
- ・ 教授の論文を確認する
- ・ 他人のプレゼンも見ると
- ・ うまい人の発表をみる
- ・ 他人のプレゼンを読んでみる
- ・ 他人のプレゼンを聞いてよいところを吸収する
- ・ 積極的に参加する

## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 英語の勉強
- ・ 参加する
- ・ プレゼンについて調べる
- ・ 何事に積極的に
- ・ プレゼンのある授業に真面目に取り組む
- ・ 発表会にさんかする
- ・ 学術発表に参加
- ・ プレゼンをしまける
- ・ 機会をつくる
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 回数を重ねる
- ・ プレゼンに慣れるために数をこなす
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 機会を増やす
- ・ 英語でのプレゼンも試してみる
- ・ プレゼンする機会を増やす
- ・ 学術発表に積極に参加する
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 発表を増やす
- ・ 機会がある時に練習する
- ・ 意見交換の場で積極的に発言する。
- ・ プレゼンに積極的に参加する
- ・ 普段から積極的に行動するようにする
- ・ プレゼンの技術等を調べる
- ・ なんでもいいから他人のプレゼンを見る
- ・ 授業で発表などあれば進んで
- ・ 発表の機会があった時に事前に準備して完璧な発表をする
- ・ 積極的に参加する
- ・ コミュニケーションを多くとる
- ・ 人の発表を聞く。
- ・ TED などプレゼンの上手い人の動画を見る
- ・ 伝え方を工夫する
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 学術発表に参加する
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 発表を積極的にする
- ・ 積極的に種々の成果発表を行う
- ・ 発表に参加する
- ・ もっと多く取り組む
- ・ 大勢の前で発表する機会を増やす
- ・ 学術発表に積極的にさんかする
- ・ プレゼンを積極的にする

- ・ 授業以外での発表の機会を増やすために学外活動に参加する
- ・ 学会発表などに参加する
- ・ 場数を踏む
- ・ 他者との会話を通して身につける
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 積極的に取り組む
- ・ レポートをかく
- ・ 頑張る
- ・ まじめに取り組む
- ・ 予習復習にちからをいれる
- ・ 積極的に自分の意見を発信する
- ・ 発表回数を増やす
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 人のプレゼンをよく聞く
- ・ プレゼンする機会を増やす
- ・ 積極的に参加する
- ・ 伝え方を意識して積極的に発表をする
- ・ スキルを意識してプレゼンする。
- ・ 題材への理解が深められるよう深く学習を進める
- ・ 読書
- ・ プレゼン練習をする
- ・ プレゼンをもっとこる
- ・ 学術発表を見てみる
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 積極的に発言する
- ・ 発表を多くする
- ・ 今後もこのような活動を行う
- ・ 余裕を持ってプレゼン資料を作成し、練習する。
- ・ 自分の意見を他人に伝える努力をする
- ・ 発表を行う講義に積極的に参加する。
- ・ 一つ一つの発表を大切に
- ・ 学術発表に積極的に参加する

### 13. 理工学部情報システムコース

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 経験できたから
- ・ 語彙力と知識
- ・ 参加する
- ・ プレゼンの機会を増やす
- ・ 口頭質問
- ・ 学術発表に参加する
- ・ 積極的に発表をする
- ・ 上手な人のプレゼンテーションを見る
- ・ 場慣れ
- ・ ガンバル
- ・ 反省点を次に生かす
- ・ 様々なイベントに参加する
- ・ 人の話を聞く
- ・ 発表する機会を増やす
- ・ プレゼンを積極的に取り組む
- ・ プレゼンのやり方を工夫する
- ・ 人前での発表になれる
- ・ 積極的に挑戦する
- ・ プレゼン発表があるときは事前準備をきちんとする。
- ・ 学術資料を積極的に読む
- ・ グループ発表
- ・ 積極的に発表に参加する
- ・ いろんな人のプレゼンをみる
- ・ 発表を積極的に参加する
- ・ 他者の発表を参考に
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 自ら率先して参加する
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 人の発表のよい点を自分に取り入れる
- ・ 学びを深く
- ・ プレゼンテーションの機会を増やす。
- ・ 研究室での発表に積極的に参加する
- ・ 人のプレゼンを自分と比べながらきく
- ・ 回数を重ねる。
- ・ 発表の場がある授業に参加する
- ・ レポートの書き方を見やすくする
- ・ 発表があるなら積極的に参加をし、発表する。
- ・ 題についての知識をより深める
- ・ 他人のプレゼンを聴く
- ・ 英語の勉強をする
- ・ 積極的に発表を行う
- ・ 発送する機会があれば積極的に発表する。
- ・ 周りを観察する
- ・ 興味あることは調べていく
- ・ 多様な人々との積極的な交流
- ・ 上手な人の取り組みを学ぶ
- ・ 指導を受ける
- ・ プレゼンの機会を増やす
- ・ 日常的にプレゼンを意識して練習する。
- ・ 積極的に発表していく。
- ・ たくさん人前で発表する
- ・ もっと練習する
- ・ 研究室の発表に積極的に参加する
- ・ 発表会に参加する
- ・ 学術発表には積極的に参加する
- ・ 良いプレゼンをする人を見て学ぶ
- ・ プログラミング言語の学習
- ・ 発表に力を入れる
- ・ 機会の増加
- ・ 学会発表などに積極的に参加する
- ・ プレゼンする機会があれば十分な準備を欠かさない
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 発表に参加する
- ・ 積極的に学ぶ

### 14. 理工学部応用理数コース

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ サークルなどで活動すること
- ・ 人の発表の仕方を取り入れてみる
- ・ 参加する
- ・ 発表する機会を大事にする
- ・ 有名な人のプレゼンを見に行く
- ・ 頑張ります
- ・ プレゼン講座などに参加する
- ・ 人の発表をちゃんと聞く
- ・ プレゼンをする機会を増やす。
- ・ 研究発表する
- ・ 積極的に発表する
- ・ 発表する機会があれば積極的に行う



- ・ 実習
- ・ イベント参加する
- ・ プレゼンをする機会を増やす
- ・ いろんなものに参加する
- ・ 学術発表に積極的に参加する

- ・ 授業外での学習にも取り組む
- ・ 学術発表に積極的に参加する。
- ・ 研究室で積極的に実験を行う
- ・ 他の人の発表を聴く
- ・ 積極的に機会を見つける

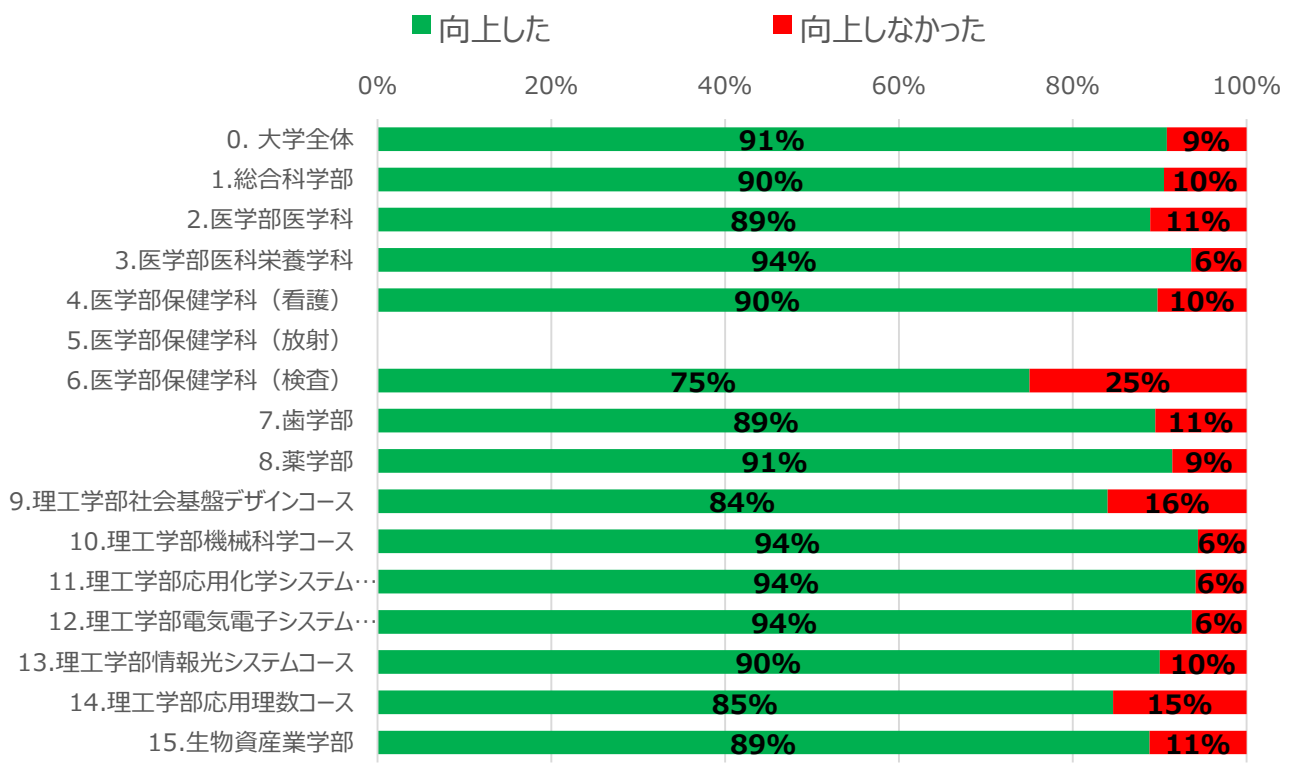
## 15. 生物資産業学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 学術発表に参加する
- ・ 他人の良さを盗む。
- ・ 機会がない
- ・ 研究室を見学する。
- ・ 積極的にフィールドワークに行く
- ・ 他者の発表を参考にする
- ・ プレゼンの勉強をする
- ・ プレゼンを見て経験する
- ・ プレゼンする機会があるときに積極的に取り組む
- ・ 練習する
- ・ 自分だけでなく人のプレゼンを聞くために企業説明などにも参加していく
- ・ 全体の前での発表を躊躇することなく、積極的にする
- ・ 緊張しやすい体質を治す
- ・ 積極に参加する
- ・ 積極的に参加する
- ・ もっといっぱいやってみる
- ・ これからもがんばる
- ・ 積極的に発表する
- ・ 上手い人を研究する
- ・ プレゼンの多い授業を積極的にとる
- ・ 積極的にプレゼンに取り組む
- ・ 積極的になる
- ・ プレゼンテーションのある授業をとる。
- ・ さらに発表の機会を増やす
- ・ 機会をつくる
- ・ 教授などの発表の仕方を見て学ぶ。
- ・ プレゼンの練習をする
- ・ プレゼンする機会に積極的に参加する
- ・ 何度もプレゼンを行う
- ・ プレゼンの動画を見る
- ・ 積極的になる
- ・ さまざまなプレゼンをやっていく
- ・ 機会があれば挑む
- ・ 自分なりの目標を決めて取り組む
- ・ 積極的になる
- ・ 実践の場が必要
- ・ 積極的に行いたい
- ・ インターンシップの報告会に参加する
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 積極的に機会をつくる。
- ・ 積極的に参加する
- ・ 自分から進んで発言する
- ・ 客観的に考える
- ・ プレゼンの機会があったら積極的に参加する
- ・ 人とたくさん話して、人前で緊張せずに話せるように慣れる
- ・ プレゼンを積極的に行う
- ・ 自分の意見をもっておく
- ・ プレゼンをしている人をよく観る
- ・ いい発表を見習う
- ・ まずは、プレゼンをする際のコツを掴む
- ・ プレゼンテーションがある授業に積極的に参加する
- ・ プレゼンの機会を得る
- ・ プレゼンの機会を増やす
- ・ 自分の意見を他人に伝える機会を増やす
- ・ TED など上手いプレゼンの動画を見る
- ・ 新しいスキルを本などから得る
- ・ これからプレゼンテーションをする機会があると思うので、自分の考えをきちんと伝えられるように、まずは自分の考えをしっかりと持ち、そこから言葉にできるようにする。
- ・ プレゼンテーションをできる機会を大切に
- ・ 積極的にプレゼンの機会を があれば参加する。
- ・ プレゼンが上手な人を参考にする
- ・ 他者の発表を分析してみる。
- ・ プレゼンのある機会に積極的に参加する
- ・ 発表に積極的に参加する
- ・ 声の出し方や文の構成を確認する
- ・ 自分が学んだことの要点をまとめる練習を行う
- ・ プレゼンを聞く機会があるので上手い人のプレゼンを意識的に聞く
- ・ 自分でもプレゼン練習をする
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 他の人から学んだり、発表の練習をする。
- ・ 人の話は真剣に聞き、良い所は取り入れる。
- ・ 前日練習に重点を置く
- ・ 発表会などに参加してみる
- ・ 頑張る
- ・ 参加する
- ・ 積極的にプレゼンをする
- ・ 英語の勉強を頑張る
- ・ 自分から何かを探求して生活する
- ・ 積極的に参加
- ・ 積極的にプレゼンを行う。
- ・ 積極的にプレゼンに参加する
- ・ プレゼン練習
- ・ 経験すること
- ・ ほかの人のいいところを見抜く
- ・ 教員からのコメントが欲しい
- ・ 発表会などに参加する
- ・ プレゼンする機会を増やす
- ・ プレゼンのある授業を積極的にとる
- ・ 自分から積極的に行動
- ・ プレゼンする機会を増やす
- ・ 学術発表に積極的に参加する
- ・ 大勢の人前で発表を行う
- ・ プレゼンを聞く
- ・ 取り組みを積極的に受ける
- ・ 発表機会をふやす
- ・ 発表を見に行く
- ・ 自分の考えを相手がわかるように表現する
- ・ プレゼンのある講義をとる。
- ・ ほかのプレゼンでの良し悪しを見つける
- ・ 積極的に発表に参加する
- ・ プレゼンをする授業を履修する
- ・ 発表を聞く
- ・ プレゼンに関する本を読む
- ・ いろんな講義を履修ふる
- ・ プレゼンに積極的に参加する

- ・ 積極的に周りとのコミュニケーションをとる
- ・ 相手に自分の考えを理解してもらい行動を促すにはどうすればいいか考える
- ・ 積極的に授業に取り組む
- ・ 積極的に発表に参加する。
- ・ 興味のあることを見つける
- ・ 自分の意見を日頃からまとめ、発言する
- ・ 授業の振り返りを行う
- ・ プレゼンや発表を行う授業で積極的に取り組む
- ・ プレゼンテーション動画などをみる
- ・ プレゼンする機会があれば積極的にプレゼンする
- ・ 積極的にする
- ・ プレゼンをする機会があれば、積極的に参加する
- ・ 機会に参加する
- ・ 発表に参加する
- ・ より良いプレゼンについて勉強する
- ・ 積極的に参加する
- ・ 準備をしっかりする
- ・ 積極的にプレゼンに参加する
- ・ 授業中にあるプレゼン
- ・ プレゼンの本などを読む
- ・ プレゼンテーションの機会を増やすよう大学へ依頼
- ・ プレゼンの機会で積極的に行動する
- ・ 積極性
- ・ 勉強にしっかり取り組む
- ・ 積極的に意見交換会みたいやなにに参加する
- ・ プレゼンの経験を積む
- ・ 効果的なプレゼン方法について学びたい
- ・ 大学学習でのプレゼンや少人数でのグループワークの実施
- ・ 結局的に発表できる機会をえる
- ・ プレゼンがあれば積極的に取り組む
- ・ 積極的に自分で調べ物をしていく
- ・ 前に立ってプレゼンする
- ・ プレゼンの動画を見て参考にする。
- ・ 積極的にプレゼンの授業に取り組む
- ・ 慣れる
- ・ 学術発表に参加する
- ・ 他者のプレゼンを参考にして伝えやすい方法を考える
- ・ もう少しリラックスするのを心がける。

### 5-1. 文章レポートを書く力について



### 5-2. 文章レポートを書く力が向上した理由または向上しなかった理由

#### 1. 総合科学部

##### 【向上した理由】

- ・ レポート課題があったから
- ・ レポートを書く機会があったから
- ・ レポートが出されるから
- ・ 機会があった
- ・ 書く機会があったため
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 引用の仕方
- ・ レポートを課す授業をいくつか履修していたため。
- ・ レポート課題が多いから

- ・ レポートが結構あったため
- ・ たくさん書いたからの
- ・ レポート課題が多いから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多い
- ・ レポートを機会があったから

- ・ 授業でレポート提出の機会が多いから
- ・ 慣れたから
- ・ 例に同じ
- ・ レポート課題の量が増えたから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ レポートを書く機会が多いが締め切り間近に急いであることが多いから。
- ・ スキル向上につながらない。
- ・ 数ありゃいける

## 2. 医学部医学科

### 【向上した理由】

- ・ 部活の先輩などの連絡を通して
- ・ 課題でレポートの提出が求められることがあるから
- ・ レポート課題をする機会が多かったから。
- ・ 実習などで細かい指導を受けたから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 課題が多いため
- ・ 授業でレポート課題を提出する機会が多かったため
- ・ 物理実験や化学実験などでレポートを多く、集中的に作成した期間があったから。
- ・ 書く機会が多かった
- ・ 授業でレポートを書く機会があった
- ・ レポートを書く機会が複数あったため
- ・ 授業や実習に対してレポートを書く機会が多いため
- ・ レポートを何度か書く機会があるから
- ・ チュートリアル課題があるから
- ・ 授業などで機会が多かったから
- ・ レポートをだす機会が複数回あったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ どうでもいいレポートが多いから
- ・ リヤあしたことがない

## 3. 医学部医科栄養学科

### 【向上した理由】

- ・ レポートを嫌というほど書いてきたから
- ・ 自力で向上させた
- ・ レポート多い
- ・ レポートを書く機会がたくさんあるから
- ・ 分子(応用)栄養学分野のレポートが充実していたから
- ・ 実験レポートを書く機会が多かったから
- ・ 授業レポートが多いから
- ・ 実習ではほぼ毎回レポート課題を課されたから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートを書く機会が多かったから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから。
- ・ レポートが多いから
- ・ レポートがおおいから
- ・ レポートは書き慣れてきた感じがする
- ・ 課題が多かったから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多かったから
- ・ 実習、実験で毎週のようにレポートを書いてきたから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 授業でたくさんレポートを書く機会があったから
- ・ レポート提出
- ・ テストの記述形式が多かったから
- ・ 授業でレポートを出す機会が多いから
- ・ 回数を重ねたから
- ・ レポート課題を出される機会が多いから
- ・ レポート課題をたくさん提出したから
- ・ 実習課題でレポートを出される機会が多いから。
- ・ レポート課題がたくさんあったから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題が出されることが多いから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業や実習でレポート課題が出されるから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートをたくさん書いたから。
- ・ 授業でレポートが出される機会が多いから
- ・ レポートがたくさんあった
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートはどの授業でも書くことを要求されていたから
- ・ 実験や実習のレポートがたくさんあったから
- ・ レポートを書く機会が多いから。
- ・ 実習でレポート課題がだされる機会が多いから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題に改善点を書いてもらえることがあったから
- ・ 授業でレポートを書く機会が多かったから
- ・ レポート課題が課せられる機会が多いから

### 【向上しなかった理由】

- ・ もうすでに議論し尽くされ、まとめられたものに関するレポートは感想文とさして変わらないため
- ・ レポートは数え切れないくらい提出してきたが、正解がわからなかったから

## 4. 医学部保健学科 (看護)

### 【向上した理由】

- ・ レポート出される機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業で多くレポートを書いたから。
- ・ 授業でレポート課題があったから。

- ・ レポート提出の機会が多いから
- ・ レポート課題が多数あるから。
- ・ レポートをいっぱい書いたから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ レポートをいくつも書いたから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートはかなり書いたから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 講義でレポートを書くことが多いから
- ・ レポート課題が沢山あるから
- ・ 自分の意思を明確にする機会だから
- ・ レポート課題を書く機会が多いから
- ・ 少し慣れたから
- ・ レポートを書く機会が多かったから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ 具体的な方法は教えられなかった
- ・ 何が正しい書き方か知ることができなかったから。
- ・ 構成をあまり理解していないから

## 6. 医学部保健学科（検査）

### 【向上した理由】

- ・ たくさんのレポート課題をこなしたから
- ・ 何度かやったから
- ・

### 【向上しなかった理由】

- ・ まだ苦手意識がある

- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 文章を書く機会が多かったため
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポート課題が多かったため
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出題される機会がとても多いから。
- ・ レポート課題を課されることが多いから
- ・ 何度も課題でしたから
- ・ レポート課題が出されていたから
- ・ レポート課題が多かったから。
- ・ レポート課題がたくさん出されるから。
- ・ 授業でレポートが課されることが多かったため
- ・ レポートを数多く書いたから。
- ・ 何度もレポートを書く機会があった為。

## 7. 歯学部

### 【向上した理由】

- ・ レポート課題が多く課されていたから
- ・ レポートは書く機会がかなり多いため
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートの書き方講座を受けたから
- ・ 実習でレポート課題を出される機会が多いから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 多いから
- ・ 機会あり

- ・ レポートを出される機会が多いから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポート課題を提出する機会があったから
- ・ レポートをよく書いたから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 授業でレポート課題をたくさん出されたから
- ・ レポート課題をたくさんしたから

### 【向上しなかった理由】

- ・ ない。

## 8. 薬学部

### 【向上した理由】

- ・ 実習レポートが多かったから
- ・
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 実習でのレポート課題から
- ・ レポートが多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多すぎるから。
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ 実習の度にレポート課題を出されるから
- ・ 実習で多くのレポートを書いたから。
- ・ レポート課題が多い
- ・ 実習でレポートを書くことが多かったため
- ・ レポート課題をたくさん出されたから

- ・ 数をこなしたから。
- ・ 実習でレポートを貸されたから
- ・ 実習のレポート課題が多かったから。
- ・ レポートは多かった
- ・ レポートが多いから
- ・ 学生実習のレポートが多かったから。
- ・ たくさんの実習レポートをこの1年で書いたため
- ・ 実習の課題で出されることが多かったから。
- ・ 実習のレポートをたくさん書いたから
- ・ 実習後には必ず提出するから
- ・ 学生実習でレポート提出が頻出したため
- ・ 実習などでレポートを書く機会が多かったから。

- ・ たくさんレポートを書いたから。
- ・ 実習レポートをたくさん書いたから。
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 学生実習でレポートをたくさん書いたから。
- ・ 実習のレポートが多かったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ レポート量がおおくて雑になる
- ・ もともとたくさん文章を書いている
- ・ レポート課題が多いから

- ・ 実習レポート課題が出されるから
- ・ 実習のレポートを多く書くことでレポートを書く機会がたくさんあったため
- ・ 実習のレポートをやるが多かったから。

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上した理由】

- ・ テストなどで膨大な量の記述問題が出ることもあるから
- ・ レポートを提出する機会があったから
- ・ たくさん書いたから
- ・ レポートを多く書いたから
- ・ 色々な授業でレポートを書いたから
- ・ 授業でレポートをたくさん書いたから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会があったから。
- ・ 多かったから
- ・ 授業でのレポート課題が捗った
- ・ レポート課題のまとめ方がわかったから
- ・ 授業でレポート課題があったから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ あまり本気で取り組んでいない
- ・ 前期後期共にレポートの点数がある一定のウエイトを占める講義を受けたがそれらの点数の差があまりなかったため

- ・ レポートが多い講義をとっていたから。
- ・ レポート課題があったから
- ・ レポートの課題を出される授業が多かったから。はい
- ・ レポート課題が多いので
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポート出す機会が多いから。
- ・ 例の通り
- ・ 経験の多さ
- ・ レポート提出の機会があったから
- ・ レポートを書く機会が多いから

- ・ 単位のために書いていて、添削の機会がなかった
- ・ どのように書くことが効果的かわからないから

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上した理由】

- ・ 授業のレポートが多いから
- ・ レポートの授業があるから
- ・ 実験などでレポートを書く機会が多かったから。
- ・ レポート課題がたくさんあったため
- ・ レポート課題を何度も受けてきたから
- ・ 課題があったから
- ・ 書く機会が多かった
- ・ 授業や、実験などでたくさんのレポートを書いたから
- ・ レポート課題が多いため
- ・ 実験レポートの作成をしたため
- ・ レポートを書いたから
- ・ レポートで多く書いたため
- ・ レポート作成の経験が多かったから。
- ・ レポートを授業などで出されるため
- ・ プレゼンと同じ
- ・ 課題
- ・ 実験等のレポートを書く機会が増えたから
- ・ 授業課題が多いため
- ・ レポートを書く機会が多かったため
- ・ 授業でレポート課題がよく出されるから
- ・ レポートの量が多いから
- ・ レポートが多いから
- ・ 実験でのレポート課題が多いから
- ・ 課題により必然的に
- ・ レポート作成の機会が多いから
- ・ 実験でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポート課題が多いから。
- ・ レポートが多かったから
- ・ 経験したため
- ・ ほとんど毎週レポートを書くか、
- ・ 複数のレポートを課されたため。

- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートを書く数が多かった。
- ・ 実験でレポートを多く書いたため。
- ・ 実験レポートをやる機会が多いから
- ・ 多くのレポートの機械があったため
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 実験で毎回レポート課題が出されるから
- ・ 努力
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートが多いから
- ・ いくつかの実験を通して書きかたが身についた
- ・ いっぱいかいた
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポート課題が多い
- ・ レポート課題が多すぎるから
- ・ 授業のレポート提出する機会があったから
- ・ レポート課題が多いから。
- ・ 実験レポートが多いから
- ・ レポート課題をすることが多いから。
- ・ レポート課題が何度もあったから
- ・ おまんこしょっぱび〜
- ・ 実験等でレポートを書くから
- ・ 体裁を整えて書くことを意識しているから。
- ・ 場数を多く踏むことができたから
- ・ 実験で提出が必須のため
- ・ 実験でレポート課題が出される機会が多いから。
- ・ レポートを書くことを経験した
- ・ レポート課題が出される機会が多く、そのレポートを教員がしっかり評価するため
- ・ 課題レポートを課されることが多かったから

- ・ 機械科学実験でレポートを書く機会が多かったから
- ・ 課題が多いから
- ・ 自分で考えて書くレポートをこなしてきたから。
- ・ レポートが多かったから
- ・ 実験があったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 改善点多すぎるから。

## 11. 理工学部応用化学システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 手間のかかるレポートを書くことが多かったため。
- ・ 何度もレポートを書いたから
- ・ 課題が多いから
- ・ レポート課題が多かったの。
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポートを書く機会が多いから。
- ・ レポートが多かったから
- ・ 機会が多いから
- ・ 実験でレポートを多く書くようになったから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 実験レポートを書く機会が多かったから
- ・ レポート課題が多く、作成能力が身についたから
- ・ レポート課題を出される機会が増えたから
- ・ 毎週レポート書かされるから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートが増えたから
- ・ 機会が増えたから
- ・ 書く機会が多くあったから
- ・ 行った実験をレポートにまとめる機会が多かったから
- ・ レポートを書く機会が多かったから。
- ・ レポート課題を課されることが多くなった。
- ・ 二年生になってレポートを書く機会が多々あったから
- ・ レポートが多いから
- ・ レポートが多かったから
- ・ 初期に比べれば向上してるかと
- ・ 実験のレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートの講評があったから
- ・ 大学でレポートを多く書いたから
- ・ 授業でレポートを書く機会がいくらかあったため。
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 実験ごとにレポートを書く機会があったから
- ・ レポートを沢山書いたから
- ・ レポートを書いたから
- ・ 授業でレポート提出の機会が増え、推敲もされるやん
- ・ レポートをする機会があったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 他の学部やコースに比べてレポート少
- ・ 自分で勉強しなかったから。今あるスキルしか使っていないから。
- ・ レポートの提出は期限ギリギリになることが多く、レポートをじっくり練ることが出来なかったから
- ・ 苦手

## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 実験レポートがあった
- ・ レポート書いたから
- ・ レポートの形式を学べた
- ・ 機会が多くいろいろおしえていただいた
- ・ 再レポート
- ・ 授業でレポート課題をやるが多かったから
- ・ レポートが多い
- ・ 個人で指導してもらえるから
- ・ 授業でレポートが多かったから
- ・ 課題が多かった
- ・ レポートが多かった
- ・ 頑張った
- ・ 実験を通してレポートを書くことが多かったから
- ・ レポートがおおいから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出されたから
- ・ レポートが大変だから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 課題が出たので勉強した
- ・ 実験レポートをしっかりやったから。
- ・ 授業でレポートを提出する機会が多いから。
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートを書いたから
- ・ レポート課題が出される機会が増えたため
- ・ レポートの構成について、受けたから。
- ・ 先生の指導があったから。
- ・ 実験で毎週レポートを書く必要があったから
- ・ 基礎実験でのレポートのため
- ・ レポート課題を書くに連れて再レポートの回数が増えたように感じたから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ かなり書かされたから
- ・ レポート課題があった
- ・ ほぼ毎週熟考して書いたから
- ・ 機会が増えた
- ・ 機会が多いから
- ・ レポートが多かったから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポートが出される機会が多いから
- ・ 実験レポートで書く機会があったため。
- ・ レポート課題が多いため
- ・ レポート課題によって効率よく鍛えられた
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 再レポートが多かったから
- ・ 実験で必要だから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題が多いため
- ・ 実験レポートを書く機会が多かったため
- ・ 授業でたくさん書いたから
- ・ レポート課題がおおいから

- ・ 実験によって
- ・ レポートが多いから
- ・ 実験でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートいっぱい書いたから
- ・ 実験レポートがたくさんあり、先生にたくさん添削していただいたため。
- ・ 実験レポートで教授方に指導してもらったから。
- ・ 構成を気にして書き始めたから

### 【向上しなかった理由】

- ・ ただ単に妒能力がついてないから
- ・ プレゼンの方が印象に残っていたため、レポートがあったことさえ覚えてなかった。
- ・ 自分の努力次第だと考える

- ・ レポートの書き方がわかったから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポートを書く課題があるから
- ・ 授業で練習できた
- ・ レポートをする機会が多い
- ・ 講義でレポート課題が大量に出されるため
- ・ レポートを書いたから
- ・ レポート課題が多かった
- ・ 実験レポートなどがあったから

- ・ 期間が短かった
- ・ 大したものじゃないから

## 13. 理工学部情報システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 経験できたから
- ・ 量
- ・ 毎週レポート課題があり、レポートの修正をするから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポートがおおかった
- ・ レポート課題が課される授業が多いため
- ・ 課題で多いから
- ・ レポートが大変すぎるから
- ・ レポートを何度か書いたから
- ・ レポート作成の場が多いから
- ・ レポートおおいから
- ・ 学生実験のレポート添削は学びが多い。
- ・ 実験で毎週出されるから
- ・ 実験などでレポートをよく作成するから
- ・ 授業でレポートが出される機会が多かった
- ・ 慣れたから
- ・ 実験レポートを書く機会があったから
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 実験のレポート課題が毎週あり、やる機会も多いから。
- ・ レポートのやり直しを通してスキルアップしているため。
- ・ 実験
- ・ レポート提出の機会が多いから
- ・ レポートがよく出るから
- ・ レポート課題を出される機会が多いから
- ・ レポートが多いから
- ・ レポート多く出されるから
- ・ 3年次の実験でレポート作成する機会が多いため
- ・ レポートの機会が多いから
- ・ 数をこなしたから
- ・ レポートを書くことが増えたから。
- ・ レポートを書く機会がおおいから
- ・ レポート課題が課される度に熟考して取り組んだため。

### 【向上しなかった理由】

- ・ 雑にやっているから
- ・ レポートはなかったと思う
- ・ あまり、提出がなかったから
- ・ 別の授業でレポートだす機会が多いから

- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 授業レポートを書く機会が多かったから。
- ・ 各講義でレポートの書き方指導があったから。
- ・ レポートが多いから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いため
- ・ レポート
- ・ レポート提出する機会が多かったから
- ・ レポートの機会が多いから
- ・ レポートを毎回出される授業があったから
- ・ 研究室の毎回のレポートで先輩にチェックをしてもらえたから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ 機会があったから
- ・ 授業でレポート課題が多いから
- ・ ほぼ毎回レポート課題が出されたから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートがあるから
- ・ レポートを書く機会があるから
- ・ レポートの量
- ・ レポート課題が出されることが多かったため。
- ・ レポートを作成する機会が多かったから
- ・ 細かく採点された
- ・ 3年になり実験が増えてレポートを書くことが増えたから
- ・ レポート課題がでるから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートの課題をやった
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポートが多く、書く機会も増えたから。
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポートを作ることが多かった

- ・ 授業でレポートを書いたが苦手意識が取れなかったから
- ・ レポートが少ないから
- ・ 文章レポートを書く機会がない

## 14. 理工学部応用理数コース

### 【向上した理由】

- ・ 正しく文章を書かないといけないレポートがあるから
- ・ レポートあったから
- ・ レポート課題があったため

- ・ レポートが多いから
- ・ レポートを書く機会があったから
- ・ レポート課題がおおかったから

- ・ レポートを書くことが多くなったから
- ・ レポートを書く機会があったから
- ・ レポート課題をする機会が多かったから
- ・ 論理立てて書くことが出来てきたと感じているから。
- ・ レポート課題が多いから科学実験
- ・ レポートを出される機会が多かったから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから

### 【向上しなかった理由】

- ・ レポートは主に数式であるから
- ・ あまり機会がなかった

- ・ 授業でレポート課題が出る機会が多かったから
- ・ 授業でレポートを出されることが多いから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポート課題が何度か出されたから
- ・ 文章レポートを書く機会があったため
- ・ レポートを書く機会が増えたから
- ・ 授業でレポート課題があったから。
- ・ 大変だったから

- ・ 大変だから。
- ・ あまりしてないから

## 15. 生物資産業学部

### 【向上した理由】

- ・ 多くのレポートが出たから
- ・ レポート課題が出されることがあったから。
- ・ 何度か書いたから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でレポートが多く出るため
- ・ 授業でレポートを課されることが多かったから
- ・ フィールド実習のレポート課題が出される機会が多かったから
- ・ 授業のレポート課題が多く、上手く書けるようになったと実感するから
- ・ レポートの課題を沢山出したため
- ・ 色々な授業でレポート課題が出たから
- ・ レポート課題が多く出たため
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 授業でレポートを書く機会が多く、今までレポートを書くことがなかったの、自分の文章を書く力も向上した。
- ・ フィールド実習などのレポートをたくさん書いたため。
- ・ レポートの課題が出されることが多いから。
- ・ レポートの指導をしてくれる授業があるから
- ・ レポートなどを提出する機会が多かったから
- ・ 授業でレポートを出さなければならないから
- ・ レポートが多いから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートを書く際に書きかたを意識しながら書けたから
- ・ 授業での課題としてのレポート作成の機会が多かったから
- ・ レポート課題で役立った
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから。
- ・ 授業でレポート課題を書く機会が多いため、向上したとおもう。
- ・ レポート課題が多いから
- ・ レポート課題が多々あったため
- ・ いっぱいあったから
- ・ 機会があった
- ・ レポート課題多いから
- ・ レポート課題が多く出たため
- ・ レポート課題の量が多かった
- ・ レポートが多かったから
- ・ 授業でレポートを書く機会が多かったから。
- ・ 課題レポートが多いから
- ・ レポートが出されることが多いから
- ・ レポート提出
- ・ レポートを書く機会が多かったため
- ・ レポートたくさんあったから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ レポートの量が多いから
- ・ レポートをかく機会が多かったから
- ・ レポート課題がたくさん合ったから
- ・ 授業でレポート課題が多く出たため
- ・ 何回も書いたから

- ・ レポートを作成する機会が増えたから
- ・ 授業でレポート課題が多かったから。
- ・ レポート作成が前より早く正確に書くことができるようになった
- ・ 授業で出される機会がおおかったから
- ・ 経験
- ・ レポート課題があるから
- ・ レポートを課す授業が多かったから
- ・ レポートでの課題で役立っている
- ・ レポートをたくさん書いた
- ・ レポートが多かった
- ・ レポートを書く機会が多くあったから
- ・ レポートを書く機会が多かったため
- ・ 機会があったから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートをよく書かされるから
- ・ 実際に体験する
- ・ よくレポートを、かくから
- ・ 何度も書いたから
- ・ レポートの講座に行ったから
- ・ レポート課題が出される機会が多いから
- ・ 授業でのレポートで
- ・ 多くの授業でレポート課題が出たから。
- ・ 提出する機会があったから
- ・ レポート課題が多かった
- ・ レポート提出の機会が多いから。
- ・ 多数書いたから。
- ・ レポートを書く機会があるため
- ・ 度々授業でレポートを書く機会があったため
- ・ レポートを書く機会が多いから
- ・ レポート課題がいくつかあったから
- ・ レポートをする機会が何度かあったから
- ・ 大学に入りレポート課題が増えたから
- ・ レポートを書く機会があったから
- ・ レポートを書く機会が何回かあったから
- ・ 課題でレポートを書く機会が多いから
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 書く機会が多かったから
- ・ 沢山のレポートをかいたから
- ・ 課題が定期的にするため、その度に改善を考えるため
- ・ レポートの課題が多いから
- ・ 授業でたくさんレポートを書く機会があり、レポートにかける時間が短縮され始めているから。
- ・ 課題レポートがいくつかあったから
- ・ レポート課題の数をたくさんこなしたから
- ・ レポート提出
- ・ ある授業の復習として、レポートのようなものを書かされる機会があったから
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから
- ・ レポート提出が多かった



- ・ 授業でレポートを課されるから
- ・ 何回もレポートを書いたから
- ・ レポート課題があるから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 授業レポートが多かったから
- ・ レポートを出す授業が多いから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 去年よりレポート課題が多い
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ 実験レポートが多かったから
- ・ 何度もレポートを書いたから
- ・ レポート課題が多いから
- ・ 特に実験レポートをたくさん書いたから
- ・ レポート課題がおおい。
- ・ 多く経験したから
- ・ 専門科目で書く機会が増えたから。
- ・ レポートがおおかった
- ・ レポートを書く機会が大変多かったから。
- ・ 授業でレポート課題が出される機会が多いから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会がない
- ・ 元々知っていた
- ・ あまり具体的には教えてないから
- ・ 書くときの具体性がなかった
- ・ 特になかった
- ・ あまり詳しく教えて貰えなかったから。
- ・ 今までと変わらない仕様で書いていたから。
- ・ 自分自身の問題
- ・ 今まで身につけたスキルを使っていたので技術が上がったかと言えば、上がってはいない

- ・ 資料を集めてまとめるという作業が多かったから
- ・ よくレポートを出したから
- ・ レポートをかく機会がおおい
- ・ 文章レポートを要求する授業が多かったため
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポートを何度も書いたから
- ・ レポート課題を真面目に取り組んだから。
- ・ レポートを書く機会が多かったから
- ・ 実習でのレポート課題が出させる頻度が多かったから
- ・ イノベーションプラザで月間報告書を書く機会があったから
- ・ 文章を書く機会が増えたから
- ・ レポートを書く機会が増えたから
- ・ レポート課題が多かったから
- ・ レポート課題が増えたから
- ・ レポート課題が多いから。
- ・ レポートが多いので
- ・ レポートをたくさん書いたから。
- ・ 実験レポートが多いから
- ・ 授業出ているから

- ・ レポートはあまり良い評価を得られなかったから
- ・ 特に能力が変化していない
- ・ 文章を自分で考えて書くことは少なかった気がする。
- ・ 調べたことを書いていただけだから
- ・ レポートの振り返りなどがなかったから
- ・ レポートの書き方について説明されたことも無く、また講評が分からないため。
- ・ 親にレポートの書き方がなっていないと怒られるから
- ・ 苦手意識がぬぐいきれなかったから

## 5-3. 文章レポートを書く力を向上させるための今後の取り組み

### 1. 総合科学部

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 普段から多くの文章をかく
- ・ 教授などの文献を読む
- ・ 教授にきく
- ・ 書きまくる
- ・ 自分の欠けている部分を追求し改善する
- ・ 本などを読む
- ・ 経験と反省を重ねる
- ・ たくさん書く
- ・ レポートの添削を閲覧できるようにする。
- ・ ●●先生の本を読む

- ・ 書き方を教えてもらう
- ・ さまざまな文献を読み、自分でレポートとしてまとめる
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 資料の活用
- ・ 課されたレポートに熱心に取り組む。
- ・ 教授に書きかたを直接学ぶ
- ・ 熱心に取り組む
- ・ 教授にきく
- ・ 特にしません
- ・ さまざまな文献やレポートを比べて、自分の書き方を探る
- ・ 本を多く読む

### 2. 医学部医学科

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ チュートリアルをちゃんとやる
- ・ やり方をしっかり教えて欲しい
- ・ レポートの書き方についての本を読む
- ・ チュートリアルの学習課題の、他の学生のレポートのまとめ方や伝え方を参考にする。
- ・ レポートを書くときに、提出することを目的にするのではなく、自分なりに推敲して作成する。
- ・ 自学自習に努める
- ・ 論文を読む
- ・ 論文を積極的に読む

- ・ 正しい書き方をよく理解した上で練習を重ねる。
- ・ 利用する
- ・ 積極的
- ・ レポートに真剣に取り組む
- ・ 論文などを読む
- ・ 添削をもう少し詳しく行ってもらう
- ・ 論文を読む
- ・ より分かりやすいレポートにする
- ・ 他の人の書き方を知る
- ・ レポートを書く機会をもつ

### 3. 医学部医科栄養学科

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 書き方を聞く
- ・ いろんなレポートを見直す
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ 書き方を調べてみる
- ・ 論文をたくさん読む
- ・ 考察などに力を入れる
- ・ レポートの書き方を改めて考える
- ・ 他の人の論文やレポートを参考にする
- ・ レポートの採点をしてもらう
- ・ 教員からの添削を見直す。
- ・ ネットで調べる。
- ・ 本を読む
- ・ うまい書き方のレポートを知る
- ・ 書き方を教えてもらう
- ・ レポートの書き方講座をする
- ・ 良い評価もらったレポートを見返して次回以降に生かす
- ・ 教授からレポートの書き方を学ぶ
- ・ 他と人のレポートを見る、論文を読む
- ・ 卒論を教授のアドバイスももらって書く
- ・ Excel等の使い方をより知る
- ・ レポートの書き方を教授に聞く
- ・ 論文を読む
- ・ 教授や先輩にアドバイスをもらう。
- ・ 書き方を調べる。
- ・ ほかの人の論文などを参考にする
- ・ 教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方について学ぶ機会を設ける
- ・ 卒業研究の論文の書き方を聞く。
- ・ 書き方を先生に聞いたり、調べる
- ・ 論文をたくさん読み、文章を書く練習もする
- ・ さらにレポートを書く
- ・ 論文を読み、学術的な論文の書き方を考える
- ・ 論文を読んで勉強する
- ・ 返却されたレポートを見て改善点を直す。
- ・ 論文等を読み、書き方を学ぶ
- ・ 本やネットで調べる
- ・ 科学雑誌に掲載されるような論文を読む
- ・ 本を読む
- ・ レポートの書き方を研究室のメンバーに相談する
- ・ ブログなど好きな文章を書く
- ・ レポートの書き方を自主的に学ぶ
- ・ レポートについてのフィードバックを、積極的に貰いに行く
- ・ 書き方を先生に聞く
- ・ 研究室で指導を受ける

### 4. 医学部保健学科（看護）

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 自分たちで学ぶ
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 特になし
- ・ 個人の練習だと考える
- ・ 他の人のレポートの書き方を知る。
- ・ より良いレポートを書くよう工夫する
- ・ 沢山のレポートをこなす
- ・ 文章に使えるような語彙力を高める
- ・ レポートの書き方の本などを読む。
- ・ 自分で学習を深める
- ・ もっと自分の考えをレポートに入れられるようにする。
- ・ 数をこなすのではなく内容を充実させる
- ・ レポートを書く回数を増やす
- ・ 自分なりにレポートの書き方を恒常的に、意識的に改善する
- ・ 自主的にレポートを書く
- ・ 基礎を大事にする
- ・ 様々な文献を読んで語彙を増やす
- ・ 問いに対応するように意識する
- ・ 書くのが上手い人のレポートを読む
- ・ レポートの書き方を調べたり教員に聞いたりする。
- ・ 教をこなす
- ・ 論文などを読む
- ・ レポートの書き方について読み手が読みやすいように工夫する
- ・ レポートの書き方についての本を読む
- ・ たまに書く
- ・ 書き方を復習した
- ・ レポートの書き方を考えて書く。
- ・ 多く書きたい
- ・ これからも続けていく
- ・ よりよいレポートの書き方を学ぶ
- ・ レポートを書く機会を作る
- ・ 論文をたくさん読む。
- ・ レポートを書くことを苦痛と思わないように書き方のコツなどを調べる
- ・ レポートの書き方について勉強する
- ・ 効率的な方法を探す。
- ・ 自分の意見がより伝わりやすいレポートを心がける。
- ・ 他の友達のレポートを読み学ぶ

### 6. 医学部保健学科（検査）

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ レポートの書くスピードをもっと速める
- ・ まだスキルはないので、教えて頂きたい
- ・ 構成をよく考えてレポートを書く
- ・ 意欲的に取り組む

## 7. 歯学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ レポートを書く機会を増やし、添削してもらう
- ・ 先生方に添削していただく
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ たくさん書く
- ・ 書き方の本を読んで学ぶ。
- ・ 特に考えていない
- ・ ほかの人の書いたレポートを見ていいところを真似る
- ・ レポートの書き方を聞く
- ・ 教授に聞く
- ・ 教授に聞きに行く
- ・ がんばる
- ・ 特に考えていない
- ・ 先生に指導してもらう
- ・ 頑張る
- ・ さまざまな本を読んで知識を増やす

## 8. 薬学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 書き方について調べる
- ・ 発展内容を盛り込む
- ・ 先輩に聞く
- ・ 読みやすいようにしたい
- ・ とにかく自分で文章を書く。
- ・ 先生に聞きに行く
- ・ 自主的に書き方について学ぶ
- ・ 図や表の使い方を考える
- ・ よりわかりやすく、簡潔に書けるようにする。
- ・ 教授が見た後、レポートを返却してもらう
- ・ レポートを書く
- ・ 研究室に所属したら先輩に教わりたい
- ・ レポートを書く際に書き方を気をつける
- ・ 調べる
- ・ 型にとらわれない自由な発想で書く。
- ・ さらに洗練されたレポートを書けるように努力する。
- ・ レポートをうまく書くように数をこなす
- ・ たくさんやる。
- ・ 論文を読んだりする
- ・ 論文を自主的に読む。
- ・ 論文の書き方を学ぶ
- ・ 先輩にきく
- ・ 先輩や先生に聞くなどして、より学術的な表現・構成を学ぶ。
- ・ さらに良い書き方を学ぶ
- ・ 細かいところに気をつける。
- ・ たくさんの論文を読む
- ・ 卒業論文を書くまでにできる限り沢山書く
- ・ 学生生活の中で自然に養う
- ・ より多くレポートを書く機会得るようにする。
- ・ 論文等の書き方を参考にする
- ・ 論文などを読むことを通して文章の書き方などをより学ぶ
- ・ レポートの書き方がまとめられた本などで書き方を勉強する。
- ・ 丁寧にレポートを書く。
- ・ レポートの返却を希望する

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 本を読む
- ・ 本気で取り組む
- ・ 自分なりにより良いレポートの書き方を考える
- ・ 報告書やレポートの書き方について書かれた本を読む
- ・ 評価が高かったレポートを見直す
- ・ 自分で学ぶこと
- ・ 試行錯誤する
- ・ 正しいレポートの書き方を知り活用する
- ・ レポートの書き方を調べたり、提出後の友達のレポートを見せてもらったりするなどして色んな観点から取り組めるようにする。
- ・ 数を解く
- ・ 見やすさを意識する。
- ・ これから一つ一つ丁寧に仕上げる。
- ・ 自主的に教授に聞く
- ・ 読書
- ・ レポートの書き方を工夫する
- ・ 常に授業で習ったことに対して自分なりの考えを持つようにする。
- ・ 他者からの評価が知りたい
- ・ 友達のを参考にする
- ・ レポートの書き方講座などに参加する
- ・ レポートの書き方を本なので調べる
- ・ 自分で調べる
- ・ 回りくどい言葉を使わないように心がける。
- ・ 調べて自分で考えてとく
- ・ 改善点をさがす

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ レポートを書く
- ・ 言葉遣いに気をつける
- ・ みんなとかのを参考にする
- ・ 教授や先輩からレポートの指導を受ける。
- ・ なぜ、書く必要があるのか考えながら書く
- ・ 研究室で教授に聞く
- ・ 考察を良くする
- ・ 論文等を読んでみる
- ・ レポートを出す
- ・ 先輩等からレポートの書き方を(いい意味で)盗む
- ・ 努力
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 特になし
- ・ 自主添削を注意深く行う

- ・ もっとレポートを書く
- ・ 教授に直されたところなどきちんと確認する
- ・ 担当教員にアドバイスをもらう
- ・ レポートを書く
- ・ 本で学ぶ
- ・ 実験などで教員の赤入れから学んでいく
- ・ 経験を増やす。
- ・ 何回書いて教授などに聞きに行く
- ・ 他者や教員のレポートを見る
- ・ 課題
- ・ 他者のレポートを見る
- ・ ネットで調べる
- ・ 本などで勉強する
- ・ たくさん文章を読む
- ・ より読みやすいものを作る
- ・ 頑張る
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ 本を読む
- ・ 評価基準から考える
- ・ レポートに積極的に取り組む
- ・ 自分で考えてレポートの書き方を考える
- ・ レポート直しにより身につける。
- ・ 教授にきく
- ・ 読みやすさを心がける
- ・ よく考慮して書く
- ・ アドバイスを受ける。
- ・ うまいひとののを見る
- ・ 字を丁寧に書く
- ・ レポートの書き方をネットなどで調べる
- ・ 書き方を工夫する
- ・ 先生にレポートの評価をもらう
- ・ もう一度SIH道場を振り返り書き方を考え直す
- ・ 教授から指摘を受けた点を次からのレポートでは生かす
- ・ 経験を増やしたり、調べること。
- ・ 訂正してもらったことを忘れずに次に活かす
- ・ レポートの書き方についてTAや教授に聞く
- ・ 積極的に参加する
- ・ 期日までにレポートを提出する
- ・ 実験を真面目に受け続ける。
- ・ 本を参考にする
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 多くの文献を利用して、レポートを書く
- ・ 専門書等を参考にする
- ・ 先生にアドバイスをもらう
- ・ 文献で調べる
- ・ さらにたくさん経験する
- ・ 自分で調べる
- ・ 不明点について自主的に教授に聞きに行く
- ・ 意識して作成するようにする。
- ・ レポートをさらに工夫する。
- ・ 正しいレポートの書き方を意識して書く
- ・ 教授に直されたところをしっかりと吸収していく

## 11. 理工学部応用化学システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ いっぱい書く
- ・ うまい人ののを見る
- ・ これからも経験していく
- ・ これまでに習ったレポートの書き方を身につける。
- ・ これまでに書き終わったレポートを見直す
- ・ どこがどう間違えているのか学生同士で話し合う。
- ・ ネットで情報を得る
- ・ ネットで調べてより良い書き方を学ぶ
- ・ より多くのレポートをこなして場数を踏む
- ・ レポートが得意な人から学ぶ
- ・ レポートの作成技術指導の内容を思い出しながら時間に余裕を持ってレポート作成するよう心掛ける
- ・ レポートの書き方について学び添削してもらう。
- ・ レポートの書き方について勉強する。
- ・ レポートの書き方を教授に相談する
- ・ レポートの書き方を教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を自分なりに調べる
- ・ レポートの正解を聞く
- ・ レポートの評価をみる
- ・ レポートを書くたびに良い点、悪い点を探す
- ・ レポートを多く書く。
- ・ レポート書き方講座をうける
- ・ わからない点を教授に聞きます
- ・ 何度もレポートを書く
- ・ 教員からのコメントをもとに改善していく。
- ・ 教授に書き方を聞いたりする
- ・ 考察を詰める
- ・ 講義などで学ぶ
- ・ 指導された点をしっかりと改善していく
- ・ 自分の書いた内容と同じものを他人と見比べ取り組みたい
- ・ 実験レポートしっかり書く
- ・ 周りとは相談しながら良いものを作る
- ・ 書き方を教授に聞きに行く
- ・ 書き方を教授に聞きに行く
- ・ 書き方を先輩から学ぶ
- ・ 書き方講座の書籍を参照する。
- ・ 書く機会を増やす
- ・ 上手い人に聞きに行く
- ・ 上手な人のものを参考にする
- ・ 正しいレポートの書き方について、文献などで調べる
- ・ 先輩などにコツを聞いたりする
- ・ 先輩に聞く
- ・ 先輩や教授に書き方を聞く。
- ・ 先輩等のレポートをどのようなものか拝見させていただく。
- ・ 他者の書いたレポートを見て参考にする
- ・ 他者の目線になって自分のレポートを理解できるか考えながらレポートを作成する
- ・ 特になし
- ・ 聞きにい
- ・ 本やネット、先輩から情報を得る
- ・ 本やネットでレポートの書き方について学ぶ
- ・ 本を読む
- ・ 本読む
- ・ 様々な人の書き方を参考にする
- ・ 様々な文献を読み書き方を学ぶ
- ・ 理科力をつける
- ・ 良いレポートの書き方を参考にする
- ・ 良いレポートの例を参考にする
- ・ 論文や本の文章を真似る
- ・ レポートの書き方を主体的に教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を調べる
- ・ レポートの書き方を文献などを見て学ぶ
- ・ レポートの書き方を文書を読んで学ぶ
- ・ レポートの書き方自分で調べる
- ・ 書き方を学ぶ

## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 英語の勉強
- ・ 頑張る
- ・ レポート提出を繰り返す
- ・ 良いレポートのカタチを参考にする
- ・ 最初から誰が見ても読めるものを作る
- ・ レポートの書き方を教授に教えてもらう、
- ・ 先輩に聞く
- ・ 教授に聞きに行く
- ・ 真剣にレポートをかく
- ・ 自主的に試行錯誤する
- ・ 本を読む
- ・ 頑張る
- ・ レポートの書き方講座を受講する
- ・ 自分でしっかり考える
- ・ 機会を増やす
- ・ レポートを書く機会を増やす。
- ・ レポートの書き方を学ぶこと
- ・ エクセルのスキルアップ
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ このままでいい
- ・ 機会があったら他の人と見せあったりして、レポートを改良する。
- ・ わからない
- ・ レポートの書き方や取り組み方を教授や先輩に積極的に聞きに行く。
- ・ なんのために実験なのかを考えながら実験に取り組む自分以外の読んでわかるように書く
- ・ 積極的にレポートを書く
- ・ これからも精進してレポートを書く
- ・ もっと時間をかけて書く
- ・ 担当の先生に書き方をご教授していただく
- ・ 自分なりの工夫を加える
- ・ より多くのレポートを書く
- ・ 何事にも積極的に取り組む
- ・ 本などで調べる
- ・ レポートを時間をかけて書く
- ・ 教授に質問する
- ・ もっとレポートに意欲を持っていく
- ・ レポートを見直してもっとこう書いたらよかったなどで見直す。
- ・ 回数を重ねる。
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 国語力を上げるために本を読む
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ レポートの書き方を教授に聞く
- ・ レポートをたくさん書く機会があったらいい
- ・ より良いものにしていく
- ・ レポートを書くことが上手な先輩がいるため、書き方を教わる。
- ・ レポートを書く
- ・ もっと考えて書く
- ・ より良いレポートの書き方を学ぶ
- ・ レポートの書き方を自主的に教授にききにいく
- ・ レポートを書くことがうまい友達に教えを請う
- ・ わからないところがあれば、先生に質問しに行く
- ・ レポートの書き方を復習する
- ・ 書き方を先生に聞く。
- ・ 技術文書にも目を通すようにする
- ・ 難しい日本語の言い回しを練習する
- ・ レポートをもっと書く
- ・ たくさんレポートを書く
- ・ レポートの書き方で指導された点をメモする
- ・ 本を読んで語彙力を身につける
- ・ レポートを書くことで経験を積む
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ もっと書く
- ・ レポートをかく
- ・ よく考えて書く
- ・ まじめに取り組む
- ・ レポートで先生に直されたところを深めていく
- ・ たくさんの文章を書く
- ・ 教授から教えてもらう
- ・ 他の論文を読んでみる。
- ・ 甘えず、こだわり続ける
- ・ 自主的に先生に聞きに行く
- ・ もっと多くのレポートを書く。
- ・ 教授の指摘点をまとめて反省する
- ・ レポートをどんどん書く
- ・ 論文などを読んでみる
- ・ レポートを書く際に気をつける

## 13. 理工学部情報光システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 経験できたから
- ・ 量
- ・ 教授にアドバイスを求める
- ・ レポート指導の授業をする
- ・ レポート例を配布する
- ・ もっと工夫する
- ・ 添削された部分を直すだけでなく、なぜ添削されたのかを考え次に生かす
- ・ 訂正される部分についてよく考える
- ・ 書き続ける
- ・ 書き方を工夫する
- ・ レポートの書き方を聞く
- ・ 本や他のレポートを参考にする
- ・ うまい人の過去のやつを見る
- ・ 上で学んだことを実践していく。
- ・ 自分で書いたものを読み返す
- ・ レポートの書き方を先輩に聞く
- ・ 教授に聞く
- ・ 自主的に勉強する。
- ・ 自分で書き方について調べる
- ・ 今後も学んだことを忘れないようにする
- ・ 自身で調べたり教授に書き方を教わる。
- ・ 調べる
- ・ レポートの書き方を研究する
- ・ ネットで調べる
- ・ レポートの書き方を調べる
- ・ タイピング速度の向上。エクセルをあまり使わないので使う。
- ・ 見直し、訂正を確実に行う
- ・ いろいろな人の書き方を学ぶ
- ・ 機会の増加
- ・ レポートの書き方を経験をこなしている人に教えてもらう
- ・ 他人のレポートを読む
- ・ 教授からレポートについてフィードバックを貰う
- ・ レポートの書き方について書籍等を、読む。
- ・ ネットなどで書き方を調べる。

- ・ レポートをたくさん書く
- ・ 読みやすいよう努力する
- ・ レポートの書き方を自分なりに研磨していく
- ・ 教授に相談に行く
- ・ 早くまとめられるように練習する。
- ・ 論文を読んで書き方を学ぶ。
- ・ 実験で鍛える
- ・ ほかのレポートをたくさん読んでみる
- ・ 特になし
- ・ レポートを積極的に書く
- ・ 推敲する
- ・ 難解な語彙を身につける
- ・ いろいろな人のレポートを参考にする
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 訂正点などを見直す
- ・ 提出し、やりっぱなしではなく添削をしてもらい、復習する
- ・ 研究室でレポートの書き方を改めて学ぶ
- ・ 苦手意識を取り除くこと
- ・ よく推敲してレポートを書く
- ・ レポートの添削を行なってもらう
- ・ レポート指導を先輩達に教えてもらう
- ・ 書き方を勉強したい
- ・ 分かりやすいレポートの書き方を学ぶ
- ・ 学習
- ・ レポートの再提出を少なくする
- ・ 文章レポートを書く
- ・ レポートの添削を行なってもらう
- ・ 練習する
- ・ 教授に聞きに行く
- ・ よく調べる
- ・ 場数を踏む
- ・ 自主的に取り組む
- ・ レポートをたくさん書く
- ・ 教授に質問
- ・ レポートの書き方について書籍で調べる。

## 14. 理工学部応用理数コース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 文章を書くものをする
- ・ 根拠を明確にしながらかく
- ・ 自主的に聞きに行く
- ・ レポートを書き、その度に修正すべき所を修正する。
- ・ レポートを書いてダメだったところをどう書けば良いか先生に聞きに行く
- ・ 頑張ります
- ・ レポートの書き方を勉強する
- ・ ネットで調べる
- ・ 教授に積極的に聞きに行く
- ・ 機会を増やす
- ・ レポートの書き方を自主的に教授に聞きに行く
- ・ 書き方講座に参加する
- ・ 正しい日本語を使えるようになる
- ・ 頑張ってください。
- ・ レポートの書き方を調べたり、聞きに行ったりする。
- ・ 本を読む
- ・ より良いレポートの書き方を自分で調べる
- ・ レポートをする際に自分なりの工夫をする
- ・ レポートの書き方の講座をウケる。
- ・ 周りの人に聞く
- ・ 本を読む
- ・ 特になし
- ・ 言葉に気をつける

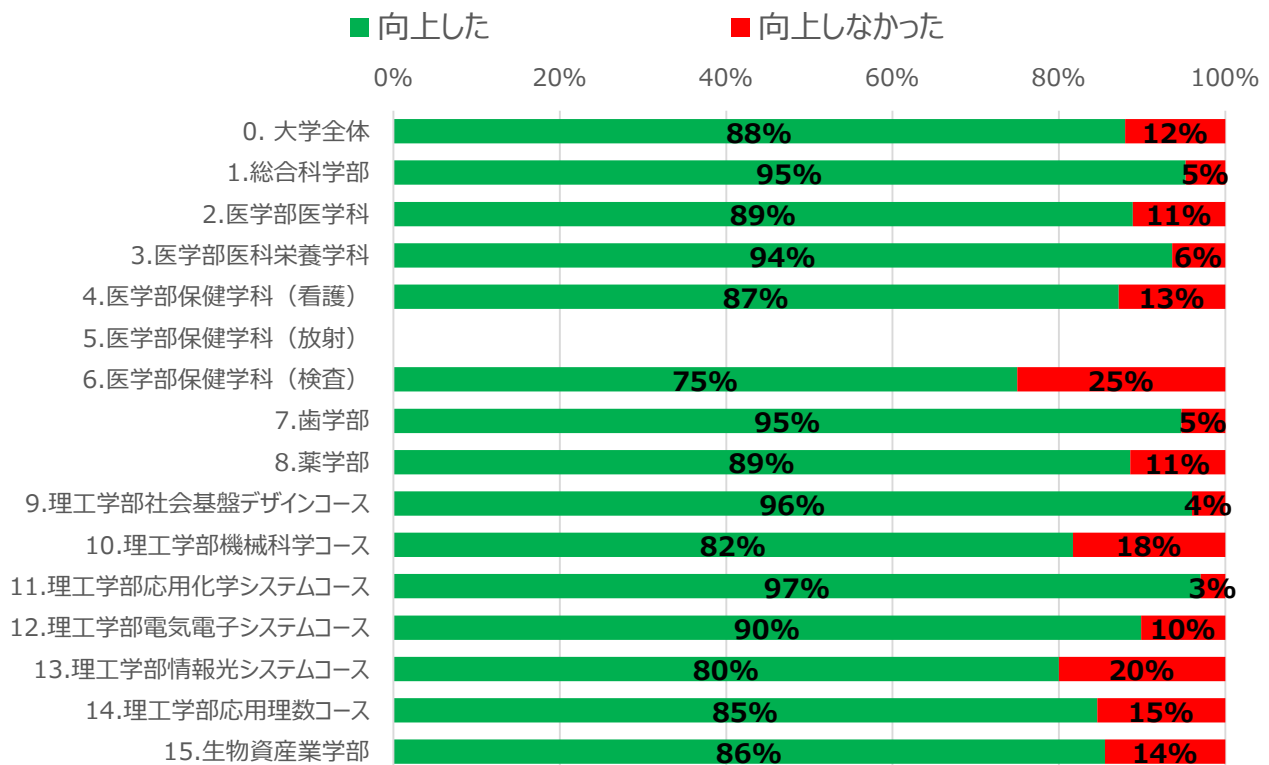
## 15. 生物資産業学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ レポート作成の度に振り返る
- ・ 教授に聞きに行く。
- ・ 機会がない
- ・ 教授に書き方のコツを聞きに行く
- ・ 経験をつむ
- ・ 添削を誰かからもらう
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ 多く書く
- ・ わからない場合は教授に聞く
- ・ 書いて慣れる
- ・ 自分で何度も言葉がおかしい所などを探して手直しする
- ・ レポートを書く時に工夫する
- ・ レポートの正しい書き方について調べ、活用する
- ・ 日頃から練習する
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ もっとかく
- ・ たくさんレポートを書く
- ・ 人にきく
- ・ 評価を聞きに行く
- ・ 本を読む
- ・ 自分の考えをまとめる力をつける
- ・ もっとなれる
- ・ レポートの書き方を SSS で相談しに行く。
- ・ 自分で書き方を研究する
- ・ さらに調べる
- ・ 有名な教授のレポートを見る
- ・ レポートの書き方を調べる
- ・ 資料を見て考えることを増やす
- ・ 図書館のレポート指導の SSS に赴く。
- ・ 多くのレポート・論文を見て書き方を自主的に学ぶ
- ・ 周りの人のレポートの書き方を参考にする
- ・ レポートについての本を読む
- ・ 本を読む
- ・ 自分が書いたレポートが正しいのかどうか分からないのでかいぜんしてほしい自分の考えだことが誤っても気づかなければ学習に繋がらない
- ・ レポートの描き方が上達した
- ・ 友達でうまくまとめるものを見せてもらう
- ・ 自分の考えを入れるようにする
- ・ レポートの書き方などの本を読む
- ・ 文章を書く
- ・ 見やすく書く
- ・ 積極性
- ・ レポートを多く書く
- ・ ウェブなどで参考になるものを見つけて真似していく。
- ・ 書く機会を増やす
- ・ レポートの書き方を学びたい
- ・ 講評の提示
- ・ 文章の正しい書き方について学ぶ
- ・ レポート課題の様々な書き方の形式について学ぶ
- ・ 友達と相談しながらより良い方法を導き出していく
- ・ レポートの書き方を自分なりに工夫してみる

- ・ レポートのより良い書き方を調べる。
- ・ 書き方を工夫したい。
- ・ どの点が悪かったか採点してもら
- ・ 様々な課題についてレポートを書く
- ・ もっと具体的に
- ・ レポートの書き方講座に積極的に参加する
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ レポートの経験を積む
- ・ 起承転結を意識してかく
- ・ 見直しをして、改善点を見つける
- ・ 頑張る
- ・ 自ら調べる
- ・ 自分のものを見直す
- ・ うまく書けている友達のレポートを見せてもらう
- ・ 書き方を本を読んで研究する
- ・ 書き方の本を読む。
- ・ 毎回工夫しながら書く
- ・ 他の課題でもこの経験を生かして向上を目指す！
- ・ わからないことを書いていく
- ・ 内容を膨らます努力をする
- ・ レポートの書き方をもっと学ぶ
- ・ 真面目にレポートに取り組む。
- ・ 他のレポートを読む
- ・ レポートの書き方についての本を読む
- ・ タイピングを練習する
- ・ レポートの書き方を教わる。
- ・ 分からないことは質問しに行く
- ・ レポートの書き方を本などで学ぶ
- ・ 今までのレポートを振り返って欠点を直していく
- ・ レポートの書き方をもっと見につく
- ・ 接続後の使い方について学ぶ
- ・ 妥協せずにより良いレポートを書く
- ・ 回数をこなしていく
- ・ かきおわったら自分でもチェックする
- ・ 教授に聞きに行く
- ・ 本などを使ってレポートの書き方を学ぶ。
- ・ レポートの書き方に関する参考資料を読む。
- ・ このままレポートを続けていく
- ・ 学術論文をたくさん読む
- ・ インターネットなどを利用し調べる
- ・ ネットで調べる
- ・ いろいろな人のレポートを見させてもらう
- ・ 書き方を他者に学ぶ。
- ・ レポートの書き方を周りの人に聞く
- ・ 自分で工夫していく
- ・ もう少し理論的に書く
- ・ 書き方の参考書を読む
- ・ 何回も書く
- ・ レポートの書き方を学ぶ
- ・ 経験、慣れ
- ・ レポートの書き方についての本を読む。
- ・ もう一度筋がとおっているかよみなおす
- ・ お手本を参考にする
- ・ さまざまな文献を読む。
- ・ 論文の書き方、言葉遣いを実際に読んで学ぶ
- ・ ひたすら書く。
- ・ レポートする
- ・ 理論的な書き方ができるようにする。
- ・ わかりやすいレポートを書くように心がける
- ・ 書き方講座に参加する
- ・ 期限内に余裕を持ってレポートを書く
- ・ もう少し、レポートの書き方を学ぶ
- ・ たくさんレポートを見る
- ・ 調べてから書く
- ・ 見直し、語彙力向上
- ・ 本で調べたり、教授に聞きに行ったりする
- ・ 自分の意見をもっと主張できるように、書き方を変える
- ・ 書くだけではなく改善点を見つけて直す
- ・ レポート向きな言葉をより多く知る
- ・ レポートの書き方について調べる。
- ・ レポート作成工夫
- ・ レポートの書き方のコツを掴む
- ・ レポートの書き方についての文献を読む
- ・ 良いレポートと自分のものを比べて吸収できるところは吸収していく
- ・ 本で調べるなどして書き方を改善していく
- ・ 書いたレポートの評価を担当に聞く
- ・ レポートの書き方をもっと調べる
- ・ 先輩とか教授に書き方をさく
- ・ レポートの数をこなしていく
- ・ テーマをしっかりと持って書く
- ・ 上手いレポートを読む。授業内容を自分なりにレポートしてみる。
- ・ 本などから新しいスキルを得る
- ・ レポートを書くときの注意事項などをきちんと理解した上で書くようにする。
- ・ レポートの書き方を他の人に見てもらいアドバイスをもらう
- ・ 教授に積極的に聞きに行く
- ・ レポートの様々な書き方を模索する
- ・ 練習あるのみ
- ・ 数をこなす
- ・ レポートをするうえでもっと考えてする
- ・ レポートの書き方の工夫をする
- ・ 自分で考える力を養う
- ・ レポート提出
- ・ 色々な論文を読む
- ・ もっと筋道を立てて書く様にする

## 6-1. 協働力について



## 6-2. 協働力が向上した理由または向上しなかった理由

### 1. 総合科学部

#### 【向上した理由】

- ・ グループワークがあったから
- ・ 協力してボランティアに取り組んだから
- ・ 班で行動したから
- ・ グループでやり遂げることができた
- ・ チームで動く機械があったため
- ・ グループ活動などが多いため
- ・ 協働の大切さを知れた
- ・ グループで何かする授業があったから
- ・ グループで発表、報告できたから。
- ・ 授業でグループワークをたくさんする
- ・ プレゼンテーションの時話し合うことができたから
- ・ 会話が増えた
- ・ グループで活動することが多かったから。
- ・ チーム発表のため
- ・ グループワークで発表などを何度か経験したから
- ・ プレゼンを班のみんなで作ったから
- ・ 協力しなければ単位を取得しえない状況であったから
- ・ グループワーク授業が多いから
- ・ グループ活動が増えたから

### 2. 医学部医学科

#### 【向上した理由】

- ・ いろいろ
- ・ 部活
- ・ 実習やチュートリアルなどが医学科ではよくあるから
- ・ グループ活動のある授業が多かったから。
- ・ 友人たちと協力し、助け合いながら数々の試験や実習を乗り越えてきたから。
- ・ チュートリアルについてディスカッションできたから
- ・ グループ学習があったから
- ・ 多人数でのグループ学習を経験したため
- ・ グループ学習
- ・ 実習ががんばった
- ・ グループ活動に積極的に参加したため
- ・ グループでのプレゼンや実習が多いため
- ・ グループで実習する機会があったから
- ・ チュートリアルで発表や報告をするから
- ・ 授業などで機会が多かったから
- ・ 人間的に成長しているから



### 【向上しなかった理由】

- ・ 人見知りがどうしても直らなかつたから。
- ・ 利用したことがない

## 3. 医学部医科栄養学科

### 【向上した理由】

- ・ みんなと協力したから
- ・ 相手のレベルに合わせることを学んだ
- ・ グループ発表が多い
- ・ グループ学習が多い
- ・ 給食実習を最後までやり遂げたから
- ・ いつも同じメンバーでグループワークをやることが多く、必然的に仲良くなったから
- ・ グループワークがあったから
- ・ 実習や部活などグループでやるものが多かった
- ・ グループで課題に取り組むことが多かったから
- ・ グループワークの機会が多かったから。
- ・ グループ実習が多いから。
- ・ プレゼンで話すことが多かったから
- ・ 色々な人とグループを組む機会があったから
- ・ グループ活動が多々あったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ 実習、実験を班で行なっていたから、また毎回同じ班ではなくメンバーが変わったりしても協力してきたから
- ・ 共同実験が多かったから
- ・ グループ活動を行う機会が多かったから
- ・ 実習を協力して行ったから
- ・ グループで進行する実習が多かったから
- ・ チュートリアルとかあったからやらざるをえなかつたから
- ・ 実習等で班で協力して行うことが多かったから
- ・ 仲が良くなったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ 他学科とのグループワークの機会があったから
- ・ 実習はグループで行うから
- ・ 知らない人と話す機会で、協力しないと課題が終わらないため
- ・ グループ学習の機会が多かったから。
- ・ グループ学習や実験などの機会が多いため。
- ・ プレゼンや実験を役割分担などして達成できたから
- ・ グループごとに実験を行ったり、新商品や新しい取り組みについて考えたりする機会があったから
- ・ 実習などグループで取り組む授業が多くあったから
- ・ グループワークをおこなった。
- ・ グループワークが何回かあった
- ・ 実験ではグループで協力し合い乗り越えたから
- ・ 班で協力して何かに取り組む機会が多かったから
- ・ グループワークが多かったから
- ・ グループでの活動の機会が多いから。
- ・ 実習でいろんな組み合わせでグループワークを行い、話し合い問題解決に取り組んだから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ 実験などほぼ全てグループ学習だったから
- ・ グループで PowerPoint を作成する授業が多くあったから
- ・ 何回もグループワークしたから

### 【向上しなかった理由】

- ・ グループ学習は多いが同じメンバーのため慣れてしまっている
- ・ 発言の機会に恵まれなかつた
- ・ 機会はあったがメンバーによっては厳しかった

## 4. 医学部保健学科（看護）

### 【向上した理由】

- ・ グループでやり遂げ発表できたから
- ・ 協力してプレゼンすることができたから
- ・ 積極的に発言するようになっていたから
- ・ 多数の機会があったから。
- ・ グループワークが多かった
- ・ グループないな自分の役割を見つけ動けたから
- ・ グループワークを多く体験したから
- ・ 何度もグループワークがあり、意見交換をよくできてまとめることができたから。
- ・ 協力する場面が多かったから
- ・ グループで協力して発表することがあったから。
- ・ グループ発表が多いから
- ・ 発表する前にグループで意見をまとめたり協力したりして発表したから
- ・ プレゼンを何度も複数人数で行なった
- ・ 沢山グループワークが設けられているから
- ・ グループワークが多いから
- ・ 仲間と協力して発表の準備ができたから
- ・ グループで話し合っ発表する機会が多かったから
- ・ グループワークを多くしたから
- ・ 授業でグループワークがあったから。
- ・ グループ発表の機会が多かったから
- ・ 自分の意見を臆せず言えるようになった
- ・ 授業でグループワークの機会が多かったから
- ・ グループの人と協力し、発表できたから
- ・ みんなで協力したから
- ・ グループで協力できた
- ・ 授業で協同する場面が多かったから。
- ・ 意見を言い合えたから
- ・ GW いっぱいしたから
- ・ グループ活動が充実していたから
- ・ グループワークが多かったから
- ・ グループで取り組む課題が多かったから。
- ・ グループで自分の意見などを話し合うことで交流もあったため
- ・ グループ学習が多いから。
- ・ グループワークの機会が何度もあった為。

### 【向上しなかった理由】

- ・ 元々できていたと思う。
- ・ 喋る人と喋らない人がいるから

## 6. 医学部保健学科（検査）

### 【向上した理由】

- ・ 何度かやったから
- ・ グループ発表の機会が協力できた
- ・ 実験・実習などを共に実施したため

### 【向上しなかった理由】

- ・ 意思疎通があまりできなかったから

## 7. 歯学部

### 【向上した理由】

- ・ グループ活動があったため
- ・ グループワークが増えたから
- ・ 協働せざるを得ない機会が多々あったため。
- ・ グループでやり遂げ、発表、報告することができたから
- ・ グループ発表したから
- ・ 実習を班のみんなでやるから。
- ・ グループ課題の機会が多いから
- ・ グループワークかわ多いから
- ・ 話し合いが設けられた授業が何度かあったから
- ・ 発表をグループでしたから
- ・ 発表した
- ・ グループワークしたから
- ・ もともと得意
- ・ グループで行う実験があったから
- ・ グループでの実習が多かった
- ・ グループ実習が多いから
- ・ 他者とグループワークを行うことが多かったから

## 8. 薬学部

### 【向上した理由】

- ・ 実習がグループ単位だったから
- ・ 協力して実験できた
- ・ 合同ですることが多いから
- ・ 実験をグループで行い、成果をきちんと共有できたから。
- ・ 実習などをグループでやる機会が多かったから
- ・ 実習がうまくいった
- ・ ひとつの問題に対して複数人での話し合いができたから
- ・ 実習で多くの人と協力する機会があったから。
- ・ グループでの実験が多かった
- ・ 実験実習で協働作業した
- ・ 実習で色々な人と協力して実験を行ったため
- ・ 実験などをグループで行う機会が多かったから
- ・ グループ実習が多かったから
- ・ 実習を通して協力することの大切さを学んだから。
- ・ 実験が多くあまり話したことの無い人とも話す機会が多かったから
- ・ 実習をグループで行ったから。
- ・ 実習はグループ単位でやるが多かったため
- ・ 学生実習が班ごとだったから。
- ・ 実習で様々な学生と協力して行ったため
- ・ 実習を全て何人かの班で行ったから。
- ・ 班で協力して実習を行えたから
- ・ 実習においてこの部分は必要不可欠であるから
- ・ 学生実習で協働作業が多かったため
- ・ 実習などで共に実験を行う機会が多くあったから。
- ・ 実習で同じグループの人と実験をし、意見交換をする機会があったから
- ・ グループワークが多かったため
- ・ 実習をグループでやるが多かったから。
- ・ 実習を手分けして行った
- ・ 実習で知らない人と実験したから。
- ・ グループ活動をする機会が多かったから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ グループで実習をやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ 班の人が信頼できない時があった
- ・ 協働力は急に変わりません
- ・ グループワークの数が少ないから。

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上した理由】

- ・ サークルなどの活動で共同性が増していると感じたから
- ・ グループ活動をした
- ・ あまり話した事のない人とグループで作業したりしたから
- ・ グループワークの作業に尽力し、発表を成し遂げたため
- ・ グループ課題で班の人と協力したから
- ・ グループ活動を多く経験した
- ・ stem 演習でグループで色々したから
- ・ 英語の授業でグループ活動をたくさん行ったから
- ・ グループでのレポート課題があったから。
- ・ 友達ができたから
- ・ グループディスカッションで主体的に話し合えた
- ・ 調査・発表の機会があったから。
- ・ グループ課題があったから
- ・ グループ活動が多かった。
- ・ グループで課題をする機会があったから
- ・ グループで発表する機会があったから。
- ・ stem 演習で発表で一位を取れたから
- ・ グループ学習をすることが多かった
- ・ グループワークで積極的に発言する
- ・ グループ発表の講義が多いから。
- ・ 発表が多いから
- ・ グループワーク
- ・ グループで発表、報告したから
- ・ グループ活動をする機会があったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 結局のところできる人任せだから

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上した理由】

- ・ グループワークがあるから
- ・ グループで活動する機会があったから
- ・ グループ活動が多かった
- ・ グループワークを行う実験などが多くあったため。
- ・ チームで動く講義も何度かあったから
- ・ 発表があったから
- ・ 実験があったから
- ・ 実験などでグループ活動があったから
- ・ グループで活動することがあるため
- ・ 実験を行ったため
- ・ グループワークをしたから
- ・ 実験のグループで意思疎通をすることが多かったため
- ・ グループ発表の経験があったから。
- ・ グループで行う授業があったため
- ・ 実験
- ・ みんなで課題解決に励んだから
- ・ 共同で行う実験などがあったため
- ・ 実験でグループワークを行ったから
- ・ 機会が多かったから
- ・ 実験はグループで行われるから
- ・ 人の大切さを学んだ
- ・ 実験では共同で行うことが多かった
- ・ グループワークをする機会があったから
- ・ みんなで実験を一緒にやり遂げたから
- ・ グループワークがたくさんあったため。
- ・ 班活動することが多かったから
- ・ グループで実験していたから
- ・ グループワークが多いから
- ・ グループの中でも主体的に行動できたから。
- ・ 実験をみんなと協力してやった。
- ・ グループで実験や実習をする機会が多いから
- ・ グループでの実験などでの協力ができたため
- ・ 実験などが効果的だから
- ・ イノベーションプラザでのプロジェクト活動を3年近く続けてきたから
- ・ 才能
- ・ 機械実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ 実験等で培われた
- ・ いくつかの実験を終えたため
- ・ みんなでがんばった
- ・ 人と話すことが問題ないから
- ・ サークルで協力して活動する機会があったから
- ・ グループ活動を行うことができたから
- ・ グループで実験などを行ったから
- ・ 機会科学実験はグループで協力してやったから。
- ・ プロジェクト活動を通して養うことができたから。
- ・ 実験をグループで行っているから
- ・ 材力難しすぎな高木死ぬ
- ・ 実験などのグループ活動を行ったから
- ・ 実験がグループワークであったから。
- ・ 積極的に参加したから
- ・ 実験を通して
- ・ グループでプレゼンテーションをおこなった
- ・ グループでの活動が多かったから
- ・ 経験したため
- ・ 実験によってはデータの共有が必要だから
- ・ 実験等協動することが多かったため

### 【向上しなかった理由】

- ・ グループで発表することは少なかった。

## 11. 理工学部応用化学システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 協力して実験を行い、レポートを作れたから
- ・ グループで何かしらすることが多かったから
- ・ 発表を行ったから
- ・ グループで実験したから。
- ・ グループで行う講義が多いから
- ・ 学生実験を通して協力ができたから。
- ・ グループ活動が多いから
- ・ 協力して発表、報告できた
- ・ チームでやることの大切さを知ったから
- ・ 複数人で実験を行ったため
- ・ 共同実験者と2人で役割分担をしながら実験に取り組めたから
- ・ グループで協力してしたから
- ・ 実験をグループで行ったから
- ・ 実験の中で共同実験者と話したから
- ・ 積極的に参加した
- ・ 実験や授業をグループで行うことができたから
- ・ グループで行う事に参加できた
- ・ 基礎化学実験をやり遂げたから
- ・ グループで実験をやり遂げたから
- ・ グループで実験などをしたため。
- ・ グループで活動したから。
- ・ グループワークで発表する機会があったから
- ・ レポート作成までを協力させたほうが良いと思う。
- ・ 化学実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ 化学実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ 化学実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ 実験やグループ活動をする講義があったから
- ・ 協力して実験を行ったから
- ・ グループで協力して実験や発表を行えたから
- ・ 化学実験をグループでしたから
- ・ グループ活動が多いから
- ・ 実験や発表をグループでするから
- ・ 班活動があったから
- ・ グループですることが多く聞き合うことも多かったので
- ・ グループ実験で担当ごとにスムーズに行動できたから
- ・ 実験を基本的にグループで行ったから。
- ・ グループ、ペアワークが多く協力する機会が多かったから

- ・ 以前より実験等で班活動の機会が増えることで協力するきっかけが多くあったため。
- ・ 化学実験を2人1組で協力しながら行ったから
- ・ でにたから
- ・ グループでの活動や発表の機会が増えたから
- ・ グループで協力して実験を行ったから
- ・ 二人一組で実験をしたから
- ・ 経験的な
- ・ グループワークがあったから
- ・ グループでの実験、発表を通して報告することが出来たから
- ・ グループで行動することが多々あったため
- ・ 2人1組で実験を進めたから
- ・ 機会があったから
- ・ 化学実験はペアで行ったから
- ・ 実験を共にしたから
- ・ グループで行う活動が多かったから
- ・ 実験をグループでおこなったから
- ・ 個人で取り組むより複数人で取り組む課題の方が多いから。
- ・ 実験をグループで行ったから
- ・ 化学実験で共同作業が多かったから。
- ・ 実験のペアの人と実験をやり遂げることができたから。
- ・ グループワークが増えたから
- ・ 化学実験を効率的に進めることができたため。
- ・ グループ活動があったため
- ・ グループで活動することがあったから
- ・ 2人1組で行ったから
- ・ ペアで実験する機会があったから
- ・ グループで実験や話し合いなどをする授業が増えたから
- ・ グループでの活動が増えたから。

### 【向上しなかった理由】

- ・ グループワークと言いながら作業しているのは一人であることが多いから
- ・ 短期間だしあまり協力することがなかった

## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上した理由】

- ・ 経験できたから
- ・ やらないと単位を失う講義が多いから
- ・ グループで実験に取り組むから
- ・ グループワークが多いから
- ・ グループ実験があった
- ・ グループ学習が多かったため
- ・ みんなで準備をした
- ・ グループ発表がおおい
- ・ グループワークをしたから
- ・ 実験はグループで行うものが多い。
- ・ 話せるようになった
- ・ グループで話し合ったから
- ・ グループワークの経験があったため
- ・ 協働が必須だったから
- ・ 実験がグループ活動だったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ 班員と協力して課題を乗り越えたから。
- ・ 発表できた
- ・ グループワークなど人と関わることが多かったから
- ・ 班でやり遂げることができたから
- ・ グループワークが何度かあったから
- ・ グループワークが多いから
- ・ 化学実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから
- ・ グループワークがあるから
- ・ 数をこなしたから
- ・ グループワークで発表があるから。
- ・ グループワークで実験や発表をする機会が増えたから
- ・ グループで役割分担してみんなでやれたから
- ・ 色々な授業でグループワークをしたから
- ・ グループワークの授業があったから
- ・ グループで実験を行う機会が多いから
- ・ 実験などでグループになって協力することができた
- ・ 協力することで分担して仕事を出来たから
- ・ グループワークなどをしたから。
- ・ 学生実験において、グループで協力しながら自分の役割を果たすことができたから
- ・ グループの実験では協力的にできた
- ・ グループでの活動を半年ずつ行ったため。
- ・ グループでの活動をする機会があったから
- ・ 実験では、あまり喋ったことがない人とグループを組んだから
- ・ グループ実験を半年行ったから。
- ・ グループ活動する機会が多かったから。
- ・ グループで動くことが多かったから。
- ・ 実験はほとんどグループで行うものが多かったから
- ・ グループ課題が多かったから
- ・ 授業でグループワークが多かったため
- ・ グループ課題が多かったから
- ・ グループで発表することの喜びを実感したから
- ・ グループ活動がよくあったから
- ・ 機会がおおいから
- ・ グループで実験開発をやり遂げたから
- ・ グループでの実験があるから
- ・ システム実験・ソフトウェア実験でグループでやりとけたから
- ・ 機会があったから
- ・ システム実験をやり遂げたから
- ・ ロボット実験をグループで行ったから
- ・ グループでやり遂げる作業が多かった
- ・ 発表報告できたから
- ・ グループワークが多くあったから
- ・ 発表会の多さ
- ・ グループワークをこなす機会が多かったため。
- ・ グループワークをする機会が多かったから

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会がなかった
- ・ 期間が短かった
- ・ できなかったから
- ・ 個人で動くことが多いから
- ・ 個人ですることが多かった
- ・ 淡白だったから

### 13. 理工学部情報システムコース

#### 【向上した理由】

- ・ グループ活動。
- ・ グループワークをやる機会があったから。
- ・ グループ課題が学外でも多かった。
- ・ 経験回数が増えたため。
- ・ グループワークが多くあったから。
- ・ グループで行動する機会が多かったから。
- ・ グループ活動が多かったから。
- ・ 実験やイノベーションプラザでの活動はグループで動くことが多かったから。
- ・ グループでやり遂げる必要がある状況が多かったため。
- ・ グループでの授業が多かったから。
- ・ グループ課題が増えたから。
- ・ 実験で班長などを務めたため。
- ・ プロジェクト活動について学ぶ事ができたから。
- ・ 実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから。
- ・ グループ課題が増えたから。
- ・ 実験でグループワークを行ったから。
- ・ 実験で培った。
- ・ グループワークを長期的に行ったため。
- ・ システム実験でグループ活動を行ったから。
- ・ 実験や授業のグループワークで長期間同じメンバーでの活動があったから。
- ・ グループで発表・報告することがあったから。
- ・ グループ作業が多かったから。
- ・ グループワークをする機会が多いから。
- ・ グループワークをやる機会が多いから。
- ・ グループワークをたくさんしたから。
- ・ システム実験でグループ活動があったから。
- ・ プログラムを分担して作るということは大学に入ってから初めてやったので確実に伸びているとおもう。
- ・ グループ行動が多かったから。
- ・ 実験においてグループで良い成績を残したから。
- ・ チームで自主的に行うようにできた。
- ・ グループ発表が多かったから。
- ・ グループでの活動を半年ずつ行ったため。
- ・ グループでの活動をする機会があったから。
- ・ 実験では、あまり喋ったことがない人とグループを組んだから。
- ・ グループ実験を半年行ったから。
- ・ グループ活動する機会が多かったから。
- ・ グループで動くことが多かったから。
- ・ 実験はほとんどグループで行うものが多かったから。
- ・ グループ課題が多かったから。
- ・ 授業でグループワークが多かったため。
- ・ 機会。
- ・ グループ課題が多かったから。
- ・ グループで発表することの喜びを実感したから。
- ・ グループ活動がよくあったから。
- ・ 機会がおおいから。
- ・ グループで実験開発をやり遂げたから。
- ・ グループでの実験があるから。
- ・ システム実験・ ソフトウェア実験でグループでやりとけたから。
- ・ 機会があったから。
- ・ システム実験をやり遂げたから。
- ・ ロボット実験をグループで行ったから。
- ・ グループでやり遂げる作業が多かった。
- ・ 発表報告できたから。
- ・ グループワークが多くあったから。
- ・ 発表会の多さ。
- ・ グループワークをこなす機会が多かったため。
- ・ グループワークをする機会が多かったから。
- ・ グループで行う課題が多かったから。
- ・ 共同作業の場が多かった。
- ・ グループでの課題が多かったため。
- ・ グループで話し合いプレゼンする機会が多かったから。
- ・ グループワークの多さから。
- ・ システム実験でのグループ活動が多かったから。
- ・ グループ活動が多いから。
- ・ グループ活動する機会が多かった。
- ・ 実験をグループでやり遂げ、発表・報告することができたから。
- ・ グループの実験では協力的にできた。

#### 【向上しなかった理由】

- ・ 関わらなかつたから
- ・ グループワークが苦手だから
- ・ 個人プレイしてたから
- ・ あまりグループワークの機会がないから
- ・ 一人で動くことが多いからあまり積極的に発言ができてないから。
- ・ 他者と関わらない
- ・ シャイだから

### 14. 理工学部応用理数コース

#### 【向上した理由】

- ・ サークルにてやったから
- ・ 分からないところはいろんな人に聞きながら出来たから
- ・ グループでできたから
- ・ グループ活動があったため
- ・ わからないところを友達と考えることが多くなった
- ・ 良かった！
- ・ 班活動が多かったから
- ・ 班活動が多かったらから
- ・ テスト期間に多人数で勉強を取り組みいい点につながったから
- ・ 訪問日の設定など話し合いがあったから
- ・ グループ学習が多かったから
- ・ 話し合いや、グループ学習で互いに協力できたから。
- ・ 大変だったから
- ・ ともに頑張れた
- ・ 実習の際、協力し合いながら取り組んだから
- ・ コミュニ力向上したから。
- ・ 共同実験などがあったから
- ・ グループで話し合ったりして物事を進める機会が多かった
- ・ 特になし
- ・ アクティブラーニングなどがあった
- ・ グループ活動がよくあった

## 【向上しなかった理由】

- ・ グループで活動することが少ないから
- ・ そのような機会がなかった
- ・ 大変だから。
- ・ 特になかった

## 15. 生物資産業学部

### 【向上した理由】

- ・ した
- ・ グループで活動する機会が増えたから
- ・ 班でたくさんの実習活動があったから。
- ・ 機会があった
- ・ グループに積極的に参加出来たから
- ・ グループで活動が多かったから
- ・ 協力する機会があった
- ・ グループ活動があったから
- ・ グループ活動が多いから
- ・ グループワークが多かったため経験する機会が多かった
- ・ グループワークが多くあったから
- ・ グループで勉強したり、アクティブラーニングする機会があったため
- ・ グループ活動が多いから
- ・ グループワークをしたから
- ・ 友達が増えた
- ・ 友達ができた
- ・ グループ学習をしたから
- ・ 話し合いを何度もしたから
- ・ グループで1つの課題について話し合いまとめたから
- ・ 班活動がある授業があったから
- ・ グループで発言することなどがあったから
- ・ グループワークをする授業があったから。
- ・ グループワークをする機会があったから
- ・ サークルに参加したから
- ・ 授業でグループワークが多かったから。
- ・ 多くの人と協力できたから。
- ・ グループワークを多く行ったため
- ・ 授業でグループ活動や大学に入ったことにより様々な地域の人々と関わりあうことができたため
- ・ グループワークが多かったから
- ・ グループワークがあったから
- ・ 協働で何かをすることが何度かあったから
- ・ 多くの考え方に触れ合えたから
- ・ グループでの取り組みについてはもともと興味があったから。
- ・ グループワークがあったから
- ・ グループワークがうまくできたから
- ・ グループワークが多いから
- ・ コミュニケーションを取れたから。
- ・ 授業のグループで解決策を話した
- ・ 実習でグループで活動したときに協力できたから
- ・ グループでプレゼンを行なったから
- ・ イノベーション教育科目群で班のメンバーと話し合い、商品の模型を作ったから
- ・ グループ活動
- ・ ある授業で毎回の、グループでアイスブレイクを行う機会がありそれは協働力を求められる内容のものだったから。
- ・ 農場実習のグループで協力して実習を終えることができた
- ・ グループ活動が多かった
- ・ みんなで話し合いをして内容をまとめることをやり遂げることができたから
- ・ マーケティングの授業での協力により、良い発表ができた
- ・ グループ活動が多いから
- ・ フィールド実習でグループ活動を何度も行ったため
- ・ ある授業でグループで物事について考える機会があり、自分達の考えを発表するまでやり遂げたから。
- ・ 話し合って発表する場面が多かった
- ・ 化学実験などでグループを組むことが多かったから。
- ・ グループでプレゼンをする機会が多かったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ グループでの実験、実習など
- ・ グループワークする機会も多かったため
- ・ グループでやる実習がたくさんあったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ グループワークが多かったから。
- ・ グループで話し合う授業が多かったから
- ・ グループで実験することが多いから
- ・ 実験などをグループでがんばれたから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ 化学実験で協力した
- ・ グループ研究などが多かったから
- ・ 実験や実習をグループで行ったから
- ・ 共同してやる作業が多いから
- ・ もともとやっていた自信があるから
- ・ グループで行動することが多いから
- ・ グループ活動を多くしたから
- ・ グループ学習があったから。
- ・ グループ活動が多かったため
- ・ 実験があったから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ グループワークがあったから
- ・ グループ発表を行うことが出来た
- ・ グループで作業、話し合いする機会があったから
- ・ グループ活動が多くあったから
- ・ グループワークが多い
- ・ グループで実験に取り組んだ
- ・ ディスカッションを何度もしたから
- ・ 特になし
- ・ グループワークが多かったから
- ・ 実習でのグループでやり遂げ、報告し合うことができたから
- ・ グループ活動が多かったから
- ・ グループワークが多かったから
- ・ グループ活動が増えたから
- ・ 実習がたくさんあったから
- ・ 化学実験をグループで協力して行えたから
- ・ グループワークが結構あるから。
- ・ 他の大学生の人たちを知るきっかけになったから
- ・ グループになる機会が多いので
- ・ 化学実験や起業体験実習でグループでの活動をひたすらしたから。
- ・ 実習が多かったから。
- ・ グループワーク通じて
- ・ 実習が多く、グループワークをする機会も多かったから。
- ・ グループ活動が多いから
- ・ グループ活動が多いから
- ・ グループワークが多かったから
- ・ 実習の際、グループで協力して行なった
- ・ グループワークがたくさんあったから
- ・ グループで研修にいったり行動したから
- ・ グループ活動が多くあったから。
- ・ グループで話し合い発表することができたから
- ・ グループで話し合うことができたから
- ・ グループワークを行う授業があったから
- ・ インターンシップでの活動を行っているから

- ・ 授業でよくグループを作るから
- ・ 協力しながら発表したから
- ・ グループ発表があったから
- ・ ワークショップに参加したり、グループワークなどで積極的にコミュニケーションを図ることができた
- ・ グループ活動を行ったから
- ・ 授業でグループの話し合いがあったから
- ・ SIH道場の早期体験で班員と協力して調べたりすることができたから。
- ・ 日常生活で人と助け合うことが多くなり、協働して物事を進めることが多くなったから。
- ・ イノベーションの授業でグループワークがあったから
- ・ グループ活動があったため

### 【向上しなかった理由】

- ・ 機会が少ない
- ・ あまり実感が湧かない
- ・ 機会がなかった
- ・ なかったから
- ・ 機会が無い
- ・ 協働力を高める授業はほぼないから
- ・ グループワークをしていないため
- ・ 特に共同で何かやるという機会が無かった
- ・ 機会が無かった。
- ・ 機会がなかったから

- ・ グループワークができたから
- ・ グループワークがたくさんあったから
- ・ イノベーション思考入門という授業で毎回グループで話し合う機会があったから
- ・ グループワークをしているため
- ・ グループワークを行う講義がいくつかあったから
- ・ 話し合って1つのプレゼンをするのは初めてだったから
- ・ グループやペアで取り組む授業の際、お互いにわからないことなどを協力し合って解決していくことができたから。
- ・ グループワークがあるから
- ・ 実験での共同作業がおおかったから
- ・ グループ活動が多かったため
- ・ グループワークが多かった
- ・ 共同実験があったから

- ・ あまり多くの人と関わる機会がないから
- ・ 特にグループ活動を行う機会がなかったから
- ・ 友達がいらない
- ・ グループ活動をしてこなかったから
- ・ 協力をする気がない者が多数いたため
- ・ グループ人数が適切ではない
- ・ そもそも積極的に参加してくれる人がおらず、自分もそのような人と協力しようとしなかった
- ・ 基本的に協力する授業が少ないから

## 6-3. 協働力を向上させるための今後の取り組み

### 1. 総合科学部

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 普段から色んなグループワークに参加してみる
- ・ ボランティアに積極的に参加する
- ・ 積極的に参加する
- ・ グループ授業を増やす
- ・ チームで動く活動に積極的に取り組む
- ・ インターンなどに参加する
- ・ 経験を積む
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ グループ活動を多くする。
- ・ インターンに参加する
- ・ 積極的に話し合いに参加する
- ・ なし
- ・ 呼びかけ力
- ・ グループ活動に積極的に参加する。
- ・ グループ発表増やす
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ ワークショップに参加する
- ・ しません
- ・ 留学生を交えたワークショップに積極的に参加する
- ・ コミュニケーション能力を上げる

### 2. 医学部医学科

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ いろいろ
- ・ もっと部活に対して寛容になるべき
- ・ チュートリアルや実習などに積極的に取り組む
- ・ 誰とでも笑顔で接する。
- ・ これからも友人たちとお互い支え合い、協力しながら頑張る。
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ がんばる
- ・ 利用する
- ・ 積極的参加
- ・ 実習がんばる
- ・ 引き続きグループ活動に積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントにももう少し参加する
- ・ 実習などグループでの活動に積極的に参加する
- ・ より積極的なチュートリアルへの参加
- ・ これからもグループ活動を行う
- ・ 人の気持ちを考える努力をする
- ・ 学外での交流会等に参加する
- ・ 機会を増やす。

### 3. 医学部医科栄養学科

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 共同研究とかしたい
- ・ 積極的にグループ学習に参加する
- ・ 活動している場所に積極的に向く
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ 人の意見を聞く

- ・ 学外でのNPO活動をしている。そちらにも手を抜かず取り組む
- ・ 見知らぬ人でもうまくできるようにする
- ・ グループワークに積極的に取り組む
- ・ 多くの人が参加するイベントなどに出る
- ・ 研究のディスカッションを積極的に行う
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する。
- ・ 知識を身につける
- ・ 色んな人と出会う
- ・ 全く知らない人やいつも関わらない人とグループワークしてみる
- ・ イベントに参加する
- ・ さらに意義のあるグループ活動を行う
- ・ 研究室でも同期と協力して研究をすすめる
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 友達や教授とディスカッションを行ったり、協調性を心がける
- ・ 多くの人と関わる機会を増やす
- ・ いろいろな方面から見ると
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 知り合いだけでなく初対面の方とも協力して行うようなイベントに参加する
- ・ 頑張る
- ・ 色々な人と積極的に関わっていく
- ・ ボランティアに参加する
- ・ これからも積極的に参加する。
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 他学科の人との交流をもつ
- ・ グループで話し合うなど、グループで活動する機会を設ける
- ・ グループワークで積極的に発言する。
- ・ 積極的に参加する
- ・ 人の意見を求めたり自分の意見を発信する
- ・ 多くの人と協力して取り組むことを意識して生活する
- ・ がんばる
- ・ チームで研究に取り組む
- ・ イベントに積極的に参加する。
- ・ いろんな方と積極的にお話しして色々な考えを知る
- ・ 課外活動に参加する
- ・ イベントへの参加
- ・ 人を助けることを意識する
- ・ 研究室でのミーティングに積極的に参加する

#### 4. 医学部保健学科（看護）

##### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ ワークショップに参加
- ・ 知らない人とのコミュニケーションを積極的に行う
- ・ 特になし
- ・ 大学病院意外にも他病院での見学を行う
- ・ ワークショップに参加する。
- ・ 積極的にとりこむ
- ・ より積極的に動く
- ・ 積極的に参加する
- ・ 積極的にグループワークで発言する。
- ・ 積極的に参加
- ・ 自分から積極的にグループワークに関わる
- ・ 人間関係を良好にする
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ 普段交流のない人との関わりを持てる場に行く
- ・ 積極的にグループワークに参加する
- ・ 積極的に行動する
- ・ 初対面の人とも関係を築いて協力できるようにする
- ・ 自分の意見をしっかり言う
- ・ 話し合いの技術を磨く
- ・ 他者の意見を受け入れる
- ・ 授業内で他者と話し合う活動があれば積極的に参加する
- ・ グループワークでの話し合いに積極的に参加する
- ・ グループワークで積極的に話し合いを行う
- ・ たまにやる
- ・ ワークシェアリングのイベントに積極的に参加
- ・ 授業で積極的にスキルを使う。
- ・ 人脈を広げる
- ・ 積極的に発言していく
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ 積極的にグループワークに参加する
- ・ 授業に積極的に参加する
- ・ グループワークがこれからもあると思うので、積極的に参加する
- ・ 円にして話しやすくする
- ・ グループワークに積極的に参加する。
- ・ 自分の意見が共有できるよう積極的に発言する。
- ・ 積極的にグループワークで発言する
- ・ グループワークには積極的に参加する。

#### 6. 医学部保健学科（検査）

##### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 今後のグループ活動をより良いものにするよう力添えをする
- ・ 授業等で学ぶ
- ・ 自分の意見もしっかり発信していく
- ・ 意欲的に取り組む

#### 7. 歯学部

##### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 様々な人とグループワークを重ねる
- ・ 他学部の学生と交流する機会を増やす。
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ たくさん発表する
- ・ ワークショップに参加する。
- ・ 特に考えていない
- ・ グループワーク
- ・ 積極的に参加する
- ・ がんばる
- ・ 特に考えていない
- ・ 今後もグループでも活動時に積極的にする
- ・ 頑張る
- ・ 周りとの協調性を大事にする
- ・ 積極的にワークイベントに参加する



- ・ 定期テストの際は何人かで教え合って勉強する
- ・ あれば参加

## 8. 薬学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ わからない
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 積極的に参加したい
- ・ 研究室で積極的に情報共有する。
- ・ 積極的にイベントに参加する
- ・ これからも継続する
- ・ 自分の意見は持ちつつも他者の意見を取り入れられる姿勢をもつ
- ・ 積極的に他者とコミュニケーションを取るようにする。
- ・ グループ学習に参加する
- ・ まわりと協力する
- ・ 人と関わる
- ・ 積極的にグループ活動に参加する
- ・ イベントに参加する
- ・ 積極的に発言する。
- ・ 積極的に参加する。
- ・ 学会参加
- ・ 他者と協力して実験を行う。
- ・ 縦とのつながりを意識する
- ・ 特になし
- ・ グループディスカッションを積極的に行う。
- ・ さらに他学生との協力の場に参加する
- ・ 積極的に人と関わる。
- ・ 周りと積極的に関わる
- ・ 今後ある講義のなかで生かす
- ・ 研究室での交流を盛んにする
- ・ 他人とより多く関わって作業するようにする。
- ・ 能動的に行動する
- ・ 研究室で上級生も含めた多くの人と関わりを深める
- ・ ワークショップイベントに参加する。
- ・ 自ら積極的に会話に参加する。
- ・ 勉強でも何人かで話し合う
- ・ 積極的に話し合いに参加する。
- ・ イベント事に積極的に参加する

## 9. 理工学部社会基盤デザインコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ インターンシップに参加する
- ・ もっとグループ活動をする
- ・ もっと話しかけてみたりする
- ・ グループワークを経験できる講義を継続的に受講する
- ・ イベント参加
- ・ インターンなどを経験する
- ・ 色々する
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ 平日頃から友達と協力する。
- ・ 友達を作る
- ・ 話し合う
- ・ 積極的に人と話す
- ・ もっと友達を増やす。
- ・ たくさんの人と話したり協力したりする。
- ・ 沢山のイベントに参加する
- ・ 就活
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 研究室や講義でのグループワークに積極的に参加する。
- ・ 他者からの評価が知りたい
- ・ 研究室
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ 積極的にグループ活動に参加する
- ・ 人に任せる
- ・ 自分の考えやアイデアをなんでも表現する。
- ・ グループ活動があるイベントに積極的に参加する

## 10. 理工学部機械科学コース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ グループワークの回数を増やす
- ・ 積極的に参加する
- ・ グループワークなどを積極的にする
- ・ ワークショップなどに積極的に参加する
- ・ いろんな活動に積極的に参加する。
- ・ 就活などで身につける
- ・ 資格を取る
- ・ これからも積極的にグループ活動に参加
- ・ ワークショップイベントへの参加
- ・ そういう機会を多く経験する
- ・ 人と積極的に話す
- ・ していない
- ・ 友達を作る
- ・ 同じ学年同士知らない人でも話すよう努力すること
- ・ 自身から他者へ働きかけていくことを意識していく。
- ・ 色々な人と話す
- ・ 話す機会が増えれば良くなると思う
- ・ 実験
- ・ 頑張る
- ・ 特になし
- ・ 特になし
- ・ はなしあいのばにいく
- ・ 人との話をもっと多くする
- ・ イベント等に参加する
- ・ イベントに参加する
- ・ 協働力の授業をとる
- ・ グループ講義は積極的に発言する
- ・ グループワークには積極的参加
- ・ 特になし
- ・ 今後の研究室での活動に積極的に参加する
- ・ 教授は人の心を持ってヤカス
- ・ 多くの人と関わる
- ・ 特になし。
- ・ 多くの社会活動に参加する
- ・ ワークショップイベントにさんかするあ
- ・ 特になし。
- ・ プレゼンテーションの機会を増やす
- ・ ワークショップイベントなどに積極的に参加する

- ・ イベント参加
- ・ 積極的に機会を利用する
- ・ たくさん経験する
- ・ 機械をより増やす
- ・ 頑張る
- ・ インターンなどに積極的に参加する
- ・ 部活でみんなと努力する
- ・ ワークショップイベントに参加する。
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 実験をするとき協働性を意識する
- ・ 積極的にいろいろな人と交流する
- ・ 実験する
- ・ 自分の興味のあるコミュニティに所属する
- ・ 気持ち
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 積極的にグループに参加する
- ・ 積極的に話しかける
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ インターンに参加する
- ・ さらにたくさん経験する
- ・ 様々な人との交流を持つ
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ 機会があれば積極的に参加する
- ・ グループワークでの立ち回りについて模索する
- ・ 社会人の方と交流する。
- ・ 団体競技に挑戦する
- ・ 上手なものを参考にする
- ・ グループワークで積極的に参加する
- ・ ワークショップに参加する。
- ・ 機会があれば活用する。

## 11. 理工学部応用化学システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 私生活でも遊ぶ
- ・ 努力する
- ・ 人と何かを行う
- ・ 色々な人と話す。
- ・ グループで行う講義を真面目に取り組む
- ・ インターンに参加する。
- ・ イベントに参加する
- ・ 事前の準備を万全にする
- ・ チームで動く授業で積極的に動く
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ グループ活動のある授業で積極的に行動していく
- ・ グループ活動を増やす
- ・ グループワークを大事にする。
- ・ インターンシップに参加する
- ・ 特になし。
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 自分から意見を話す
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ グループワークのイベントに参加する
- ・ ワークショップのイベントに参加する
- ・ 積極的な発言をする
- ・ いろいろなイベントに参加する
- ・ もっと交流をはかる
- ・ もっと発表する機会を増やす
- ・ 協働で行うイベントをする
- ・ 常日頃から友達との輪を広げておく。
- ・ ワークショップに参加する
- ・ インターンシップなどに積極的に参加する
- ・ グループ学習に取り組む
- ・ グループワークに積極的に参加する。
- ・ ワークショップに参加する
- ・ UNISEC WorkShop に積極的に参加する。
- ・ さらに多くの実験をグループで行う
- ・ グループでの話し合いで積極的に話したい
- ・ 積極的に参加する
- ・ 様々な人が参加するイベントに積極的に参加する
- ・ 積極的に取り組む
- ・ ワークイベントに参加する
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ 色々なイベントに積極的に参加する。
- ・ 説明会などに参加する
- ・ イベントへの参加
- ・ イベントに参加する
- ・ 積極的に参加する
- ・ 普段の生活から社会的になる
- ・ 地域のボランティア活動に参加してみる
- ・ 共同で作業をするような授業を積極的に受ける
- ・ 来年も頑張る
- ・ 多くの人と関わる機会を持つ。
- ・ 自ら進んで外部の活動等に参加する。
- ・ グループワークのある講義に参加する
- ・ ワークショップに積極的に参加する
- ・ 特になし
- ・ さんかするあ
- ・ 積極的に参加する
- ・ より多くの共同実験に参加する
- ・ ボランティアに参加する
- ・ イベントに参加
- ・ 様々な人と協力する
- ・ 人と関わる
- ・ ない
- ・ 実験では積極的に行動する
- ・ もっと積極的になる
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 同じようにやってみる

## 12. 理工学部電気電子システムコース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ コミュニケーション能力の向上
- ・ 頑張る
- ・ 専門分野に興味を持つ
- ・ 積極的に参加する
- ・ 友人と勉強について話をする
- ・ インターンシップに参加する
- ・ イベントに参加
- ・ もっとコミュニケーションをとる
- ・ ボランティアに参加する
- ・ 授業中に、より積極的にグループ活動に参加する。
- ・ 積極的にグループワークなどをする課外活動に参加する
- ・ 相手の意見を尊重する形で場をまとめるようにする
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントに参加する

- ・ 論文を見たりする
- ・ 積極的に協力する
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ コミュニカを高める
- ・ 頑張る
- ・ ワークショップを頻繁に行う
- ・ 積極的にさんかする
- ・ 機会を増やす
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ グループワークを行う授業では積極的に発言する
- ・ 積極的に質問する
- ・ ワークショップイベントの参加
- ・ このままで良い
- ・ 人と協力して、日頃からコミュニケーションを取るようになる。
- ・ わからない
- ・ 実験を班でやる際には積極的に取り組む。
- ・ これからもグループでの活動に積極的に参加する。人に任せられるのでは中皆が協力する
- ・ 様々な人と取り組む機会に積極的に参加する。
- ・ 積極的にコミュニケーションをとる
- ・ グループで行動する機会を増やす
- ・ 積極的にイベントに参加する
- ・ 協力して行うイベントに参加する
- ・ 一つ一つのグループワークを大切に
- ・ グループの関わりを深める
- ・ グループワークに積極的に取り組む
- ・ 積極的に行動する
- ・ インターンシップ等で経験を増やす
- ・ 他人と良く喋る
- ・ 様々な交流イベントなどに参加する
- ・ 初対面の人でも積極的に意見交換をする
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ いろんなことに参加する
- ・ 部活動や班での講義などへ積極的に活動する
- ・ イベントに参加する
- ・ みんなとちょっと話し合う
- ・ グループ実習に積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ グループワークで積極的に意見を言う、聞く
- ・ 話題を振ってコミュニケーションを意識する
- ・ イベントに積極的に参加する。
- ・ 周りを働きかけられるほど情熱を持って活動するようにする
- ・ なし
- ・ もっと人と話す
- ・ コミュニティに参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ イベントに参加する
- ・ グループディスカッションを積極的に行う
- ・ 知らない人が多い場の場数を踏む
- ・ サークル等に積極的に参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ もっと頑張る
- ・ 会話する
- ・ 参加
- ・ まじめに取り組む
- ・ 積極的にさんかする
- ・ 積極的に参加する
- ・ ボランティアやバイトで人と関わる
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する。
- ・ グループ活動に積極的に参加する
- ・ ワークイベントに参加する

### 13. 理工学部情報光システムコース

#### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ 経験できたから
- ・ 処世術
- ・ イベントに参加する
- ・ グループワークの授業をもっと増やす
- ・ イベント参加
- ・ 積極できに参加する
- ・ 積極的にグループ学習に取り組む
- ・ もっと練習する
- ・ 人見知りをやめる
- ・ 積極的に発言する
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 人のやり方を尊重する
- ・ わからない
- ・ 積極的に話しかける
- ・ 様々なイベントに参加する
- ・ 数少ないグループワークをがんばる
- ・ 自分から積極的に発言していく
- ・ もっと人と関わる
- ・ 積極的にグループで発言する
- ・ 人と話す
- ・ 積極的に発言していくことを心がける。
- ・ とくになし。
- ・ イベントに参加
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 他者と関わる
- ・ イベントへ積極的に参加する
- ・ 話し合いに積極的に参加する
- ・ フレンドリーな人になる
- ・ 自ら率先して参加する
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ イベントに参加する
- ・ イベントにたくさん参加する。
- ・ コミュニケーション力をつける
- ・ ワークショップイベントに参加
- ・ ボランティアに参加する
- ・ インターンに参加する
- ・ 就活等でグループディスカッションの練習。
- ・ 積極的にコミュニケーションを行う
- ・ 自分から発言する
- ・ 積極的な交流
- ・ 自分の意見を明確に相手に伝えられるようにする
- ・ 積極的に研究に取り組む
- ・ グループをつくって研究に臨む
- ・ 積極的にグループ活動を行う。
- ・ グループ活動に積極的に参加する。
- ・ グループ活動に参加する
- ・ 研究室でグループワークに参加していきたいと思う
- ・ なし
- ・ グループで行うイベントに参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ 協働力が向上する活動に参加する
- ・ イベントさんか
- ・ グループワークへの積極的な参加
- ・ インターンに参加する
- ・ 練習する
- ・ グループディスカッションをする
- ・ 自分から積極的に発言が求められるイベントに参加するようにする

- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ グループワークに参加する
- ・ 積極的に行動し、当たって砕ける
- ・ 積極的に意見をいう
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ グループ活動を積極的に行う
- ・ イベントに参加する
- ・ グループワークに取り組む
- ・ イベント参加
- ・ 積極的にグループワークで活動を行う。

## 14. 理工学部応用理数コース

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ ワークショップの開催
- ・ 人が出来ないところが教えられるように自分も日頃から勉強する
- ・ 積極的に参加
- ・ グループ活動に参加する
- ・ 友達と質問し合う
- ・ 工夫したいと思います！
- ・ イベントに参加する
- ・ イベント参加する
- ・ もっとグループワークをする
- ・ 参加する
- ・ ワークショップイベントに積極的に参加する
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 特になし
- ・ 頑張ってください。
- ・ グループ学習に参加する。
- ・ コミュニカを上げる
- ・ イベントに参加
- ・ ボランティア等の参加
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ グループワーク等を積極的に行う。
- ・ インターンなどに参加する
- ・ より経験を積む
- ・ 積極的にそういう機会に参加する

## 15. 生物資産業学部

### 【向上のための今後の取り組み】

- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ グループ活動の際には積極的に参加する
- ・ ボランティアに積極的に参加する。
- ・ 機会があった
- ・ コミュニケーションをたくさん測る
- ・ 思いやる
- ・ グループ活動に多く参加する
- ・ 何かの機会に参加する
- ・ もっと交流を増やす
- ・ 話し合いをする
- ・ 自分の意見をしっかり発言できるようにする
- ・ グループでの話し合いを積極的に行う
- ・ 他者との交流のある機会を増やしていく
- ・ コミュニケーションをとる
- ・ 積極的に発言する
- ・ 話し合う
- ・ 自分から動く
- ・ 他者と積極的にかかわる
- ・ ボランティアに参加する
- ・ 多くの人と関わるイベントに参加する
- ・ 他者と関わるイベントに積極的に参加する
- ・ 積極的になる
- ・ グループで活動するイベント、授業に参加する。
- ・ 人とのつながりを積極的に広げる
- ・ 機会をつくる
- ・ ワークショップに参加する
- ・ グループワークの際、もっと積極的に発言をする。
- ・ 協調性の向上
- ・ 積極的に発言する
- ・ 様々な活動に参加し色々な人と話してみる
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ グループ以外の人も話す
- ・ 協働の機会を作る
- ・ 多くの考え方を取り入れ、理解する
- ・ アクティブラーニングに積極的に取り組む
- ・ 頑張る
- ・ 実践を通す
- ・ イノベなどに参加してみたい
- ・ インターンシップに参加する
- ・ 実験の班の中でサポートし合う
- ・ ボランティアなどに参加する
- ・ 積極的にグループで発言していく
- ・ ワークショップに参加したり、グループでの活動に積極的に参加する
- ・ 相手のことをかんがえながらやる
- ・ 特になし
- ・ グループ活動に積極的に取り組む
- ・ 様々な人とふれ合う機会を増やす
- ・ インターンシップに参加する。
- ・ グループワークへの参加
- ・ これからも実験に積極的に参加する
- ・ グループワークに参加する
- ・ 今後の授業でも積極ときに他者と関わる
- ・ 積極的に発言する
- ・ イベントに参加する
- ・ イベントに参加する
- ・ イベントに参加
- ・ コミュニケーションを多くとる
- ・ 自分の意見も伝える
- ・ 積極性
- ・ グループワークに積極的に取り組む
- ・ イベントに積極的に参加する
- ・ グループメンバーの意見を聞く
- ・ 周りの意見を聞きながら自分の意見をうまく伝えられるようになりたい
- ・ 少人数でのグループワークの実施
- ・ コミュニケーション能力、我慢強さを身につける
- ・ 今後もグループ活動があれば積極的に意見を出す
- ・ 積極的に自分の意見を出していく
- ・ 実験以外でのグループワークをしていく
- ・ 自主的にイベントに参加する。
- ・ 積極的にチームワークに取り組む
- ・ プレゼンなどをグループで協力する
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 教養科目でグループワークの多い授業を取る
- ・ 実習に積極的に参加する。
- ・ 参加する
- ・ グループワーク中心の授業があれば選択する。

- ・ 友達とたくさん話す
- ・ 積極的に機会をつくる。
- ・ 話しかける
- ・ 積極的にグループ活動に参加する。
- ・ いろんな人とコミュニケーションをとる
- ・ コミュニケーション能力をあげる
- ・ いろんな人と交流する
- ・ これから行うグループワークでも積極的に参加する
- ・ いろんな人に話を聞く
- ・ グループで話し合うイベントに積極的に参加する
- ・ たくさんの人と交流する
- ・ 後期もグループワークがある授業をとる
- ・ 様々な立場の人と関わる機会を増やす
- ・ たくさんの人と話す
- ・ もっと大勢の人がいるグループなどで、協働力を身につけていくようにする。
- ・ インターンシップなどに積極的に参加する
- ・ ワークショップなどに参加する。
- ・ たくさんのイベントに参加する
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ コミュカを高める
- ・ 交流活動に積極的に参加する
- ・ コミュニケーション能力を養い、人の長所を引き出せるような話の進め方を学びたい
- ・ サークル活動に積極的に参加する
- ・ 積極的に人と関わり、何かを成し遂げる
- ・ サークルなどで協働力を身につける
- ・ イベントに参加してみる
- ・ コミュカをあげる
- ・ 積極的に参加
- ・ 様々な集団行動に参加する。
- ・ 積極的にグループでのプレゼンに取り組む
- ・ 経験すること
- ・ グループ活動に積極的に参加する
- ・ 授業でのグループ活動を積極的に行う
- ・ 普段から周りを見て行動する
- ・ 様々なことに挑戦する
- ・ インターンシップ
- ・ グループワークに積極的に参加する
- ・ 意図を汲み取るよう努力する
- ・ いろいろなどころで人と関わりをもつ
- ・ 他者との繋がりを大事にしたい。
- ・ 積極的に話し合いを行う
- ・ イベントへの積極的な参加
- ・ ワークショップイベントに参加する
- ・ 積極的に役割を受け入れる
- ・ インターンシップに参加する
- ・ 後期から実験があるので、積極的に参加する
- ・ 話し合う機会を増やす
- ・ 積極的に発言する
- ・ 集団性を意識する。
- ・ インターンシップに参加しているため、チームで物事を進めていくときに協働力を意識して行っていく
- ・ ボランティアなどに積極的に参加する
- ・ 人の話を聞くことを意識する
- ・ 部活などのグループワークにも積極的に参加する
- ・ 周り与会話をする
- ・ 自分の能力を理解する
- ・ 関わりのない人などとグループワークの機会が授業を通してであると思うので積極的にしていきたい
- ・ 外部イベントに参加する
- ・ 積極的に話し合いに参加する
- ・ インターンシップなどに参加する
- ・ 今後もワークショップがあれば参加したい
- ・ 積極的に参加する
- ・ 後期の実験などで、人と協力したり、積極的に参加したりしていく。

## 2-2. AP テーマ I 「アクティブ・ラーニング」 シンポジウム

### 1. 概要

本シンポジウムは、徳島大学における教養教育科目及び専門科目におけるアクティブ・ラーニングの実践事例を共有し、その成果と課題について議論を行うことで学内への普及につなげること、及び AP テーマ I 選定校代表 2 校の取組について情報共有し、成果の発信を行うと共に、今後の大学教育改革の方向性とそのための指針について協議することを目指し、実施された。

AP テーマ I 選定校のひとつである立正大学に協力を依頼し、立正大学品川キャンパスにて選定校 9 校主催という形で開催した。全国からポスター発表者を募集するとともに、AP テーマ I 選定校からも代表校 2 校（立正大学・崇城大学）による事例紹介および成果報告の講演を行った。

### 2. プログラムの概要

#### 2-1.対象者

大学、短期大学、高等専門学校、高等学校の教職員及び学生

#### 2-2.開催日時

令和元年 11 月 30 日（土） 13：00～16：30

受付：12：00～

#### 2-3.場所

立正大学 品川キャンパス（〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16）

- ・全体会：石橋湛山記念講堂
- ・ポスター展示：品川キャンパス 5 号館 511 教室

## 2-4.プログラム

時間	内容	詳細
12:00-13:00	受付	
13:00-13:05	開会挨拶	代表校から挨拶 立正大学 吉川 洋 学長
13:05-13:10	来賓挨拶	文部科学省
13:10-13:20	企画主旨	
13:20-13:30	APテーマIの取組	<b>テーマI幹事校</b> 徳島大学 塩川 奈々美 特任助教 発表タイトル:APテーマ I 選定校の取組
13:30-14:00	1分間プレゼン	
14:00-14:10	移動	
14:10-14:50	ポスター発表	
14:50-15:10	休憩	
15:10-15:30	ALの取組・成果①	<b>テーマI選定校</b> 立正大学 小松 陽介 教授 発表タイトル:ICTツールを活用した多人数双方向教育の実現と 実習科目におけるアクティブ・ラーニングの深化
15:30-15:50	ALの取組・成果②	<b>テーマI選定校</b> 崇城大学 松下 琢 副学長、大嶋 康裕 准教授 発表タイトル:崇城大学の大学教育再生加速プログラムの 取り組みとその成果
15:50-16:20	ディスカッション	
16:20-16:30	閉会挨拶	代表校から挨拶 徳島大学 野地 澄晴 学長

## 2-5.主催

徳島大学、立正大学、県立広島大学、京都光華女子大学、徳山大学、福岡工業大学、  
崇城大学、仙台高等専門学校、明石工業高等専門学校

## 2-6.シンポジウムの様子



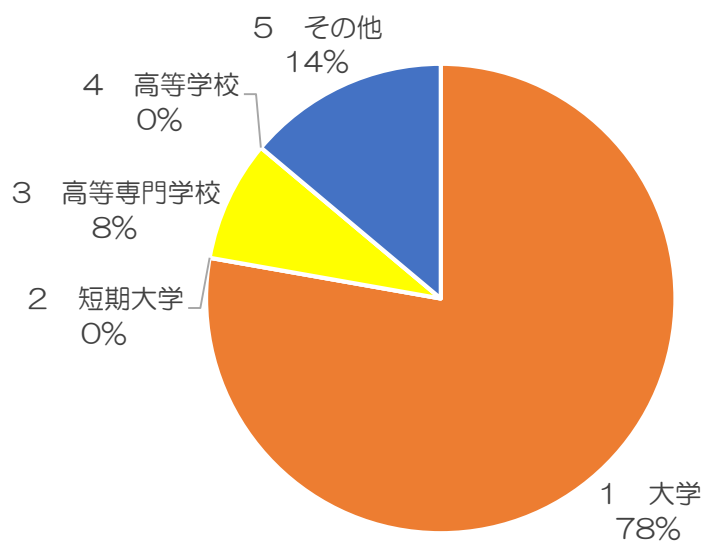


### 3. アンケートの結果

参加者数：78名

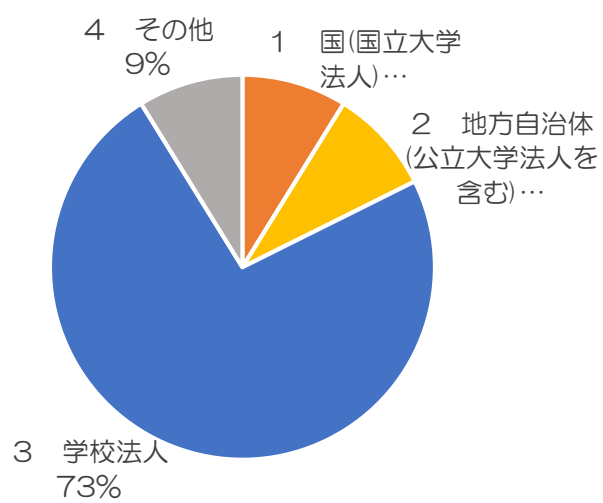
アンケート回答者数：36名（回収率：46.2%）

#### 3-1.所属

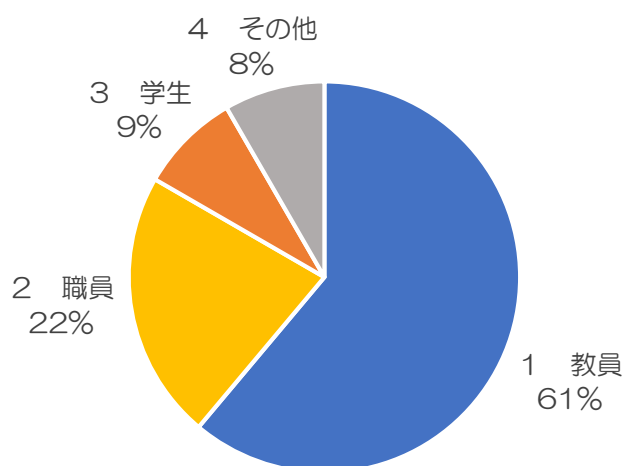




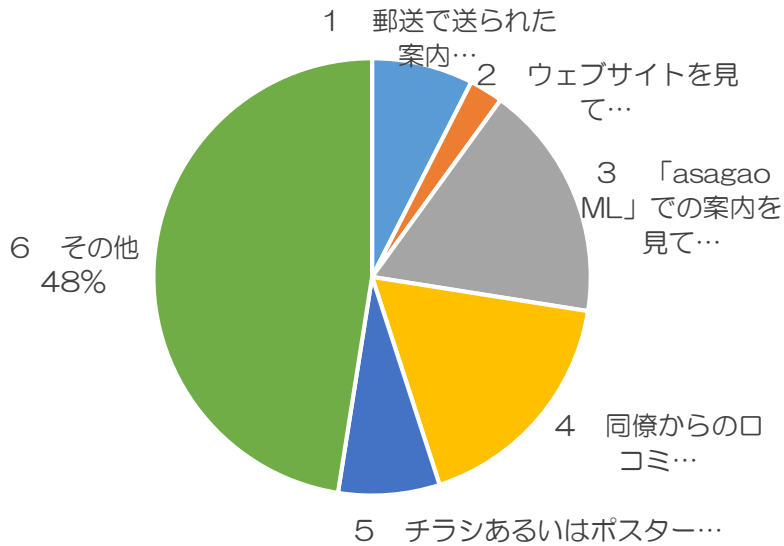
### 3-2.所属先の設置者



### 3-3. 職種



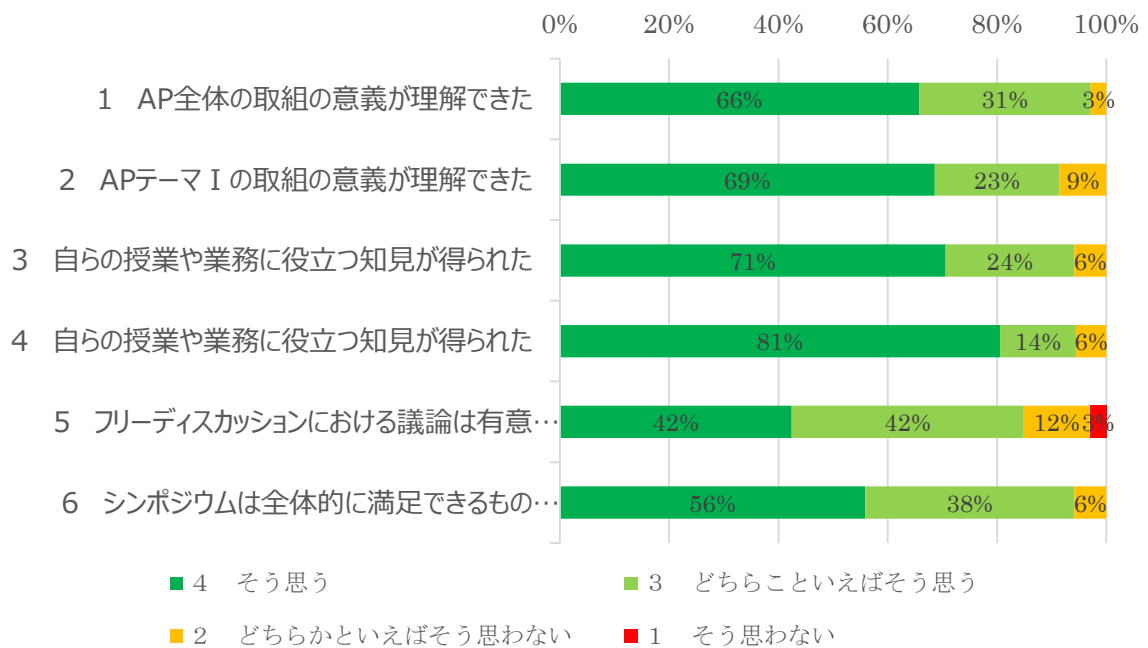
### 3-4. 今回のシンポジウムについてどのようにしてお知りになりましたか？



#### 【3-4. 6.その他の内訳】

AP 協議会での案内（5 件）／教員からの紹介（4 件）／会場校内での広報（3 件）／AP 担当者からの案内（1 件）／ポスター発表者（1 件）／会議での案内（1 件）

### 3-5. シンポジウムへの参加の感想について



### 3-6. 参加して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。(自由記述)

- 外部評価としての PROG などの使い方等
- どの発表も面白かったです。特に、学生同士の学び合いの環境作りが面白く思いました。
- 発表、ポスターのバランス構成が良く、参加者にとって得られるところが多かった。
- 各大学の取組の詳細がわかったこと。この度はお世話になりました。
- ポスター発表の際、色々な大学(教育)関係者の方々と意見交換する機会に恵まれて有意義であった。
- 新しい知見・スキル・教育工学上の工夫が得られた。
- ポスターセッションでは、よく話しを聞くことが出来た。
- 授業手法のみならず学生の能動的な学修につなげる様々な取り組みを直接お聞きすることができ、非常に参考となりました。
- 他大学の取り組みを知り、参考となった。
- 他大学の取り組み。特に初年次教育の手法について知ることができた。
- 全体に活気があり、各校の意欲が感じられた。
- アクティブラーニングの各大学の取組がよく分かり、大変勉強になった。
- 無理に AL の枠組にあてはめるのではなく、各大学の学生の気質や教員の体制に合わせた AL を考え、試行錯誤すべきと思いました。
- 改めて、皆様の取組を聞いて参考になりました。
- アクティブラーニングの手法だけでなく、今後の課題、環境整備、人材面、様々な視点を得ることができました。
- 採択校間での取組、成果、苦労点等に関する情報共有。大学等全体の取組に加え、教員単位での実践についても共有できたこと。
- 各大学の取組状況や課題の話がとても興味深いです。
- ポスター発表がとても良かった(徳島大学様の取り組みが特に参考になった)知見を得られた。
- ポスター発表で議論ができた点。2件の口頭発表が参考になった。
- AP の先進事情を収集できた。
- 各機関が行った取り組み内容をお聞きできたこと。
- 他大学の事例が明らかになったこと。自身が困難に感じていたことは他の先生も同様に感じておられることがわかったこと。
- 崇城大の英語教育、環境の整備は素晴らしいと思った。
- 具体的取り組みの事例、問題点に接することができた。得るもの多いシンポジウムでした。
- 各校の具体的な取組がわかり、参考になりました。最後の学長先生の話、提案もすばらしいと思いました。

- 他大学の取組は紙でみただけではわからぬ部分も多く、話として知れてより理解できた。
- 野地学長の思いが伝わりました！
- このような場は初めてでどうなるかと思いましたが、他大学の職員の方や学生の方と自分たちが行っている AP 事業を発表する場がなかったので、他大学で行われていることを知れたのはもちろん、自分たちの事業も改めて再確認することができました。ディスカッションももっと他大学とやり取りできたら良かったと思いました。
- 学生として参加させて頂きましたが、各大学での授業内の取り組みというものに興味があったので、とても身になるものになりました。講義だけでなく、自律的な学習をする火種がこの中にもあったように思えます。

**問 4. これまでに取り組まれてきた「大学教育再生加速プログラム」の取組をよりよいものにするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。(自由記述)**

- 教員の教育業績の評価方法
- 今回のシンポもそうですが、参加者がもう一つ少なく、世の中のニーズと合っているのか不安になります。多くの人に知らせると同時に、本当に世の中の教育ニーズを調べることの必要性を感じました。
- もう少し時間を長めにとってほしかった。構成は良かったです。おつかれさまでした。
- 徳島大学の学長先生が言われたように、継続性が課題になると思う。
- 質が大事ではないか？量的な結果からは見えてこないものがあり、又、それで満足すべきものでもない。
- 発表者のスライドと手元の資料が異なるので、理解するのが難しかった。
- いかに継続していくか。選定校以外では当然難しいと感じる取組がありました。
- AL 展開から、事業終了後、どのような課題を見据えるか。共有や意見交換する場があればいいと思います。
- AP テーマ I 採択校の皆様のご尽力に敬意を表します。AP 助成期間が終了し「金の切れ目は…」にならないよう。全国的な繋がりを作っていただきたいと思います。全国の大学の教職員が学べる場があれば幸甚です。本日はありがとうございました。
- ゆるやかな繋がりがあればありがたいです。
- 一部の先生だけでなく、AP 終了後も継続していくための全学的な取組、消極的な先生方をどうしていくか等課題と感じました。
- 事業終了後の各校の取組や、採択校全体として継続できそうな取組について、より深い検討、議論がなされる場が続けられれば良いと感じた。

- 最後に徳島大学の野地先生がおっしゃった様に継続が重要と思います。
- メールなどで各採択校の情報共有
- これまで、得られた知見を普及・活用する仕組みを作り、このような会を継続的に  
行っていくならば、会の目的を明確にして、何かしらの答えを出せるようなものが  
よろしいかと思いました。
- 情報共有/意義付けの周知のあり方。まだ負担の大きさに対する懸念がメリットを  
上回っていると感じます。
- そもそも AP の「成果」とは何か。アンケートをとっても母集団の質が変わってい  
る”正しい”評価にはならないのでは？（年度内であれば理解できる）
- 大学のレベルにもよるだろうが、元々意欲のある学生の主体性を伸ばしつつ意欲  
をあまり持っていない学生の主体性を伸ばすということは果たしてできるのだろ  
うかと感じた。
- お金がなくてもできる（実現できる）教育方法を根付かせることが必要ではないだ  
ろうか。（元々アクティブラーニングに相当する教育手法はあったのだから、ICT  
に頼らなくても...）同様に学生には「聞く」力も必要であり、記憶に残る学習は”  
派手”な授業だけではないだろう、という批判的な議論もしてみたかった（時間不  
足）
- 継続は力なり・情報交換、評価の可視化の共有
- 徳島大学学長のご提案はとてもよいですね。協議会の継続だけでも。
- スポンサーをつけて、細々とでも良いので継続させましょう。
- 学生自身がもう少し、この事業についての理解があった方が良いと感じました。な  
ので、学生と職員が研修を一緒にする場は良いと思ったのと、このような場に学生  
がもっと参加できるように、特化したものがあれば良いと思いました。

### 3. アクティブ・ラーニング調査報告

#### 3-1. アクティブ・ラーニング学内調査

アクティブ・ラーニングを個々の教員の専門科目に普及していくために、さまざまな専門分野におけるアクティブ・ラーニングの取り組みを調査し、教員間で共有できる仕組みの構築を行うことを目的に「学生の学習を促進する授業事例カード」を作成している。令和元年度は新たに9件の事例カードを追加し（2020年2月3日現在）、合計63件の事例について、学内教職員がweb上で共有できるように公開した。

また、事例カードは学内のFDプログラムなどで活用している。特に、新規採用の教員を対象とした「授業設計ワークショップ」では、授業設計に関わる理論と共に紹介しており、参加者が自身の授業で取り入れることができる具体的な事例として有効活用されている。

##### 1) 学生の学習を促進する授業事例カードリスト

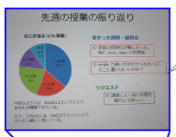


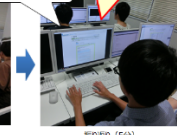
No	分野	事例名	教育的意図	所要時間(分)	クラスサイズ	担当教員(所属は事例作成当時)			授業名
						氏名	大学	所属	
SOS-00	社会科学	予習シートの事前配布と小テスト	予習促進	5	小	吉田 博	徳島大学	総合教育センター	大学教育と学び方入門
SOS-01	社会科学	過去の期末試験問題を学生に配付する	予習促進・理解促進	5	小	川野 康二	徳島大学	高等教育研究センター	教養としての統計
SOS-02	社会科学	ラーニングポートフォリオによる振り返り	振り返り・理解促進	0	小	吉田 博	徳島大学	高等教育研究センター	大学教育と自身の学びを再考する
SOS-03	社会科学	3分間のアイスブレイクを実施する	動機づけ・注意喚起	3~5	小	吉田 博	徳島大学	高等教育研究センター	大学教育と自身の学びを再考する
SOS-20	社会科学	パネルディスカッション	複眼的思考促進	20~40	小	吉田 博	徳島大学	総合教育センター	大学教育と学び方入門
SOS-21	社会科学	マイクロレポート	複眼的思考促進	25	小	小田切康彦	徳島大学	総合科学部	公共政策学Ⅱ
SOM-00	社会科学	カードを用いてクラス全体の意見を把握する	注意喚起	1	中	金西計英	徳島大学	総合教育センター	情報メディアと教育
SOM-10	社会科学	グループメンバーへのフィードバック	動機づけ・振り返り	10	中	金西計英	徳島大学	総合教育センター	情報メディアと教育
SOM-20	社会科学	コースの中間期に実施する振り返り	振り返り	20	中	金西計英	徳島大学	総合教育センター	情報メディアと教育
SOM-30	社会科学	マインドマップを用いた概念の整理	理解促進・振り返り	30	中	小田切康彦	徳島大学	総合科学部	公共政策学Ⅰ
SOM-31	社会科学	コースの中間期に実施する振り返り(ver2)	振り返り	30	中	金西計英	徳島大学	高等教育研究センター	情報メディアと教育
SOM-90	社会科学	グループワーク・プレゼン	複眼的思考促進・理解促進	30+90	中	小田切康彦	徳島大学	総合科学部	公共政策学Ⅰ
SOL-00	社会科学	大福帳による振り返り	振り返り・動機づけ	5	大	金西計英	徳島大学	総合教育センター	情報メディアと教育
SOL-01	社会科学	学生の質問にリアルタイムで答える	理解促進・動機づけ	0	大	田口太郎	徳島大学	総合科学部	まちづくり入門
SOL-02	社会科学	manabaを活用した小テスト	知識定着・注意喚起	5	大	徳島県職員		徳島県	とくしまの環境を学ぼう
SOL-50	社会科学	スモールグループディスカッション	複眼的思考促進	60	大	土屋 敦	徳島大学	総合科学部	生命倫理と現代社会Ⅰ
SOL-51	社会科学	反転授業・プレゼン・ディスカッション	複眼的思考促進・予習促進	70	大	金西計英	徳島大学	総合教育センター	情報メディアと教育
SCS-10	理学(生物系)	動画を活用しながら解説する	理解促進・動機づけ	10	小	宇都森浩	徳島大学	生物系教育センター	創薬学
SCS-11	理学(生物系)	web活用した予習クイズと授業での解説	予習促進・理解促進	10	小	白井昭博	徳島大学	生物系教育センター	微生物学
SCM-00	理学(自然科学)	小道具や学生とのやり取りで注意喚起する	注意喚起・動機づけ	0	中	古屋 玲	徳島大学	教養教育院	現代天文学への招待
SCM-10	理学(自然科学)	レクチャーとペアによる教え合い・学び合い	理解促進	15~25	中	神原 康久	芝罘工科大学	教育イノベーション推進センター	微分積分1,2・線形代数1,2
SCM-11	理学(自然科学)	レポートの質を高めるためのひと工夫	理解促進	15	中	古屋 玲	徳島大学	教養教育院	現代天文学への招待
SCM-20	理学(自然科学)	ミニ実験を含めた理論解説	動機づけ	25	中	渡部 稔	徳島大学	教養教育院	基礎生物学
SCM-30	理学(自然科学)	演示実験を含めた理論解説	動機づけ	35	中	渡部 稔	徳島大学	教養教育院	基礎生物学
SCM-31	理学(生物系)	写真を活用して興味を喚起する	動機づけ・理解促進	40	中	横井川以己男	徳島大学	生物系教育センター	食品微生物学
SCL-00	理学(自然科学)	実物を用いて複眼的な理解を促進する	動機づけ・理解促進	3	大	佐藤高則	徳島大学	総合科学部	ミルクの科学
SCL-01	理学(生物系)	授業時間外に学習会を開催する	理解促進・知識定着	0	大	宇都森浩	徳島大学	生物系教育センター	基礎有機化学
SCL-02	理学(自然科学)	ルーブリックでレポートを自己評価させる	理解促進	0	大	青藤隆仁	徳島大学	教養教育院	基礎物理学実験
SCL-10	理学(生物系)	復習項目の提示と授業冒頭の確認テスト	理解促進	10	大	向井理重	徳島大学	生物系教育センター	基礎食品化学
SCL-20	理学(自然科学)	ペア・グループによる課題演習	理解促進・動機づけ	25	大	佐藤高則	徳島大学	総合科学部	環境とバイオテクノロジー
SCL-50	理学(自然科学)	課題を個人で考えグループで議論する	理解促進	60	大	青藤隆仁	徳島大学	教養教育院	基礎物理学Ⅱ・物理学概論

No	分野	事例名	教育的意図	所要時間(分)	クラスサイズ	担当教員 (所属は事例作成当時)			授業名
						氏名	大学	所属	
ENS-00	工学	授業内容に関連する実物を見せる	注意喚起・動機づけ	2	小	岡本敏弘	徳島大学	工学部	光デバイス
ENS-10	工学	授業の冒頭で実施する小テスト	理解促進・予習促進	16	小	岡本敏弘	徳島大学	工学部	光デバイス
ENS-30	工学	ペア学習と学生による解説	理解促進・予習促進	30	小	押村美幸	徳島大学	理工学部	有機化学5
ENM-00	工学	Moodleを活用した理解度の確認	注意喚起・知識定着	3~5	中	伊藤秋代	徳島大学	理工学部	プログラミング入門及び演習
ENM-01	工学	manabaを活用した振り返り	振り返り・理解促進	5	中	上手洋子	徳島大学	理工学部	プログラミング基礎
ENM-10	工学	授業の冒頭で予習ノートをチェックする	予習促進・理解促進	10	中	水科樹樹	徳島大学	工学部	電子回路
ENM-11	工学	授業の最後に小テストを実施する	理解促進・注意喚起	10	中	水口仁志	徳島大学	理工学部	機器分析化学
ENM-20	工学	eラーニング教材による事前学習と小テスト	予習促進・理解促進	20	中	小川宏樹	徳島大学	理工学部	建築構造計画
ENM-50	工学	学生の板書する解答を活用した演習科目	理解促進・予習促進	80	中	吉田 健	徳島大学	工学部	物質機能化学演習
ENL-10	工学	授業の最後に実施する課題演習	知識定着	15~20	大	西出 俊	徳島大学	工学部	グラフ理論
ENL-20	工学	理論解説と直後の課題演習	知識定着・理解促進	20	大	犬飼宗弘	徳島大学	理工学部	基礎物理学・力学概論
ENL-30	工学	反転授業 (知識定着のための課題演習)	知識定着・予習促進	40	大	森賀俊広	徳島大学	工学部	材料物性
ENL-90	工学	シグソー (協同学習の一技法)	理解促進・複眼的思考促進	90	大	上月康則	徳島大学	理工学部	環境を考える
MES-00	医療	現場で使う道具を用いて思考を促す	動機づけ・理解促進	1~3	小	富永辰也	徳島大学	医学部	検査管理総論
MES-10	医療	予習課題を学生に説明させる	理解促進・予習促進	10	小	櫻井信之	徳島大学	総合科学部	基礎物理学実験
MES-90	医療	具体的な事例をもとにグループで話し合う	理解促進・複眼的思考促進	60×2	小	奥田紀久子	徳島大学	医学部	看護概説Ⅱ
MEM-00	医療	クlickerを使用した発問とフィードバック	注意喚起・理解促進	3~5	中	安陪 晋	徳島大学	歯学部	歯科臨床示説
MEM-10	医療	事例について学生同士で話し合う	理解促進	18	中	橋本浩子	徳島大学	医学部	小児援助論
MEM-11	医療	身近な雑誌記事を活用した動機づけ	動機づけ	13	中	村上圭史	徳島大学	歯学部	病原微生物学CD
MEM-20	医療	解説の後にグループで具体例を考えさせる	理解促進・注意喚起	25	中	中尾玲子	徳島大学	医学部	応用栄養学
MEM-30	医療	最新論文を活用した解説と小レポート	動機づけ・理解促進	40	中	近久幸子	徳島大学	医学部	生体の統合機能
MEM-31	医療	授業の冒頭で学生に課題を発表させる	理解促進	30	中	河野 理	徳島大学	医学部	電気電子工学
MEM-50	医療	グループで体験学習を行う	理解促進・複眼的思考促進	60	中	岡久玲子	徳島大学	医学部	産業保健・看護論
MEM-51	医療	TBL (Team Based Learning)	理解促進・予習促進	60	中	大倉一夫	徳島大学	歯学部	歯科補綴学(2)A
MEM-90	医療	具体事例を用いてグループで議論する	複眼的思考促進・動機づけ	90×2	中	土屋浩一郎	徳島大学	薬学部	薬剤師体験演習
MEL-00	医療	予習課題のミニプレゼンテーション	理解促進	3~5	大	米村重信	徳島大学	医学部	基礎生物学
MEL-10	医療	動機づけを促す講義途中の小レポート	注意喚起・動機づけ	10	大	松本高広	徳島大学	医学部	実験動物学・放射線学概論
MEL-11	医療	授業の最後に実施する理解度テスト	理解促進	15	大	江川麻理子	徳島大学	医学部	ぶどう膜・視神経疾患
LAM-20	語学	授業冒頭で学生の質問や疑問に答える	動機づけ・理解促進	20	中	大村和人	徳島大学	教養教育院	中国語入門
LAM-30	語学	英語の歌を教材として活用する	動機づけ	30	中	宮田政徳	徳島大学	総合教育センター	主題別英語
LAM-50	語学	グループで予習課題を話し合わせる	理解促進・予習促進	55	中	服部恒次	徳島大学	総合科学部	主題別英語
OTS-90	イノベーション	デザイン思考の体験	デザイン思考	90×4	小	北岡和義	徳島大学	教養教育院	イノベーション思考入門

## 2) 学生の学習を促進する授業事例カード 例

◆manabaを活用した振り返り		事例No. ENM-01
徳島大学 理工学部 上手洋子 教員 理工学部専門科目「プログラミング基礎」 2019年		
目的	◆Key Words < 振り返り 理解促進 > 授業終了時に、manabaのアンケート機能を活用して、学生自身の取り組みに対する自己評価と理解が不十分な点などを把握させることで、 <b>授業の振り返りを促し、学習内容の理解に繋げる。</b> 教員は学生の理解度を把握し、 <b>追加の解説や授業改善に活用する。</b>	
分野	工学系 (他分野でも応用可能)	
クラスサイズ	中(30~70名)	
所要時間	・ 授業終了時の振り返り、5分程度 ・ 次の授業直前でのフィードバック、5分程度	
学生の事前学習	なし	
評価方法	「振り返り」の内容を点数化することはしていないが、提出の有無で授業の出席確認を行っている。	
準備物	Manabaの設定、1回の授業で設定 (約10分) を行えば、それ以降はインポート機能を活用して全授業 (15回程度) の設定を短時間で行うことができる。	
実施のポイント	◆ 学生による自己評価の結果や理解が不十分な点などを、次の授業の冒頭で教員がフィードバックし、解説することで、 <b>学生は自分の授業への取り組み方を改善することができ、理解が不十分な点の理解促進に繋げることができる。</b> ◆ 学生の振り返りや理解の状況をTA等と共有することで <b>授業運営に役立てることができる。</b>	
メリット	□ manabaを活用することで、 <b>集計の手間が軽減され、情報をTAや技術補佐員等と情報共有を行うことが容易になる。</b> →以前は、紙を配布していたが、その時に比べてかなりの負担軽減になっている。	
デメリット	■ manabaを活用することで、振り返りレポートの管理が容易になったが、学生との直接的なコミュニケーションは減少したように感じることがある。	
学生の反応	受講学生からは、「授業での自分自身の理解を振り返ることができ、分らなかつたところを記述しておけば、次の授業の冒頭で教員が解説してくれるのがありがたい」といった意見が寄せられた。	

事例カード表面 (事例の概要)

◆manabaを活用した振り返り	
<p>授業終了時に、学生はmanabaを活用して自身の授業内容に対する振り返りを行う (約5分)。次の授業の冒頭で、学生による自己評価の結果や理解が不十分な点などを、<b>教員がフィードバックし、解説する</b> (約5分)。</p> <p>学生は、自分の理解度や取り組み方を意識することができ、<b>理解が不十分な点を再度復習して、理解することができる。</b>教員は、学生の理解度を把握しながら、授業計画を随時変更し、授業運営を行うことができる。</p>	<p>★振り返りの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の学習目標の達成度 (自己評価) →5段階: 91~100点, 81~90点, 71~80点, 61~70点, 60点以下</li> <li>2. 自己評価の理由</li> <li>3. つまづいた点やうまくいかなかった点</li> <li>4. TAや友達に質問した内容</li> <li>5. その他自由記載</li> </ol>
<p>先週の授業の振り返り</p>  <p>多くの学生が授業内容に対して、満足度を高く評価し、授業内容に対して、満足度を高く評価した。</p>	<p>今日の授業は、満足度の評価が高かったが、満足度の評価も授業改善につながる。</p> <p>課題の山が重なった授業で、各科目の授業内容、確認は必要である。</p>
<p>授業冒頭のフィードバック・補足説明 (5分)</p> 	<p>授業・演習</p> 
<p>振り返り (5分)</p> 	

事例カード裏面 (事例の詳細)

## 4. FDプログラムの開発

### 4-1. すぐ使える90分セミナー

アクティブ・ラーニングや新しい教育技術、教育ツールを全学的に普及していくために、教職員、大学院生を対象に教授学習に関するテーマのFDプログラムを計画的に実施した。また、学部のFD委員会と連携することで、学部のFDプログラムとして実施したテーマもある。さらに、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）のFDプログラムとして、四国地区にも開放することで延べ171名（2020年2月3日現在）の教職員、大学院生が参加した。

#### 1) 開催日時・場所・テーマ・講師・参加者数

日時	場所	テーマ	講師	参加者数
4月26日	教養教育6号館201教室	授業設計	吉田 博	13名
5月7日	歯学部 共通講義室	授業設計	吉田 博	15名
5月24日	教養教育6号館201教室	教育研究	川野卓二	10名
6月18日	歯学部 共通講義室	教育研究	川野卓二	11名
6月28日	教養教育6号館201教室	ICT活用	金西計英	15名
7月8日	歯学部 共通講義室	ICT活用	金西計英	6名
7月26日	教養教育6号館201教室	学生支援	吉田 博	20名
9月20日	教養教育6号館201教室	アイスブレイク	吉田 博	13名
10月2日	歯学部 共通講義室	アイスブレイク	吉田 博	7名
10月25日	教養教育6号館201教室	教学IR	川野卓二	5名
11月8日	歯学部 共通講義室	教学IR	川野卓二	7名
11月22日	教養教育6号館201教室	シラバス作成	吉田 博	2名
12月12日	総合科学部1号館301教室	シラバス作成	吉田 博	17名
12月20日	教養教育6号館201教室	入試改革	植野美彦	8名
1月6日	歯学部 共通講義室	シラバス作成	吉田 博	13名
1月24日	教養教育6号館201教室	学習評価	吉田 博	9名
2月14日	教養教育6号館201教室	授業評価	吉田 博	—

※2020年2月3日作成

#### 2) 成果・課題

プログラム終了直後、参加者を対象にアンケートを実施し、142名から回答を得た（2020年2月3日現在）。アンケートの設問のうちプログラムの成果に関する4件法のアンケート結果は図1の通りである。アンケートの結果から、「今後の授業や教育活動に活かせる情報を得ることができた」、「本セミナーを受講したことによって授業や教育活動への取り組み方がこれまでと変わると思う」、「本セミナーは今後の教育活動において有益なものであった」という設問では肯定的な回答が90%を超えていることから、本セミナーは参加者にとって有益であったことが窺える。本セミナーに参加して良かった点・有益であった点を記述式で問う設問では、「授業で使え



そんなネタが増えたので実践しようと思います」、「やる気が出た。学生のIT化についていかねばと感じた。」、「各学部がかかえている悩みが分かった。改革の背景がよく分かった。」などの意見が挙げられており、参加者は自身の教育活動において実践できる情報を得たり、テーマに関する具体的な取り組みやその背景について理解できたことが窺える。また、学部FDとの連携やSPODへの開放を行うことで、多くの教職員が参加した。実際に、学部の教職員にとっては、全学FDよりも学部FDの方がより親しみを感じやすい面があり、学部FD委員会との連携による参加者動員の効果は高いと考える。一方、課題としては、各プログラムのアンケートで示された改善点を修正していくことや、プログラム全体としてはセミナー受講後に実践できる情報提供をさらに盛り込むように改良をしていく必要がある。今後もテーマを新しくし、参加者がすぐに実践できる情報を提供できるように、プログラムの改善を行っていく。また、学部FD委員会との連携をさらに強化し、広報面でも積極的に情報提供を行うことで、より多くの教職員が参加できるようにする予定である。

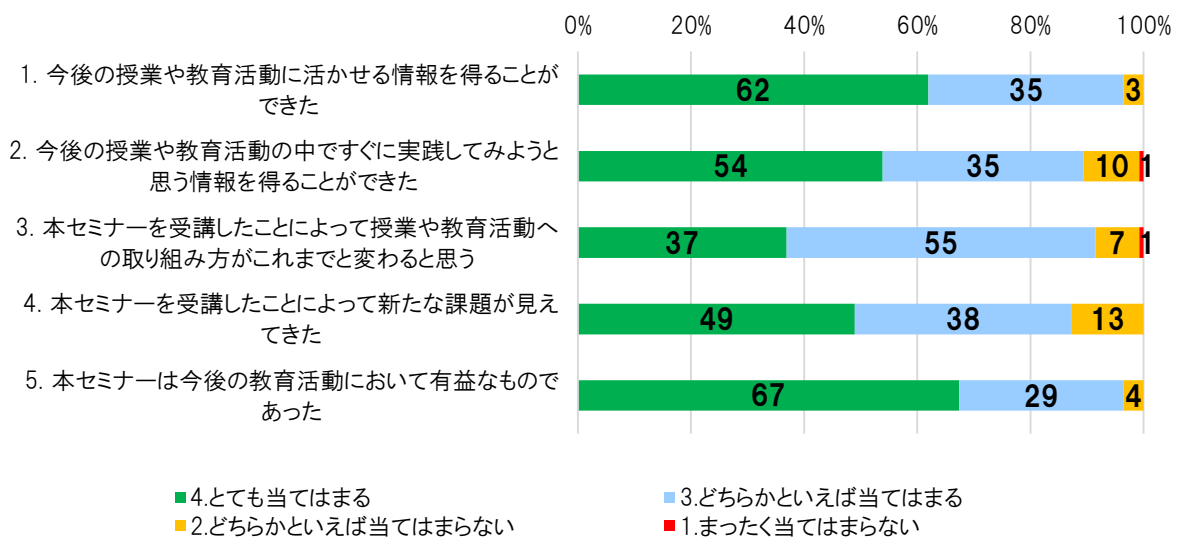


図1 アンケート結果 (N=142)



